

茨木市緑の基本計画に関する
市民アンケート調査

調査報告書

平成 27 年 3 月

茨木市

目 次

I	調査の概要	1
II	市民の属性	2
III	調査の結果	4
	1. 住んでいる地域の緑について	4
	2. 茨木市全体の緑について	10
	3. 緑との関わりについて	20
	4. 公園との関わりについて	29
	5. 元茨木川緑地について	47
	6. 農地について	52
	7. 山林について	63
	8. 生物多様性、自然との共生について	70
	9. 自由記述のまとめ	76
IV	調査結果の分析	78
	アンケート票（参考1）	82
	自由記述の一覧（参考2）	90

I 調査の概要

1. 調査目的

茨木市の公園・緑地等の緑や緑化活動等について、市民が抱えている思いや、今後の緑のあり方に対する考え方を把握し、質の高い緑の保全と創造につながる計画を検討する際の手がかりとすることを目的としています。

2. 調査概要

(1) 調査概要

①調査対象

住民基本台帳による 18 歳以上の男女

②調査数

3,000 人（住民基本台帳による無作為抽出）

③調査方法

郵送配布・郵送回収

④調査期間

平成 27 年 1 月 7 日発送、2 月 3 日締切

(2) 調査項目

①住んでいる地域の緑について

②茨木市全体の緑について

③緑との関わりについて

④公園との関わりについて

⑤元茨木川緑地について

⑥農地について

⑦山林について

⑧生物多様性、自然との共生について

(3) 配布・回収状況

配布・回収状況は、下記のとおりです。

表 1 配布・回収状況

配 布 数	回 収 数	回 収 率	集計対象数
3,000	1,186	39.5%	1,166

(4) 留意点

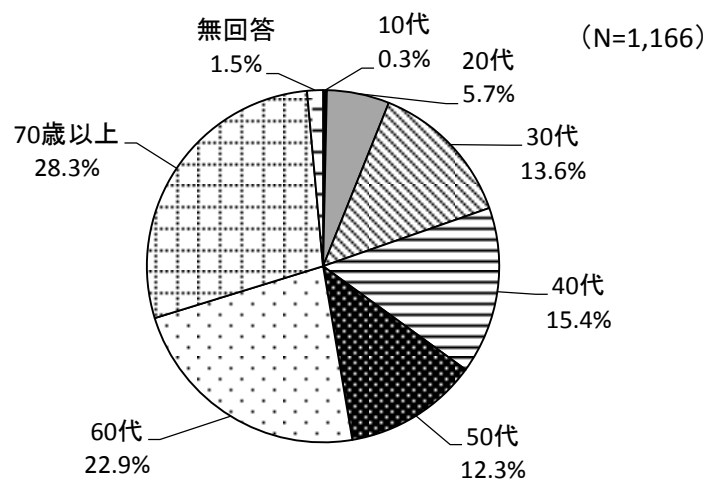
- ・集計では、小数点第 2 位を四捨五入しており、数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・図表中の N とは、回答者総数（または該当設問での該当者数）を表しています。
- ・集計に含まれているのは、平成 27 年 2 月 3 日までに返送された 1,166 通となります。それ以降に返送されたものも回収数・回収率には含まれます。
- ・集計表においては、最も回答の多かったものを黒の網掛け（白抜き文字）、2 番目に多かったものを灰色の網掛けにしています。
- ・年代別集計で、10 代は回答者が 4 名と少ないことから原則としてコメントはしていません。

Ⅱ 市民の属性

(1) 年齢

年齢

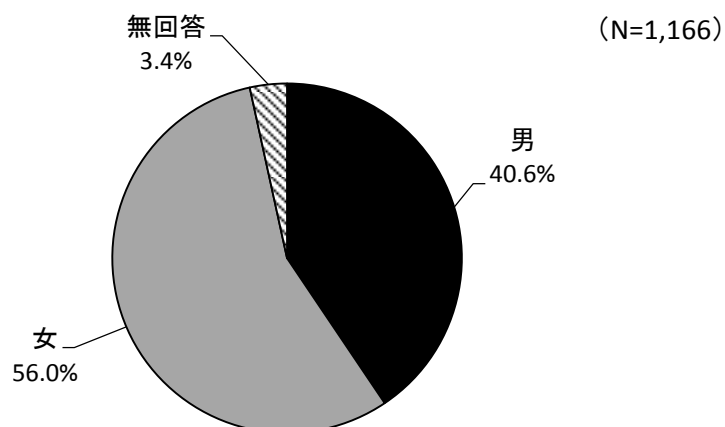
○年代は、「70 歳以上」が 28.3%で最も多く、次いで「60 代」が 22.9%となっています。60 歳未満と 60 歳以上でそれぞれ約半数となっています。



(2) 性別

性別

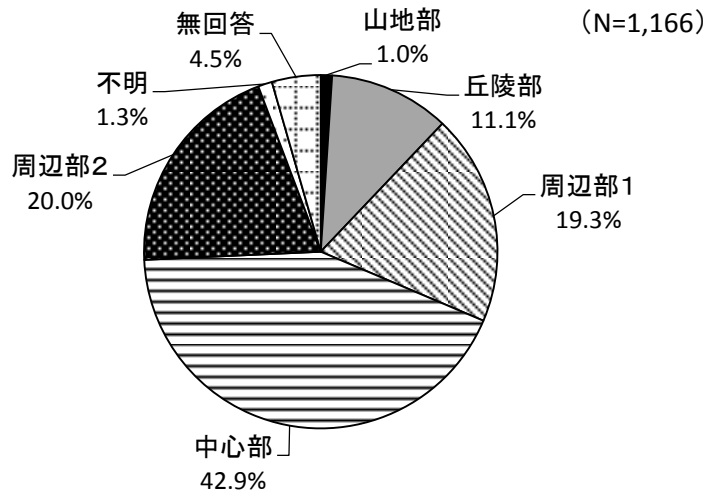
○「女性」が 56.0%、「男性」が 40.6%で、女性の比率が高くなっています。



(3) お住まいの地区

お住まいの地区

○居住する地区は、「中心部」が 42.9%で最も多く、次いで「周辺部2」が 20.0%、「周辺部1」が 19.3%となっています。

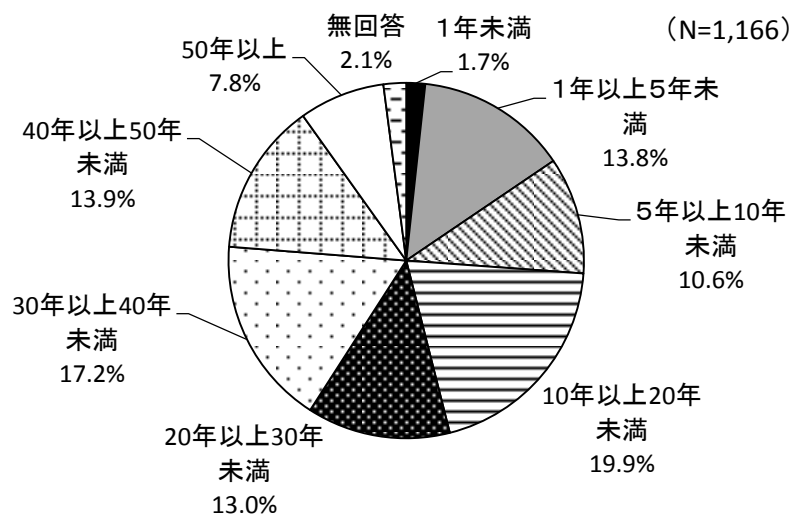


地区の位置

(4) 居住年数

居住年数

○現在の住所での居住年数は、「10年以上20年未満」が 19.9%で最も多くなっていますが、他の年数もほとんどが 10%を超えており、まんべんなく分布しています。



Ⅲ 調査の結果

1. 住んでいる地域の緑について

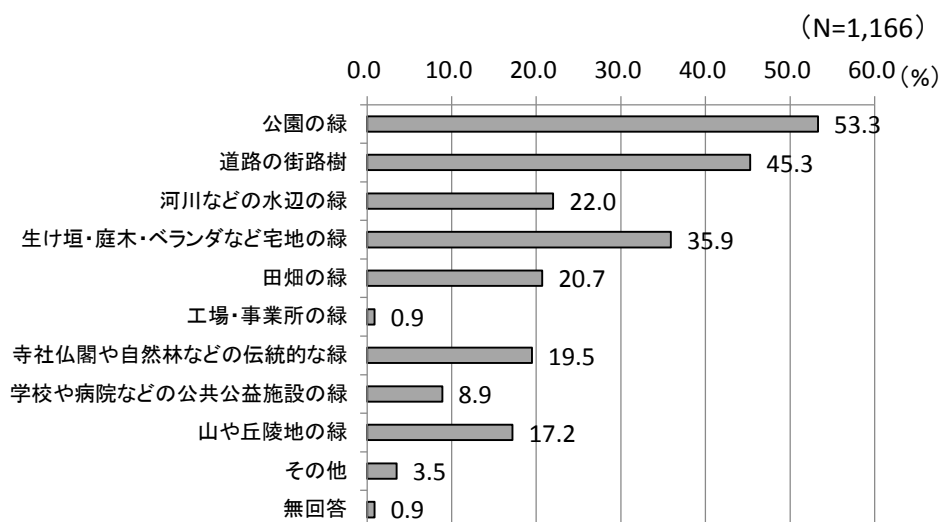
問 1

あなたがお住まいの地域では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

○住んでいる地域で多いと感じる緑としては、「公園の緑」が最も多く、53.3%となっています。

○次いで、「道路の街路樹」は45.3%、「生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑」は35.9%などとなっています。

【全体】



(その他)

- ・団地内
- ・マンションの周辺
- ・庭
- ・元茨木川緑地
- ・桜通り
- ・茨木カンツリー倶楽部の緑
- ・ゴルフ場の緑
- ・近鉄バス停玉櫛団地前の東側
- ・貨物高架下
- ・図書館、イオンは枝を切り落されていない。
- ・公園が少なく、緑は宅地により減っていると思います。
- ・緑が多いと思える所がない。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、40代以上は「公園の緑」が最も多く、「道路の街路樹」が続いています。30代は「道路の街路樹」が最も多く、「公園の緑」が続いています。20代は「公園の緑」と「道路の街路樹」が同数です。

○地域別にみると、山地部や丘陵部では「田畑の緑」や「山や丘陵地の緑」が多くなっています。周辺部1、中心部、周辺部2では「公園の緑」が最も多く、次いで、「道路の街路樹」もしくは「生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑」となっています。

		調査数	公園の緑	道路の街路樹	河川などの水辺の緑	生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑	田畑の緑	工場・事業所の緑	寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑	学校や病院などの公共施設緑	山や丘陵地の緑	その他	無回答
調査数		1,166	622	528	256	419	241	11	227	104	200	41	10
		100.0%	53.3%	45.3%	22.0%	35.9%	20.7%	0.9%	19.5%	8.9%	17.2%	3.5%	0.9%
年代別	10代	4	3	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0
		100.0%	75.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	34	34	16	17	15	0	7	5	11	0	0
		100.0%	50.7%	50.7%	23.9%	25.4%	22.4%	0.0%	10.4%	7.5%	16.4%	0.0%	0.0%
	30代	158	77	82	39	47	36	2	22	11	23	5	0
		100.0%	48.7%	51.9%	24.7%	29.7%	22.8%	1.3%	13.9%	7.0%	14.6%	3.2%	0.0%
	40代	179	90	79	50	51	45	2	31	18	33	4	1
		100.0%	50.3%	44.1%	27.9%	28.5%	25.1%	1.1%	17.3%	10.1%	18.4%	2.2%	0.6%
地域別	50代	144	72	67	35	48	32	0	21	15	20	5	1
		100.0%	50.0%	46.5%	24.3%	33.3%	22.2%	0.0%	14.6%	10.4%	13.9%	3.5%	0.7%
	60代	267	149	134	53	104	48	3	60	22	50	9	2
		100.0%	55.8%	50.2%	19.9%	39.0%	18.0%	1.1%	22.5%	8.2%	18.7%	3.4%	0.7%
	70歳以上	330	188	124	61	147	59	3	82	31	60	17	5
		100.0%	57.0%	37.6%	18.5%	44.5%	17.9%	0.9%	24.8%	9.4%	18.2%	5.2%	1.5%
	山地部	12	1	1	5	3	11	0	1	0	10	0	0
		100.0%	8.3%	8.3%	41.7%	25.0%	91.7%	0.0%	8.3%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%
地域別	丘陵部	129	53	42	28	42	63	1	23	5	84	1	1
		100.0%	41.1%	32.6%	21.7%	32.6%	48.8%	0.8%	17.8%	3.9%	65.1%	0.8%	0.8%
	周辺部1	225	110	85	36	100	46	2	52	29	56	10	2
		100.0%	48.9%	37.8%	16.0%	44.4%	20.4%	0.9%	23.1%	12.9%	24.9%	4.4%	0.9%
	中心部	500	299	256	97	179	56	3	104	47	30	16	4
地域別		100.0%	59.8%	51.2%	19.4%	35.8%	11.2%	0.6%	20.8%	9.4%	6.0%	3.2%	0.8%
	周辺部2	233	124	114	82	76	50	5	37	18	11	8	1
		100.0%	53.2%	48.9%	35.2%	32.6%	21.5%	2.1%	15.9%	7.7%	4.7%	3.4%	0.4%

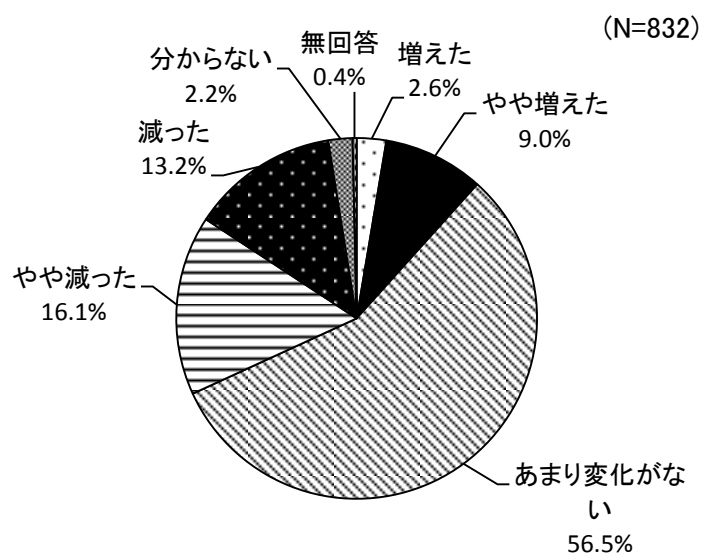
問 2

ここ 10 年くらいであなたがお住まいの地域の緑は増えてきていると思いますか？（1つ選択）

○「あまり変化がない」が 56.5%と最も多く、「増えた」「やや増えた」を合わせると 11.6%、「やや減った」「減った」を合わせると 29.3%であり、減ったと感じる人の割合が 17.7 ポイント上回っています。

※居住年数が 10 年以上の回答者のみ集計した結果となります。

【居住年数 10 年以上】



【年代別・地域別】

○全ての年代、全ての地域で「あまり変化がない」が最も多くなっています。
 ○「やや減った」の割合は、山地部や丘陵部で高い傾向にあります。
 ※居住年数が10年以上の回答者のみ集計した結果となります。

【居住年数 10 年以上】

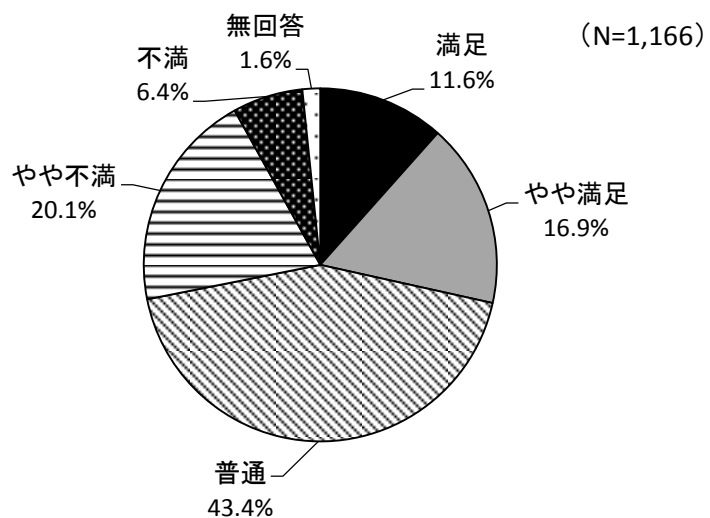
		調査数	増えた	やや増えた	あまり変化 がない	やや減った	減った	わからない	無回答
調査数		832	22	75	470	134	110	18	3
		100.0%	2.6%	9.0%	56.5%	16.1%	13.2%	2.2%	0.4%
年代別	10代	3	0	0	1	1	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	20代	34	0	4	18	5	6	1	0
		100.0%	0.0%	11.8%	52.9%	14.7%	17.6%	2.9%	0.0%
	30代	47	2	3	25	10	5	2	0
		100.0%	4.3%	6.4%	53.2%	21.3%	10.6%	4.3%	0.0%
	40代	105	3	9	54	17	18	3	1
地域別		100.0%	2.9%	8.6%	51.4%	16.2%	17.1%	2.9%	1.0%
	50代	111	1	6	65	12	24	3	0
		100.0%	0.9%	5.4%	58.6%	10.8%	21.6%	2.7%	0.0%
	60代	230	4	22	140	32	27	5	0
		100.0%	1.7%	9.6%	60.9%	13.9%	11.7%	2.2%	0.0%
	70歳以上	292	10	30	163	56	28	3	2
		100.0%	3.4%	10.3%	55.8%	19.2%	9.6%	1.0%	0.7%
地域別	山地部	11	0	0	6	3	2	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	54.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%
	丘陵部	99	2	10	52	22	11	1	1
		100.0%	2.0%	10.1%	52.5%	22.2%	11.1%	1.0%	1.0%
	周辺部1	184	4	13	93	31	39	3	1
		100.0%	2.2%	7.1%	50.5%	16.8%	21.2%	1.6%	0.5%
地域別	周辺部2	172	4	17	95	33	19	4	0
		100.0%	2.3%	9.9%	55.2%	19.2%	11.0%	2.3%	0.0%
	中心部	331	11	32	204	41	34	9	0
		100.0%	3.3%	9.7%	61.6%	12.4%	10.3%	2.7%	0.0%

問 3

あなたが住まいの地域の緑について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）

- 住んでいる地域の緑の満足度について、「普通」が最も多く、43.4%となっています。
- 「満足」と「やや満足」が合わせて 28.8%、「不満」と「やや不満」が 26.5%で、大きな差はありません。

【全体】



【年代別・地域別】

- 年代別にみると、全ての年代で「普通」が最も多く、次いで「やや不満」が多くなっています。
- 地域別にみると、全ての地域で「普通」が最も多く、次いで、山地部と丘陵部では「やや満足」が多く、周辺部1、中心部、周辺部2では「やや不満」が多くなっています。

		調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
調査数		1,166 100.0%	135 11.6%	197 16.9%	506 43.4%	234 20.1%	75 6.4%	19 1.6%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	6 9.0%	5 7.5%	38 56.7%	15 22.4%	3 4.5%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	16 10.1%	23 14.6%	66 41.8%	38 24.1%	14 8.9%	1 0.6%
	40代	179 100.0%	23 12.8%	30 16.8%	75 41.9%	36 20.1%	13 7.3%	2 1.1%
	50代	144 100.0%	17 11.8%	24 16.7%	63 43.8%	28 19.4%	10 6.9%	2 1.4%
	60代	267 100.0%	38 14.2%	51 19.1%	105 39.3%	53 19.9%	17 6.4%	3 1.1%
	70歳以上	330 100.0%	34 10.3%	61 18.5%	148 44.8%	61 18.5%	17 5.2%	9 2.7%
地域別	山地部	12 100.0%	2 16.7%	4 33.3%	5 41.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	29 22.5%	34 26.4%	43 33.3%	19 14.7%	2 1.6%	2 1.6%
	周辺部1	225 100.0%	32 14.2%	41 18.2%	92 40.9%	45 20.0%	13 5.8%	2 0.9%
	中心部	500 100.0%	40 8.0%	73 14.6%	225 45.0%	112 22.4%	43 8.6%	7 1.4%
	周辺部2	233 100.0%	24 10.3%	36 15.5%	110 47.2%	47 20.2%	13 5.6%	3 1.3%

2. 茨木市全体の緑について

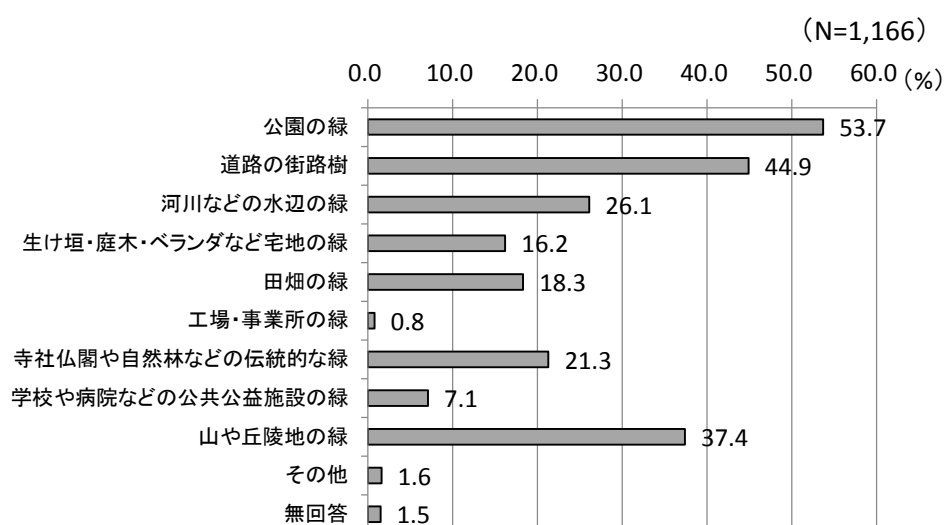
問 4

茨木市全体では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

○茨木市全体で多いと感じる緑としては、「公園の緑」が最も多く、53.7%となっています。

○次いで、「道路の街路樹」が44.9%、「山や丘陵地の緑」が37.4%、「河川などの水辺の緑」が26.1%などとなっています。

【全体】



(その他)

- ・元茨木川緑地
- ・桜通り
- ・ゴルフ場
- ・市中では特に目立たないが郊外（茨木市内）には多いのではないかな。
- ・市内中心部は街路樹があるが周辺部では街路樹が少ない。
- ・全体的に緑は多い方ではないか、街路樹も整備されている。
- ・山の方へ行くと山や丘陵地の緑は有るが街では緑は少ないのでは？
- ・北部（彩都）
- ・無計画な市街地開発のため憩える緑地帯が極めて少ない。
- ・公園が少ない。
- ・景観の良い緑が多いと感じない。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、20代から40代は「道路の街路樹」が最も多く、50代以上は「公園の緑」が最も多くなっています。

○地域別にみると、山地部では「道路の街路樹」が、丘陵部では「山や丘陵地の緑」、周辺部1、中心部、周辺部2では、「公園の緑」が最も多くなっています。

		調査数	公園の緑	道路の街路樹	河川などの水辺の緑	生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑	田畑の緑	工場・事業所の緑	寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑	学校や病院などの公共施設の緑	山や丘陵地の緑	その他	無回答
	調査数	1,166 100.0%	626 53.7%	524 44.9%	304 26.1%	189 16.2%	213 18.3%	9 0.8%	248 21.3%	83 7.1%	436 37.4%	19 1.6%	18 1.5%
年代別	10代	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	35 52.2%	37 55.2%	19 28.4%	9 13.4%	7 10.4%	0 0.0%	8 11.9%	9 13.4%	16 23.9%	2 3.0%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	75 47.5%	88 55.7%	46 29.1%	28 17.7%	28 17.7%	1 0.6%	17 10.8%	10 6.3%	50 31.6%	0 0.0%	1 0.6%
	40代	179 100.0%	77 43.0%	81 45.3%	61 34.1%	22 12.3%	56 31.3%	2 1.1%	22 12.3%	12 6.7%	72 40.2%	2 1.1%	0 0.0%
	50代	144 100.0%	75 52.1%	60 41.7%	32 22.2%	23 16.0%	31 21.5%	1 0.7%	23 16.0%	5 3.5%	63 43.8%	5 3.5%	1 0.7%
	60代	267 100.0%	151 56.6%	118 44.2%	63 23.6%	38 14.2%	42 15.7%	4 1.5%	78 29.2%	18 6.7%	108 40.4%	5 1.9%	3 1.1%
	70歳以上	330 100.0%	201 60.9%	132 40.0%	77 23.3%	65 19.7%	46 13.9%	1 0.3%	96 29.1%	26 7.9%	125 37.9%	5 1.5%	11 3.3%
地域別	山地部	12 100.0%	6 50.0%	7 58.3%	2 16.7%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	51 39.5%	39 30.2%	25 19.4%	22 17.1%	44 34.1%	0 0.0%	29 22.5%	10 7.8%	75 58.1%	0 0.0%	3 2.3%
	周辺部1	225 100.0%	114 50.7%	88 39.1%	55 24.4%	35 15.6%	43 19.1%	2 0.9%	50 22.2%	21 9.3%	97 43.1%	5 2.2%	3 1.3%
	中心部	500 100.0%	307 61.4%	242 48.4%	139 27.8%	87 17.4%	62 12.4%	3 0.6%	108 21.6%	31 6.2%	165 33.0%	9 1.8%	3 0.6%
	周辺部2	233 100.0%	117 50.2%	117 50.2%	70 30.0%	33 14.2%	44 18.9%	4 1.7%	46 19.7%	13 5.6%	77 33.0%	4 1.7%	4 1.7%

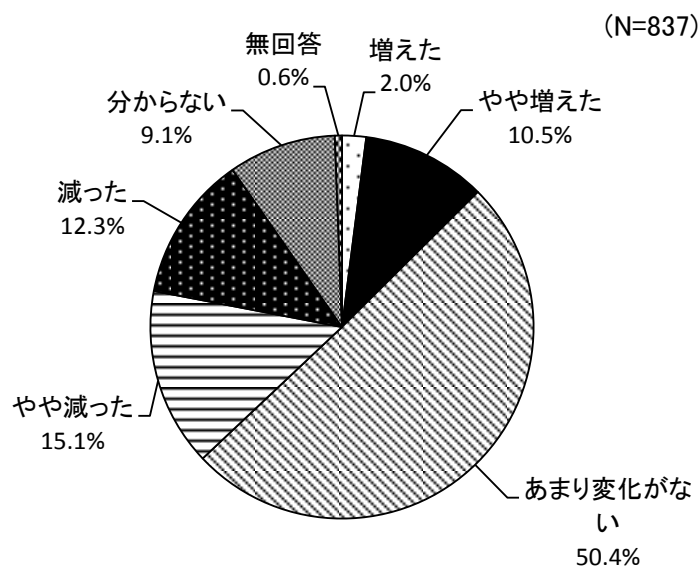
問 5

ここ 10 年くらいで茨木市の緑は増えてきていると思いますか？（1 つ選択）

○「あまり変化がない」が 50.4%と最も多く、「やや減った」「減った」を合わせると 27.4%、「増えた」「やや増えた」を合わせると 12.5%となっています。

※居住年数が 10 年以上の回答者のみ集計した結果となります。

【居住年数 10 年以上】



【年代別・地域別】

○居住年数が 10 年以上のみで限定してみると、全ての年代、全ての地域で「あまり変化がない」が最も多くなっています。

○「やや減った」の割合は、丘陵部や周辺部 1 で高い傾向にあります。

※居住年数が 10 年以上の回答者のみ集計した結果となります。

【居住年数 10 年以上】

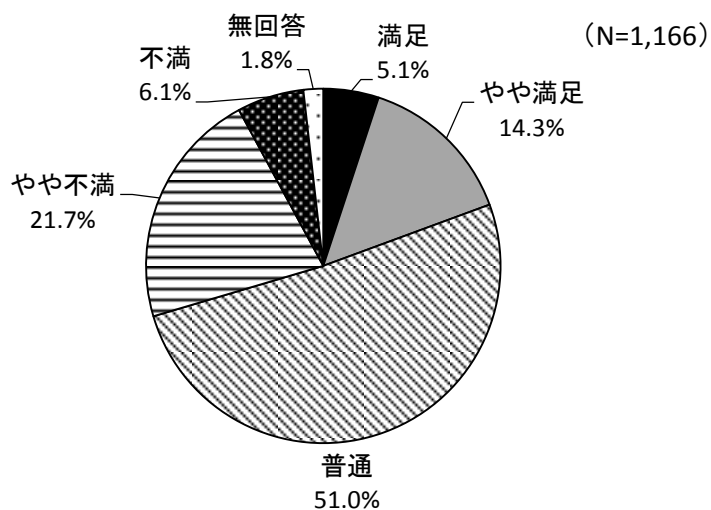
		調査数	増えた	やや増えた	あまり変化 がない	やや減った	減った	わからない	無回答
調査数		837	17	88	422	126	103	76	5
		100.0%	2.0%	10.5%	50.4%	15.1%	12.3%	9.1%	0.6%
年代別	10代	3	0	0	2	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	20代	35	0	3	15	7	3	7	0
		100.0%	0.0%	8.6%	42.9%	20.0%	8.6%	20.0%	0.0%
	30代	48	1	1	24	9	7	6	0
		100.0%	2.1%	2.1%	50.0%	18.8%	14.6%	12.5%	0.0%
	40代	106	3	12	49	17	15	10	0
		100.0%	2.8%	11.3%	46.2%	16.0%	14.2%	9.4%	0.0%
地域別	50代	111	1	7	56	16	19	12	0
		100.0%	0.9%	6.3%	50.5%	14.4%	17.1%	10.8%	0.0%
	60代	230	5	23	112	37	29	21	3
		100.0%	2.2%	10.0%	48.7%	16.1%	12.6%	9.1%	1.3%
	70歳以上	294	6	41	160	38	28	19	2
		100.0%	2.0%	13.9%	54.4%	12.9%	9.5%	6.5%	0.7%
	山地部	11	0	2	6	0	0	1	2
地域別		100.0%	0.0%	18.2%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%
	丘陵部	99	0	8	48	19	13	10	1
		100.0%	0.0%	8.1%	48.5%	19.2%	13.1%	10.1%	1.0%
	周辺部1	186	5	25	78	36	31	11	0
		100.0%	2.7%	13.4%	41.9%	19.4%	16.7%	5.9%	0.0%
地域別	周辺部2	172	1	20	92	24	19	16	0
		100.0%	0.6%	11.6%	53.5%	14.0%	11.0%	9.3%	0.0%
	中心部	334	10	29	179	42	34	38	2
		100.0%	3.0%	8.7%	53.6%	12.6%	10.2%	11.4%	0.6%

問 6

茨木市全体の緑について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）

- 茨木市全体の緑の満足度については「普通」が最も多く、51.0%となっています。
- 「満足」と「やや満足」が合わせて 19.4%であるのに対し、「不満」と「やや不満」が 27.8%と上回っています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別・地域別とも、全てにおいて「普通」が最も多く、次いで「やや不満」多い傾向にあります。

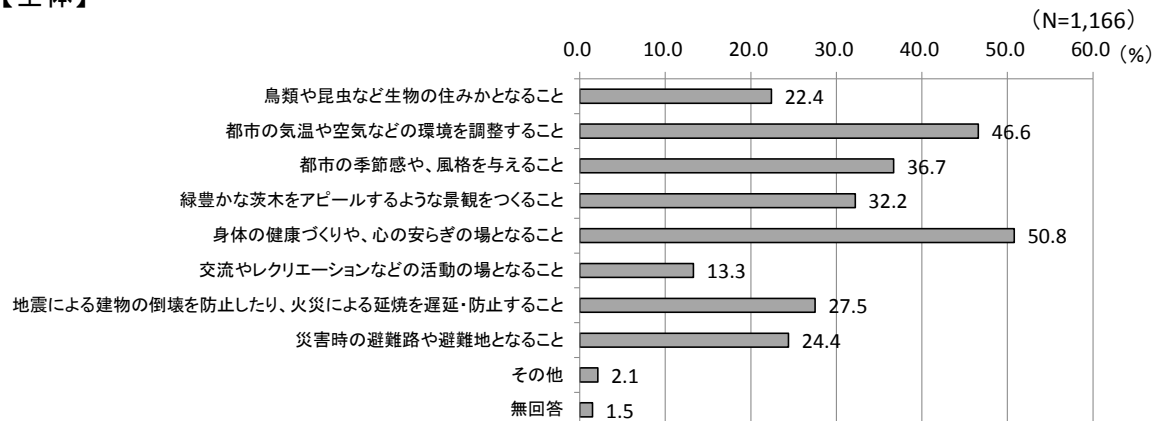
		調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
調査数		1,166 100.0%	59 5.1%	167 14.3%	595 51.0%	253 21.7%	71 6.1%	21 1.8%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	4 6.0%	7 10.4%	39 58.2%	16 23.9%	1 1.5%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	10 6.3%	24 15.2%	73 46.2%	40 25.3%	11 7.0%	0 0.0%
	40代	179 100.0%	12 6.7%	25 14.0%	92 51.4%	41 22.9%	9 5.0%	0 0.0%
	50代	144 100.0%	7 4.9%	17 11.8%	78 54.2%	28 19.4%	11 7.6%	3 2.1%
	60代	267 100.0%	15 5.6%	33 12.4%	136 50.9%	62 23.2%	19 7.1%	2 0.7%
	70歳以上	330 100.0%	10 3.0%	57 17.3%	168 50.9%	63 19.1%	19 5.8%	13 3.9%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	8 66.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	7 5.4%	13 10.1%	75 58.1%	26 20.2%	6 4.7%	2 1.6%
	周辺部 1	225 100.0%	8 3.6%	42 18.7%	102 45.3%	55 24.4%	12 5.3%	6 2.7%
	中心部	500 100.0%	25 5.0%	73 14.6%	249 49.8%	109 21.8%	39 7.8%	5 1.0%
	周辺部 2	233 100.0%	16 6.9%	30 12.9%	118 50.6%	56 24.0%	9 3.9%	4 1.7%

問 7

茨木市の緑に対して、今後どのようなことを特に望みますか？（3つまで選択可）

- 茨木市の緑に対して望むこととして、「身体 の健康づくりや、心の安らぎの場となること」が最も多く、50.8%となっています。
- 次いで「都市の気温や空気などの環境を調整すること」が多く、46.6%が選択しています。
- 「都市の季節感や、風格を与えること」や「緑豊かな茨木をアピールするような景観をつくること」も30%以上が選択しています。

【全体】



（その他）

<今ある緑を手入れ・管理をすること>

- ・せまい歩道なのに街路樹がありとても歩きにくい。狭い歩道には街路樹は必要ない。
- ・増えすぎで見通しが悪く、夜は暗くあぶなくて歩けない。
- ・のびすぎた街路樹を剪定してほしい。
- ・公園や道路などの雑草の手入れ
- ・積極的な落ち葉の処理。住民に迷惑をかけない。
- ・道路の街路樹に大量の鳥がいないように管理してほしい。
- ・個人で道などに鉢植えを置くと道路が狭く迷惑、車・自転車も同様である。

<保全すること>

- ・彩都の拡張工事でこれ以上樹木を伐採するのを控えてほしい。
- ・これ以上人工の手を加えずに、自然のままであること。

<子どもが遊べる場であること>

- ・地域の中で遊べる公園がまったく無い。
- ・子ども達が安全に遊べる場

<アピールできるような景観をつくること>

- ・東京のように大都市でも緑が多いというイメージがあればいい。
- ・市の花であるバラを市中央公園に植えること、市役所の入口にかざること。
- ・ヨーロッパの都市計画を参考に！

<現状のままでよい>

- ・街の中ではこれ以上増やすことは困難ではないか。
- ・する必要ない、もっと他の事に力を入れて欲しい。

<その他>

- ・温暖化防止
- ・松沢池の周りをオアシス化と真中に橋渡しを検討したい。
- ・犬がOKな大きな公園が欲しい。
- ・駅周辺及び国道に緑を増やすこと。
- ・有効に活用し新たな産業、雇用を創出することを望む。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、20代から50代は「都市の気温や空気などの環境を調整すること」が最も多く、60代以上は「身体への健康づくりや、心の安らぎの場となること」が最も多くなっています。

○地域別にみると、山地部では「緑豊かな茨木市をアピールするような景観をつくること」が最も多く、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「身体への健康づくりや、心の安らぎの場となること」が最も多くなっています。

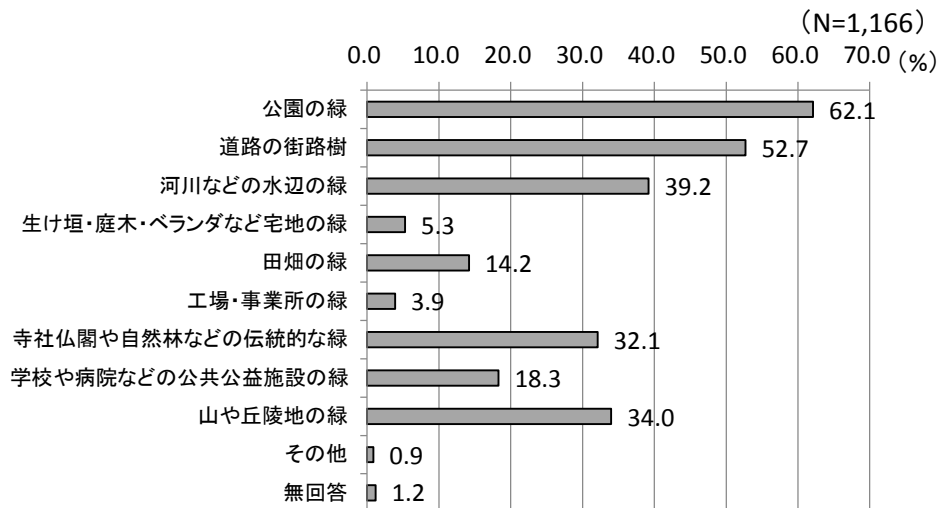
		調査数	鳥類や昆虫 など生物の 住みかとなる こと	都市の気温 や空気などの 環境を調整 すること	都市の季節 感や、風格 を与えるこ と	緑豊かな茨 木をアピー ルするよう な景観をつ くること	身体への健康 づくりや、 心の安らぎ の場となる こと	交流やレク リエーション などの活動 の場となる こと	地震による 建物の倒壊 を防止した り、火災に よる延焼を 遅延・防止 すること	災害時の避 難路や避難 地となるこ と	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	261 22.4%	543 46.6%	428 36.7%	375 32.2%	592 50.8%	155 13.3%	321 27.5%	285 24.4%	24 2.1%	18 1.5%
年代別	10代	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	11 16.4%	39 58.2%	33 49.3%	11 16.4%	31 46.3%	2 3.0%	21 31.3%	13 19.4%	1 1.5%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	41 25.9%	79 50.0%	63 39.9%	48 30.4%	77 48.7%	27 17.1%	41 25.9%	25 15.8%	5 3.2%	1 0.6%
	40代	179 100.0%	39 21.8%	98 54.7%	56 31.3%	48 26.8%	88 49.2%	35 19.6%	56 31.3%	43 24.0%	5 2.8%	0 0.0%
	50代	144 100.0%	28 19.4%	90 62.5%	49 34.0%	42 29.2%	76 52.8%	16 11.1%	34 23.6%	32 22.2%	3 2.1%	0 0.0%
	60代	267 100.0%	59 22.1%	108 40.4%	96 36.0%	95 35.6%	139 52.1%	32 12.0%	75 28.1%	69 25.8%	6 2.2%	2 0.7%
	70歳以上	330 100.0%	76 23.0%	122 37.0%	126 38.2%	127 38.5%	172 52.1%	40 12.1%	86 26.1%	96 29.1%	4 1.2%	12 3.6%
地域別	山地部	12 100.0%	2 16.7%	4 33.3%	4 33.3%	6 50.0%	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	32 24.8%	58 45.0%	45 34.9%	45 34.9%	63 48.8%	18 14.0%	32 24.8%	20 15.5%	5 3.9%	2 1.6%
	周辺部1	225 100.0%	50 22.2%	107 47.6%	82 36.4%	68 30.2%	113 50.2%	34 15.1%	61 27.1%	56 24.9%	6 2.7%	2 0.9%
	中心部	500 100.0%	100 20.0%	248 49.6%	186 37.2%	151 30.2%	273 54.6%	54 10.8%	143 28.6%	135 27.0%	6 1.2%	8 1.6%
	周辺部2	233 100.0%	57 24.5%	99 42.5%	89 38.2%	87 37.3%	104 44.6%	37 15.9%	61 26.2%	57 24.5%	4 1.7%	3 1.3%

問 8

茨木市の緑のうち、特に守り育てる必要があるものはどのような緑だと思いますか？（3つまで選択可）

- 茨木市の緑のうち、特に守り育てる必要がある緑として、「公園の緑」を 62.1%、「道路の街路樹」を 52.7%が選択しています。
- 「河川などの水辺の緑」「山や丘陵地の緑」「寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑」は 30%以上が選択しています。

【全体】



（その他）

- ・元茨木川緑地
- ・遊歩道
- ・桜通りみたいな所をもっと増やしてほしい。
- ・小さな公園に緑を増加すること、手入れをすること。
- ・手入れがされるなら、増えても良いと思うが、きちんとしなければ増やさない。
- ・春日丘地区は池が多くオアシス化を早く検討すべき。
- ・空き地（広い土地がよくあります）を買いとる等として利用してほしい。子どもが遊ぶ場がない。
- ・彩都が開発され、猪やあらいぐまが追われ作物を荒らすので、山の緑は守らねば困る。
- ・これ以上困難ではないか。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、20代以上は「公園の緑」が最も多くなっています。次いで、20代から50代は「河川などの水辺の緑」、50代以上では「道路の街路樹」が多くなっています。

○地域別にみると、山地部では「山や丘陵地の緑」が最も多く、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「公園の緑」が最も多くなっています。

		調査数	公園の緑	道路の街路樹	河川などの水辺の緑	生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑	田畑の緑	工場・事業所の緑	寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑	学校や病院などの公共公益施設の緑	山や丘陵地の緑	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	724 62.1%	615 52.7%	457 39.2%	62 5.3%	166 14.2%	46 3.9%	374 32.1%	213 18.3%	397 34.0%	11 0.9%	14 1.2%
年代別	10代	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	32 47.8%	23 34.3%	27 40.3%	1 1.5%	15 22.4%	3 4.5%	23 34.3%	12 17.9%	24 35.8%	0 0.0%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	91 57.6%	65 41.1%	66 41.8%	5 3.2%	36 22.8%	6 3.8%	60 38.0%	22 13.9%	63 39.9%	1 0.6%	0 0.0%
	40代	179 100.0%	107 59.8%	78 43.6%	84 46.9%	4 2.2%	38 21.2%	10 5.6%	65 36.3%	22 12.3%	75 41.9%	0 0.0%	1 0.6%
	50代	144 100.0%	97 67.4%	69 47.9%	66 45.8%	5 3.5%	29 20.1%	4 2.8%	42 29.2%	24 16.7%	53 36.8%	2 1.4%	1 0.7%
	60代	267 100.0%	165 61.8%	154 57.7%	103 38.6%	9 3.4%	23 8.6%	12 4.5%	78 29.2%	52 19.5%	88 33.0%	4 1.5%	4 1.5%
	70歳以上	330 100.0%	221 67.0%	213 64.5%	102 30.9%	38 11.5%	23 7.0%	9 2.7%	100 30.3%	75 22.7%	91 27.6%	4 1.2%	6 1.8%
地域別	山地部	12 100.0%	4 33.3%	6 50.0%	5 41.7%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	67 51.9%	63 48.8%	52 40.3%	5 3.9%	27 20.9%	6 4.7%	34 26.4%	28 21.7%	58 45.0%	1 0.8%	2 1.6%
	周辺部 1	225 100.0%	131 58.2%	124 55.1%	86 38.2%	13 5.8%	24 10.7%	7 3.1%	76 33.8%	36 16.0%	85 37.8%	3 1.3%	4 1.8%
	中心部	500 100.0%	333 66.6%	264 52.8%	192 38.4%	31 6.2%	62 12.4%	21 4.2%	162 32.4%	84 16.8%	162 32.4%	5 1.0%	4 0.8%
	周辺部 2	233 100.0%	153 65.7%	124 53.2%	91 39.1%	11 4.7%	40 17.2%	8 3.4%	78 33.5%	48 20.6%	66 28.3%	2 0.9%	2 0.9%

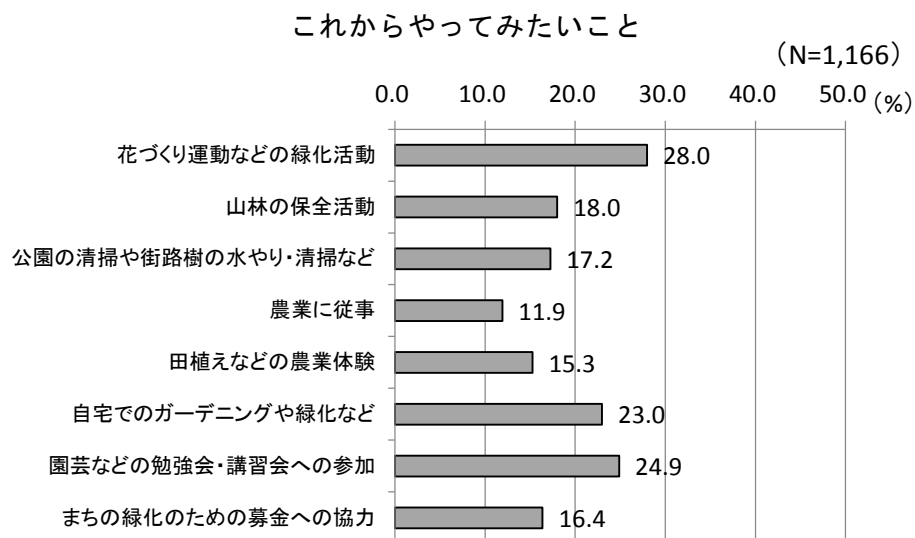
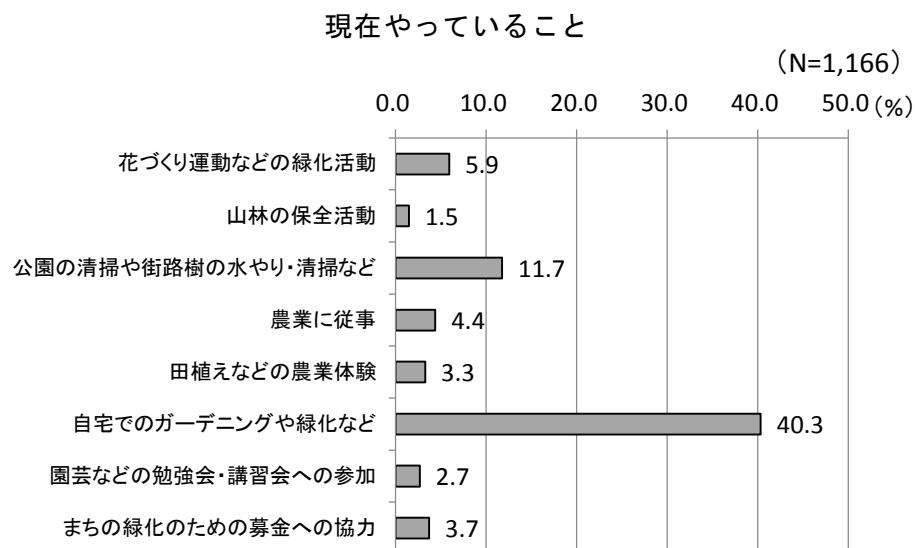
3. 緑との関わりについて

問 9

あなたと緑の関わりについて、あなたが現在やっていること、または、今はやっていないがこれからやってみたいことがあるれば、○をつけてください。

- 緑との関わりで現在やっていることは、「自宅でのガーデニング」が最も多く、40.3%が選択しています。
- 「自宅でのガーデニング」以外は低い割合となっており、「公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など」の11.7%の他は、10%を下回っています。
- これからやってみたいことは、ばらつきがみられますが、「花づくり運動などの緑化活動」「自宅でのガーデニングや緑化など」「園芸などの勉強会・講習会への参加」が多く、20%以上が選択しています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、全ての年代で「自宅でのガーデニングや緑化など」が最も多く、「公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など」や「花づくりなどの緑化活動」なども比較的多くなっています。

○地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では、「自宅でのガーデニングや緑化など」が多いですが、山地部では「農業に従事」が最も多くなっています。

現在やっていること

		調査数	花づくり運動などの緑化活動	山林の保全活動	公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など	農業に従事	田植えなどの農業体験	自宅でのガーデニングや緑化など	園芸などの勉強会・講習会への参加	まちの緑化のための募金への協力
調査数		1,166 100.0%	69 5.9%	17 1.5%	137 11.7%	51 4.4%	38 3.3%	470 40.3%	31 2.7%	43 3.7%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	1 1.5%	3 4.5%	3 4.5%	0 0.0%	4 6.0%	12 17.9%	0 0.0%	2 3.0%
	30代	158 100.0%	1 0.6%	3 1.9%	10 6.3%	2 1.3%	6 3.8%	39 24.7%	0 0.0%	4 2.5%
	40代	179 100.0%	8 4.5%	1 0.6%	27 15.1%	8 4.5%	7 3.9%	57 31.8%	4 2.2%	10 5.6%
	50代	144 100.0%	9 6.3%	1 0.7%	6 4.2%	6 4.2%	6 4.2%	56 38.9%	6 4.2%	6 4.2%
	60代	267 100.0%	12 4.5%	3 1.1%	29 10.9%	16 6.0%	6 2.2%	130 48.7%	7 2.6%	5 1.9%
	70歳以上	330 100.0%	37 11.2%	6 1.8%	58 17.6%	18 5.5%	9 2.7%	165 50.0%	14 4.2%	14 4.2%
地域別	山地部	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	4 33.3%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	15 11.6%	2 1.6%	24 18.6%	12 9.3%	8 6.2%	52 40.3%	4 3.1%	5 3.9%
	周辺部1	225 100.0%	18 8.0%	3 1.3%	35 15.6%	10 4.4%	7 3.1%	108 48.0%	5 2.2%	12 5.3%
	中心部	500 100.0%	21 4.2%	6 1.2%	50 10.0%	12 2.4%	13 2.6%	190 38.0%	11 2.2%	14 2.8%
	周辺部2	233 100.0%	8 3.4%	4 1.7%	20 8.6%	10 4.3%	5 2.1%	95 40.8%	8 3.4%	9 3.9%

- 年代別にみると、ばらつきがあり、20代、30代は「自宅でのガーデニングや緑化など」、40代、50代は「園芸などの勉強会・講習会への参加」、60代以上は「花づくり運動などの緑化活動」が最も多くなっています。
- 地域別にみると、山地部では「花づくり運動などの緑化活動」「山林の保全活動」など4項目が同数で、丘陵部では「自宅でのガーデニングや緑化など」、周辺部1、中心部、周辺部2では、「花づくり運動などの緑化活動」が最も多くなっています。

これからやってみたいこと

		調査数	花づくり運動などの緑化活動	山林の保全活動	公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など	農業に従事	田植えなどの農業体験	自宅でのガーデニングや緑化など	園芸などの勉強会・講習会への参加	まちの緑化のための募金への協力
調査数		1,166 100.0%	326 28.0%	210 18.0%	201 17.2%	139 11.9%	178 15.3%	268 23.0%	290 24.9%	191 16.4%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
	20代	67 100.0%	15 22.4%	11 16.4%	11 16.4%	14 20.9%	10 14.9%	27 40.3%	7 10.4%	10 14.9%
	30代	158 100.0%	44 27.8%	34 21.5%	28 17.7%	29 18.4%	51 32.3%	53 33.5%	38 24.1%	33 20.9%
	40代	179 100.0%	52 29.1%	43 24.0%	28 15.6%	32 17.9%	52 29.1%	55 30.7%	56 31.3%	34 19.0%
	50代	144 100.0%	48 33.3%	26 18.1%	29 20.1%	22 15.3%	26 18.1%	47 32.6%	55 38.2%	25 17.4%
	60代	267 100.0%	87 32.6%	52 19.5%	61 22.8%	27 10.1%	24 9.0%	38 14.2%	69 25.8%	44 16.5%
	70歳以上	330 100.0%	77 23.3%	38 11.5%	42 12.7%	14 4.2%	14 4.2%	45 13.6%	60 18.2%	42 12.7%
地域別	山地部	12 100.0%	4 33.3%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	4 33.3%	3 25.0%	4 33.3%
	丘陵部	129 100.0%	30 23.3%	28 21.7%	20 15.5%	17 13.2%	21 16.3%	35 27.1%	32 24.8%	25 19.4%
	周辺部1	225 100.0%	63 28.0%	38 16.9%	38 16.9%	24 10.7%	32 14.2%	42 18.7%	63 28.0%	30 13.3%
	中心部	500 100.0%	142 28.4%	88 17.6%	84 16.8%	63 12.6%	81 16.2%	126 25.2%	121 24.2%	90 18.0%
	周辺部2	233 100.0%	71 30.5%	42 18.0%	49 21.0%	31 13.3%	31 13.3%	49 21.0%	57 24.5%	35 15.0%

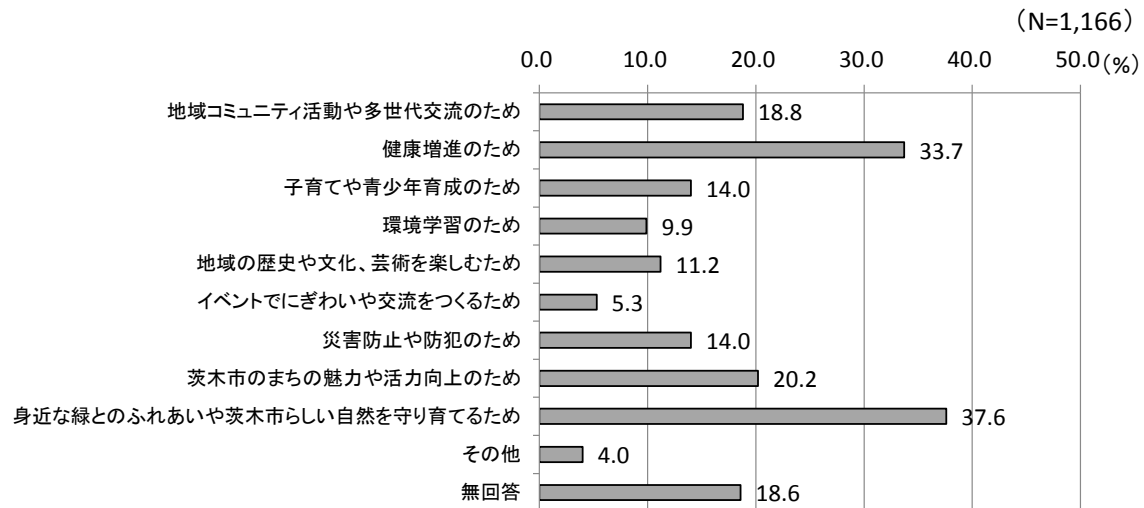
問 10

緑に関して「現在やっている」「やってみたい」と思うことについて、その理由をお答え下さい。(3つまで選択可)

○緑に関して「現在やっている」「やってみたい」と思う理由について、「身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため」が最も多く、37.6%が選択しています。

○次いで「健康増進のため」が多く、33.7%となっています。

【全体】



(その他)

<関心があるため>

- ・小さな花が好きなので、出来る時に参加。
- ・花が好き。
- ・趣味として。
- ・食への関心から。
- ・家庭菜園や農業に、興味があるため。

<自身の癒しのため>

- ・気持ちの安定
- ・自分のいやしと季節感を楽しむため。
- ・花や緑を見ると気持ちいい毎日がすごせるから。
- ・土をいじることで自分の癒しになる。
- ・自身の目の楽しみ。
- ・緑や花のある生活によりキレイを保てる。心のゆとりを得られる。

<自身の変化のため>

- ・単調な日常に変化を加えるため。
- ・自己研磨

<環境の向上または保全のため>

- ・温暖化対策
- ・環境の調整（都市の気温、空気）
- ・茨木市は（特に市街地）空気が悪すぎるし、緑も少ないと思う為。
- ・環境保全のため。

<将来に残していくため>

- ・今の子ども達が大人になった時により自然が残っているといいなと思うため。
- ・将来のため。

<その他>

- ・庭があるので。
- ・今のところせめて自宅周辺は緑化しておこうと思っているだけで…。
- ・地域でだれも行わないのと緑が好きである為、但し高槻市にて。
- ・来訪者に少しでもなごんでもらいたい。
- ・野菜を作って食べる。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、最も多く選択されているのは、20代は無回答を除くと「身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため」、30代は「子育てや青少年育成のため」、40代、50代は「身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため」、60代以降は「健康増進のため」と分かれており、年代ごとに特徴がみられます。

○地域別にみると、全ての地域において「身近な自然とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため」が最も多くなっています。

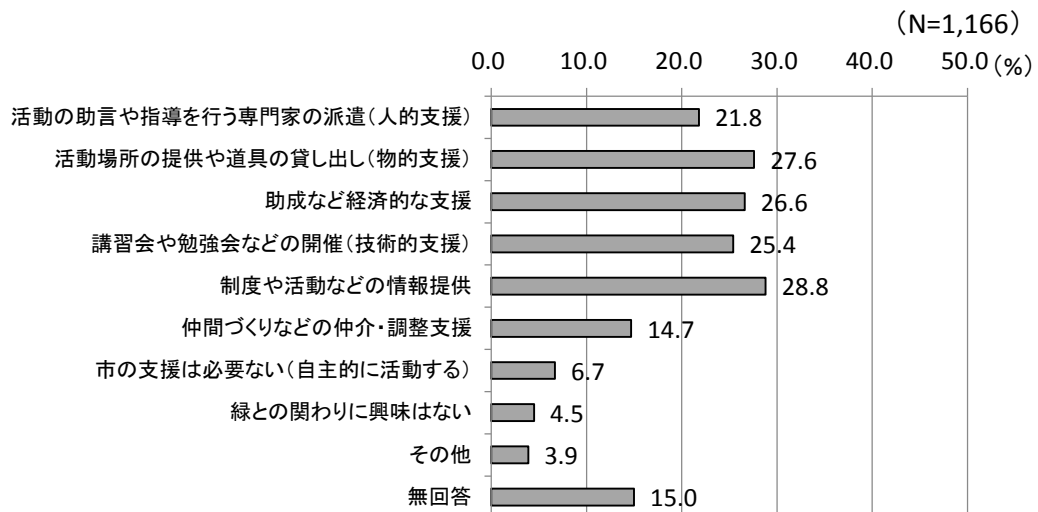
		調査数	地域コミュニティ活動や多世代交流のため	健康増進のため	子育てや青少年育成のため	環境学習のため	地域の歴史や文化、芸術を楽しむため	イベントでにぎわいや交流をつくるため	災害防止や防犯のため	茨木市のまちの魅力や活力向上のため	身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため	その他	無回答
調査数		1,166	219	393	163	115	131	62	163	236	438	47	217
		100.0%	18.8%	33.7%	14.0%	9.9%	11.2%	5.3%	14.0%	20.2%	37.6%	4.0%	18.6%
年代別	10代	4	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1
		100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	20代	67	10	15	8	10	5	7	8	13	16	0	21
		100.0%	14.9%	22.4%	11.9%	14.9%	7.5%	10.4%	11.9%	19.4%	23.9%	0.0%	31.3%
	30代	158	24	30	51	14	13	11	19	24	46	9	37
		100.0%	15.2%	19.0%	32.3%	8.9%	8.2%	7.0%	12.0%	15.2%	29.1%	5.7%	23.4%
	40代	179	39	30	48	21	21	10	22	41	63	6	35
		100.0%	21.8%	16.8%	26.8%	11.7%	11.7%	5.6%	12.3%	22.9%	35.2%	3.4%	19.6%
地域別	50代	144	25	46	10	19	11	9	15	33	63	14	21
		100.0%	17.4%	31.9%	6.9%	13.2%	7.6%	6.3%	10.4%	22.9%	43.8%	9.7%	14.6%
	60代	267	60	109	21	25	29	11	39	50	105	9	46
		100.0%	22.5%	40.8%	7.9%	9.4%	10.9%	4.1%	14.6%	18.7%	39.3%	3.4%	17.2%
	70歳以上	330	59	158	24	24	49	13	56	71	138	8	51
		100.0%	17.9%	47.9%	7.3%	7.3%	14.8%	3.9%	17.0%	21.5%	41.8%	2.4%	15.5%
	山地区	12	2	4	3	0	1	2	3	2	4	0	2
地域別		100.0%	16.7%	33.3%	25.0%	0.0%	8.3%	16.7%	25.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%
	丘陵部	129	30	45	19	13	17	6	9	22	56	2	27
		100.0%	23.3%	34.9%	14.7%	10.1%	13.2%	4.7%	7.0%	17.1%	43.4%	1.6%	20.9%
	周辺部1	225	53	80	32	22	23	13	36	50	85	11	32
		100.0%	23.6%	35.6%	14.2%	9.8%	10.2%	5.8%	16.0%	22.2%	37.8%	4.9%	14.2%
地域別	中心部	500	76	164	67	55	57	23	67	108	186	18	93
		100.0%	15.2%	32.8%	13.4%	11.0%	11.4%	4.6%	13.4%	21.6%	37.2%	3.6%	18.6%
	周辺部2	233	48	80	31	18	22	16	40	42	89	13	45
		100.0%	20.6%	34.3%	13.3%	7.7%	9.4%	6.9%	17.2%	18.0%	38.2%	5.6%	19.3%

問 1 1

あなたが緑と関わる上で、市に特に支援してほしいことは何ですか。（3つまで選択可）

○緑と関わる上で市に支援してほしいことは、ばらつきがみられ、「制度や活動などの情報提供」「活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援）」「助成など経済的な支援」「講習会や勉強会などの開催（技術的支援）」「活動の助言や指導を行う専門家の派遣（人的支援）」がそれぞれ20%以上選択されています。

【全体】



(その他)

<経済的な支援>

- ・ 自宅の空き地を緑化する為の免税措置があれば駐車場などにしなくて済む。
- ・ 市が金銭的に長期間支援

<物的支援>

- ・ 自宅等地域の緑の剪定の際、電動工具があればありがたいです。
- ・ 各家庭への花の支給（希望者）

<公園や緑地などの整備>

- ・ 緑豊かな公園を散歩したりくつろいだりしたい。
- ・ 学校の校庭を芝生にしてほしい。
- ・ 市街地での緑化の整備
- ・ 個人の支援は必要ないが市が町の中に緑を増やしてほしい。
- ・ 彩都に大きな（緑地）森林公園（車でこれるような）をつくってほしい。
- ・ 樹木の整備
- ・ 遊具、体操、ウォーキング、ジョギング、サイクリング等、健康推進のための設備、防犯、安全性。もし可能なら、緑に触れられるようにお願いします。病後のリハビリ等のために、身体にやさしい水中運動ができるように、交通利便性のよいところに温水プールの設置(公園内の設備として)
- ・ 公園と広場が遠い。使い分けがあいまい。

<緑の保全>

- ・元茨木川沿いの樹木を大切に保存してほしい。
- ・今残っている緑（自然環境）を破壊しない、維持する。

<適切な手入れをすること>

- ・桜通り、緑の小径の落葉清掃（自宅の桶が詰まり毎日の清掃が大変）
- ・街路樹の桜の木が家の前に2本あるのですが、秋には落葉のそうじが大変です。市の方で助成していただくか、清掃してほしい。
- ・河川等の土砂や、河川の中の育った木などの撤却
- ・各個人邸の剪定した木、枝の随時引き取りをお願いしたい。

<市が先導した取組>

- ・待ちの姿勢でなく引っ張って行く思考を持ってほしい。
- ・個人で考えている事は、小さい事なので、先導してほしい。

<その他>

- ・市域コミュニティの育成支援
- ・最近はインターネットにより情報提供が一方的となり逆に伝わっていないと思う。
- ・工場緑化を進めると、落ち葉など色々クレームが出る。市民への説得や教育。
- ・ゴミ処理の方法を考えてほしい。
- ・調整区域をなくす。
- ・特にない。無駄にお金を使わないよう、本当に意味のあるものにお金を使ってほしい。

【年代別・地域別】

- 年代別にみると、ばらつきがあり、20代は「制度や活動などの情報提供」と「活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援）」、50代以上は「制度や活動などの情報提供」と「講習会や勉強会などの開催（技術的支援）」が多く、30代、40代は「活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援）」と「助成など経済的な支援」が多い傾向にあります。
- 地域別でも、ばらつきがみられ、山地部、周辺部1では「助成など経済的な支援」、丘陵部、周辺部2では「制度や活動などの情報提供」、中心部では「活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援）」が最も多くなっています。

		調査数	活動の助言 や指導を行う 専門家の 派遣（人的 支援）	活動場所の 提供や道具 の貸し出し （物的支 援）	助成など経 済的な支援	講習会や勉 強会などの 開催（技術 的支援）	制度や活動 などの情報 提供	仲間づくり などの仲 介・調整支 援	市の支援は 必要ない （自主的に 活動する）	緑との関わ りに興味は ない	その他	無回答
調査数		1,166	254	322	310	296	336	171	78	53	45	175
		100.0%	21.8%	27.6%	26.6%	25.4%	28.8%	14.7%	6.7%	4.5%	3.9%	15.0%
年代別	10代	4	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	9	21	20	7	22	10	2	11	0	9
		100.0%	13.4%	31.3%	29.9%	10.4%	32.8%	14.9%	3.0%	16.4%	0.0%	13.4%
	30代	158	32	62	46	30	39	25	9	11	5	21
		100.0%	20.3%	39.2%	29.1%	19.0%	24.7%	15.8%	5.7%	7.0%	3.2%	13.3%
	40代	179	42	61	63	47	49	22	8	8	8	19
		100.0%	23.5%	34.1%	35.2%	26.3%	27.4%	12.3%	4.5%	4.5%	4.5%	10.6%
年代別	50代	144	38	44	45	48	45	16	3	4	10	17
		100.0%	26.4%	30.6%	31.3%	33.3%	31.3%	11.1%	2.1%	2.8%	6.9%	11.8%
	60代	267	58	71	65	72	86	36	19	9	10	38
		100.0%	21.7%	26.6%	24.3%	27.0%	32.2%	13.5%	7.1%	3.4%	3.7%	14.2%
	70歳以上	330	72	59	69	85	92	59	34	9	11	64
		100.0%	21.8%	17.9%	20.9%	25.8%	27.9%	17.9%	10.3%	2.7%	3.3%	19.4%
	70歳以上	330	72	59	69	85	92	59	34	9	11	64
地域別	山地部	12	2	5	8	1	3	2	1	0	0	1
		100.0%	16.7%	41.7%	66.7%	8.3%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	丘陵部	129	22	32	35	28	37	18	9	5	7	25
		100.0%	17.1%	24.8%	27.1%	21.7%	28.7%	14.0%	7.0%	3.9%	5.4%	19.4%
	周辺部 1	225	56	52	68	66	58	31	12	10	10	29
		100.0%	24.9%	23.1%	30.2%	29.3%	25.8%	13.8%	5.3%	4.4%	4.4%	12.9%
	中心部	500	109	147	129	130	146	72	33	20	22	68
地域別		100.0%	21.8%	29.4%	25.8%	26.0%	29.2%	14.4%	6.6%	4.0%	4.4%	13.6%
	周辺部 2	233	45	71	57	58	80	38	18	14	5	29
		100.0%	19.3%	30.5%	24.5%	24.9%	34.3%	16.3%	7.7%	6.0%	2.1%	12.4%

4. 公園との関わりについて

問 1 2

茨木市内で最もよく利用する公園・緑地はどこですか？（1つ回答）

○茨木市内でよく利用する公園・緑地として最も多く回答されていたのは、「西河原公園」であり、回答数は 100 となっています。ただし、「元茨木川緑地」が 96 と「桜通り」が 78 あり、同じものと見なすとこれが最も多くなります。

○「若園公園バラ園」が 72、「水尾公園」と「耳原公園」が 40 などと続いており、地区公園や近隣公園が多く回答されています。

公園名	回答数
西河原公園	100
桜通り	96
元茨木川緑地	78
若園公園バラ園	72
水尾公園	40
耳原公園	40
上穂積公園	37
松沢池公園	32
中央公園	32
安威川	29
桑田公園	23
山手台中央公園	12
彩都西公園	11
舟木公園	9
あさぎ里山公園	9
白川中央公園	7
沢良宜公園・佐和良義神社	6
川端通り	6
辯天宗飛龍山眞應寺	5
橋の内公園	5
さくら公園	4
郡山公園	4
総持寺公園	4
美穂ヶ丘公園	3
大池公園	3
奈良東公園	3
忍頂寺スポーツ公園	3
中穂積公園	3
上穂東公園	3
中津公園	2
玉瀬北公園	2
中河原	2
郡さくら公園	2
東奈良公園	2
彩都の公園	2
白川東公園	2
山手台西公園	2
竹橋公園	2
山手台東公園	2
中村公園	2
庄公園	2
下穂積 1 丁目第 2 児童遊園	2
鮎川北公園	2
奈良公園	2
水尾東公園	2
白川西公園	2
五寶公園	2
平原公園	2
沢池公園	2
宇野辺公園	2
せせらぎ公園	1
平田の花水木遊歩道	1
市民グラウンド周辺	1
東芝三角公園	1
紫明園東児童公園	1
北春日丘公園	1
ビッグハーベスト公園	1
天王クレーパーク	1
東奈良あやめ公園	1
南北グラウンド	1
みどり公園	1
浜 3 丁目の公園	1

公園名	回答数
住所ネオコーポ茨木	1
別院町	1
駅前公園	1
春日 1 丁目児童遊園	1
島 4 丁目にある公園	1
春日ライフオートの隣の公園	1
東太田東公園	1
春日神社の公園	1
三島公園	1
ユーアイホール前	1
白川公民館の裏の公園	1
上西条公園	1
山手台北公園	1
上中条	1
複数の白川周辺の公園	1
上穂積 1 丁目第 3 児童遊園	1
平田南	1
桑原運動公園	1
穂積台公園	1
コープの公園	1
真砂第 1 公園	1
天王 1 丁目児童遊園	1
クリエイティブセンター横、公園	1
島ふれあい公園	1
オークタウン北公園	1
清阪	1
東太田	1
井口台公園	1
東奈良 1 丁目のシルバー人材センター横の公園	1
川端康成館前の公園	1
東奈良あやめ南児童遊園	1
一号公園	1
道祖本 1 号公園	1
船公園	1
相川河川敷	1
南春日丘児童公園	1
目垣公園	1
柳川公園	1
白川公民館の横の公園	1
緑地公園	1
瓦原公園	1
花、水、木の水辺の土のウォークの道	1
大正川遊歩道	1
浜一公園	1
大泉公園	1
山手台緑地公園	1
玉櫛公園	1
平田公園	1
サニータウン停前の公園	1
平田南公園	1
駅前 1 丁目の公園	1
穂積	1
スポーツ広場	1
花水木の小径バラ公園	1
竹ヶ池北児童遊園	1
淀川河川敷公園	1
蔵垣内公園	1
学園町にある大きな公園	1
大阪大学	1
大住公園	1
上野第 3 児童遊園	1

その他、団地内の公園、近くの公園など

【年代別・地域別】

○年代別にみると、ばらつきがあり 20 代では「西河原公園」と「元茨木川緑地」、30 代では「水尾公園」が最も多く、40 代では「西河原公園」、50 代では「若園公園バラ園」、60 代以上では「桜通り」が最も多くなっています。ただし、元茨木川緑地と桜通りを同じものと見なすと、全年代でこれが最も多くなります。

○地域別にみると、丘陵部では「耳原公園」が最も多くなっています。周辺部 1 では「西河原公園」、中心部と周辺部 2 では「桜通り」となっています。

		調査数	西河原公園	桜通り	元茨木川緑地	若園公園バラ園	水尾公園	耳原公園	上穂積公園	松沢池公園	中央公園	安威川	桑田公園	山手台中央公園	彩都西公園	舟木公園	あさぎ里山公園
	調査数	1,166 100.0%	100 8.6%	96 8.2%	78 6.7%	72 6.2%	40 3.4%	40 3.4%	37 3.2%	32 2.7%	32 2.7%	29 2.5%	23 2.0%	12 1.0%	11 0.9%	9 0.8%	9 0.8%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	5 7.5%	4 6.0%	5 7.5%	3 4.5%	4 6.0%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	11 7.0%	9 5.7%	6 3.8%	5 3.2%	14 8.9%	1 0.6%	6 3.8%	5 3.2%	4 2.5%	4 2.5%	5 3.2%	0 0.0%	3 1.9%	1 0.6%	2 1.3%
	40代	179 100.0%	19 10.6%	7 3.9%	15 8.4%	11 6.1%	3 1.7%	6 3.4%	16 8.9%	5 2.8%	3 1.7%	5 2.8%	4 2.2%	2 1.1%	4 2.2%	3 1.7%	4 2.2%
	50代	144 100.0%	12 8.3%	13 9.0%	14 9.7%	15 10.4%	3 2.1%	3 2.1%	0 0.0%	3 2.1%	8 5.6%	3 2.1%	2 1.4%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%
	60代	267 100.0%	24 9.0%	30 11.2%	19 7.1%	21 7.9%	8 3.0%	9 3.4%	8 3.0%	9 3.4%	6 2.2%	7 2.6%	7 2.6%	2 0.7%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.4%
	70歳以上	330 100.0%	25 7.6%	32 9.7%	19 5.8%	16 4.8%	8 2.4%	18 5.5%	7 2.1%	8 2.4%	9 2.7%	9 2.7%	4 1.2%	7 2.1%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	7 5.4%	1 0.8%	4 3.1%	1 0.8%	0 0.0%	22 17.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	12 9.3%	8 6.2%	0 0.0%	7 5.4%
	周辺部 1	225 100.0%	40 17.8%	2 0.9%	5 2.2%	5 2.2%	1 0.4%	15 6.7%	8 3.6%	31 13.8%	2 0.9%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.6%	1 0.4%
	中心部	500 100.0%	39 7.8%	54 10.8%	40 8.0%	41 8.2%	30 6.0%	2 0.4%	28 5.6%	1 0.2%	21 4.2%	15 3.0%	16 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%
	周辺部 2	233 100.0%	11 4.7%	33 14.2%	23 9.9%	22 9.4%	9 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.1%	11 4.7%	7 3.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%

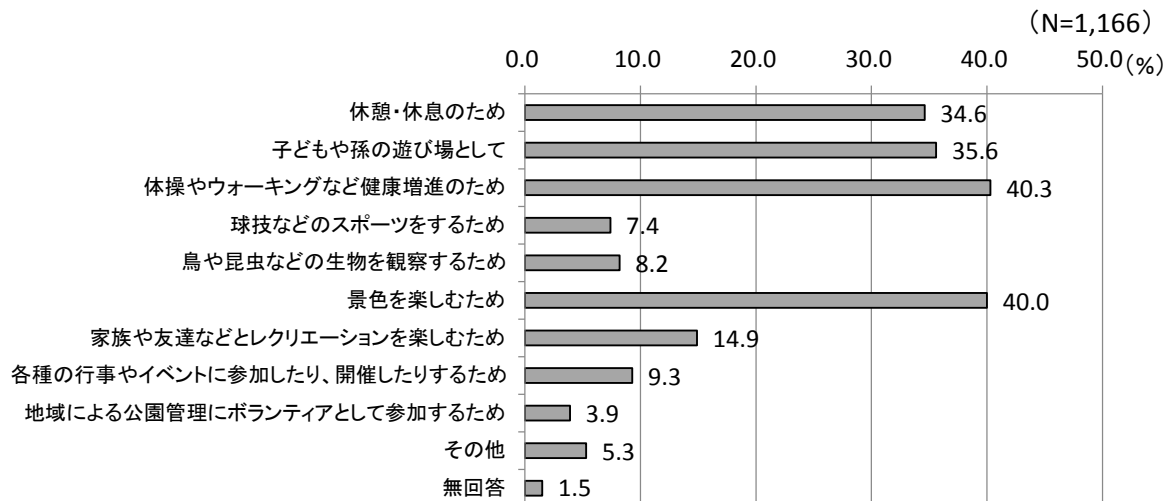
		白川中央公園	沢良宣公園・佐和良義神社	川端通り	翔天宗飛騨山真徳寺	橋の内公園	さくら公園	部山公園	細持寺公園	美穂ヶ丘公園	大池公園	奈良東公園	忍頂ヶ丘スポーツ公園	中穂積公園	上穂東公園	その他	無回答
	調査数	7 0.6%	6 0.5%	6 0.5%	5 0.4%	5 0.4%	4 0.3%	4 0.3%	4 0.3%	3 0.3%	3 0.3%	3 0.3%	3 0.3%	3 0.3%	3 0.3%	170 14.6%	317 27.2%
年代別	10代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%
	20代	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 11.9%	26 38.8%
	30代	0 0.0%	3 1.9%	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.9%	0 0.0%	2 1.3%	2 1.3%	23 14.6%	44 27.8%
	40代	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	19 10.6%	47 26.3%
	50代	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	20 13.9%	40 27.8%
	60代	4 1.5%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	35 13.1%	66 24.7%
	70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	3 0.9%	2 0.6%	1 0.3%	2 0.6%	2 0.6%	2 0.6%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 18.2%	88 26.7%
地域別	山地部	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	7 58.3%
	丘陵部	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.8%	1 0.0%	0 0.0%	21 16.3%	41 31.8%
	周辺部 1	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.9%	0 0.0%	4 1.8%	3 1.3%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	35 15.6%	56 24.9%
	中心部	0 0.0%	2 0.4%	4 0.8%	2 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.6%	0 0.0%	3 0.6%	2 0.4%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.4%	63 12.6%	129 25.8%
	周辺部 2	7 3.0%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 17.2%	54 23.2%

問 1 3

問 1 2 で回答した公園・緑地について、主にどういった目的で利用しますか？（3 つまで選択可）

- 公園・緑地を利用する目的としては、「体操やウォーキングなど健康増進のため」が 40.3%、「景色を楽しむため」が 40.0%となっています。
- 「子どもや孫の遊び場として」「休憩・休息のため」は、30%以上が選択しています。

【全体】



（その他）

< 散歩のため >

- ・犬の散歩
- ・散歩の目的地又は休憩のため。

< 通り道であるため >

- ・通り道
- ・クリエイトセンターに車を駐車し通りがかり。
- ・通勤

< 花や緑をみるため >

- ・桜の頃桜を見に散歩します。
- ・なるべく通るようにして、緑を見るようにしています。
- ・薔薇を観賞するため。
- ・季節を感じるため。

< 癒しのため >

- ・買い物途中に通るだけだが自然がある方がホッとするのでそこを選んで通ります。
- ・広い場所でゆったりと座って空の雲の動きをみる。

< 遊び場として >

- ・マンションに寄り添う小公園で孫の子守
- ・私たちの遊び場として。

< 健康・運動のため >

- ・サイクリング
- ・足の裏を刺激する石の上を歩くのに利用している。

<その他>

- ・そばを喰べたり野菜とかを買っている。
- ・公園の花壇の水やり
- ・西河原プールを利用するため。
- ・どんぐりや落葉拾い
- ・温暖化防止に役立つから。

【年代別・地域別】

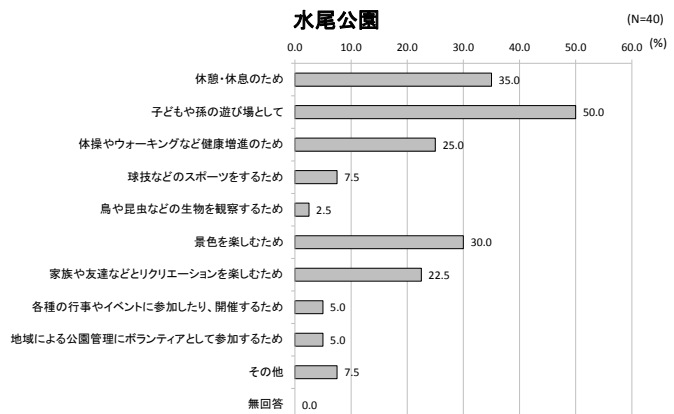
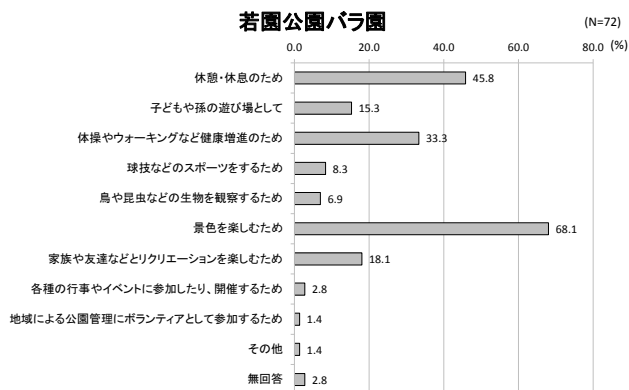
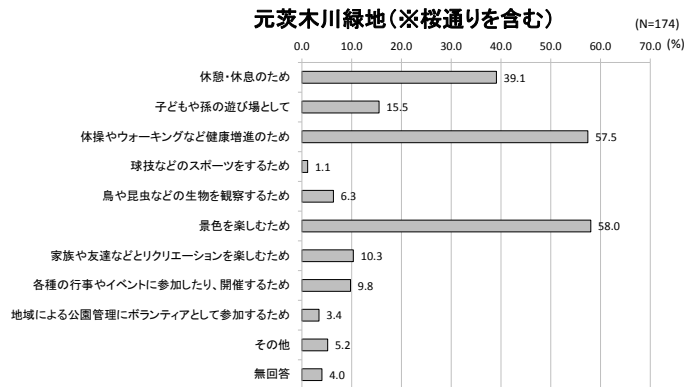
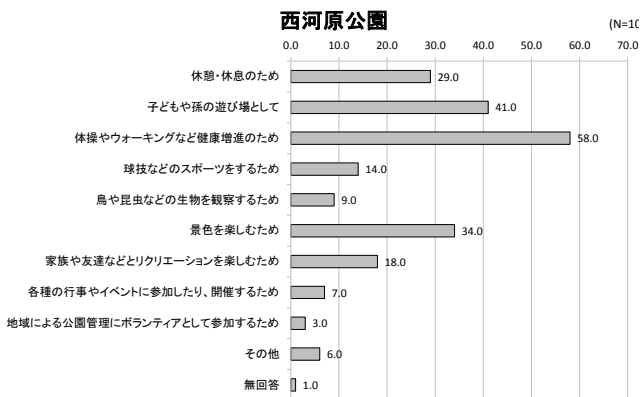
○年代別にみると、20代は「景色を楽しむため」が最も多く、30代と40代は「子どもや孫の遊び場として」が多くなっています。50代以上は「景色を楽しむため」や「体操やウォーキングなど健康増進のため」が多くなっています。

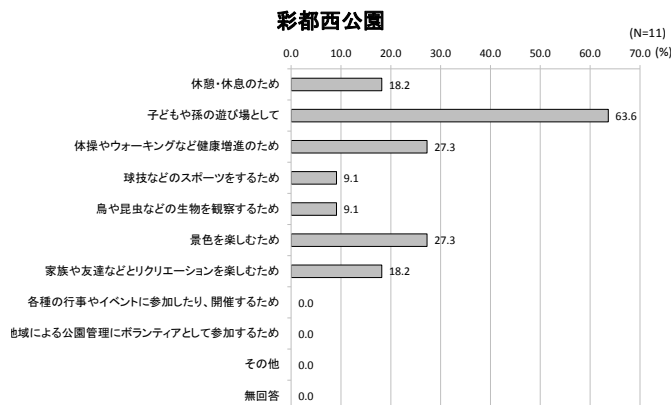
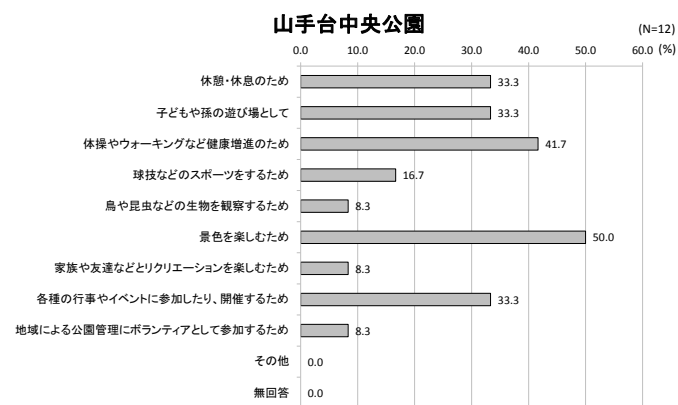
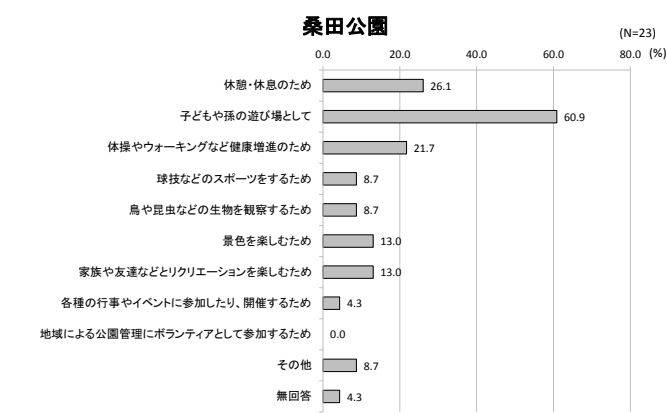
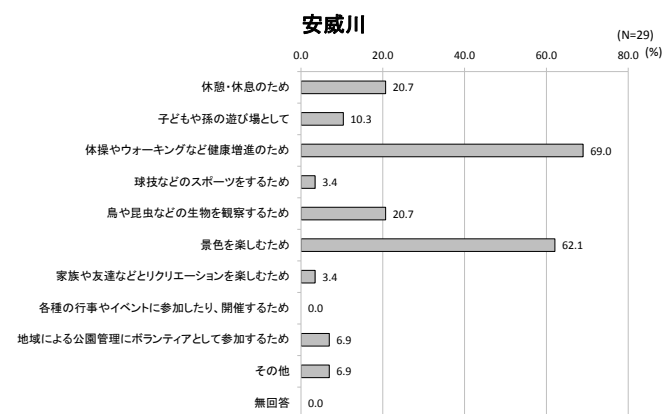
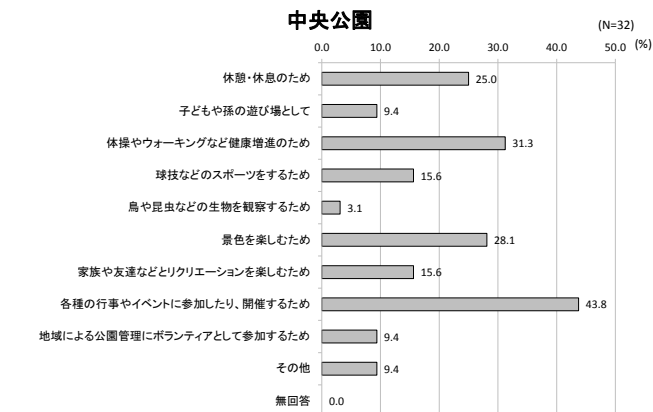
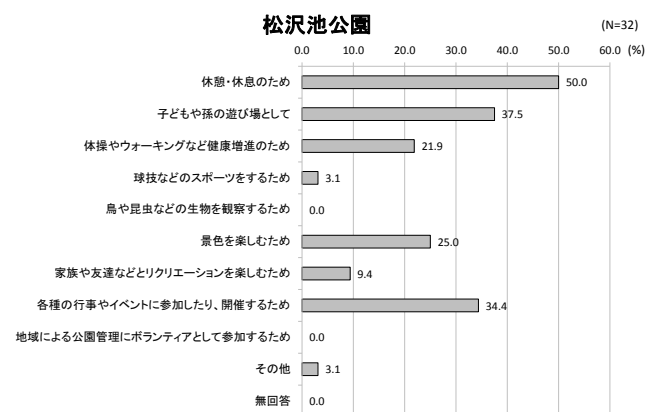
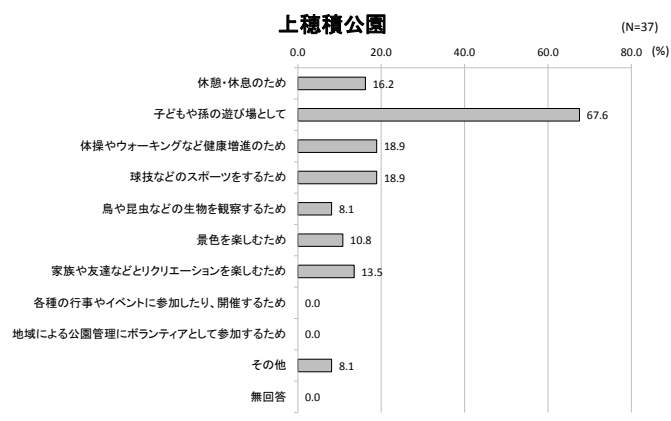
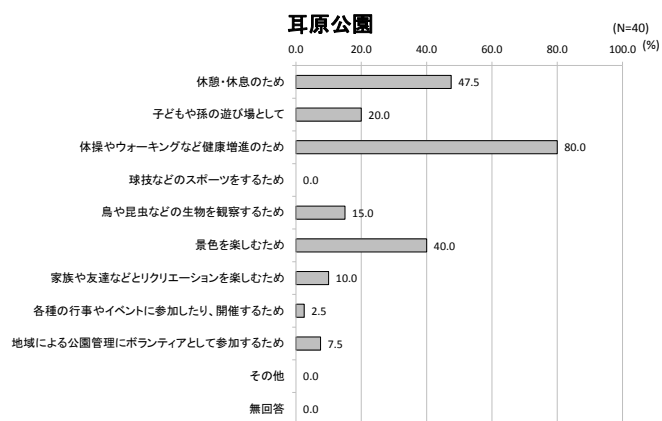
○地域別にみると、丘陵部では「子どもや孫の遊び場として」が、周辺部1、周辺部2では「体操やウォーキングなど健康増進のため」が、中心部では「景色を楽しむため」が最も多くなっています。

		調査数	休憩・休息のため	子どもや孫の遊び場として	体操やウォーキングなど健康増進のため	球技などのスポーツをするため	鳥や昆虫などの生物を観察するため	景色を楽しむため	家族や友達などとレクリエーションを楽しむため	各種の行事やイベントに参加したり、開催したりするため	地域による公園管理にボランティアとして参加するため	その他	無回答
	調査数	853 100.0%	295 34.6%	304 35.6%	344 40.3%	63 7.4%	70 8.2%	341 40.0%	127 14.9%	79 9.3%	33 3.9%	45 5.3%	13 1.5%
年代別	10代	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	41 100.0%	14 34.1%	7 17.1%	11 26.8%	5 12.2%	0 0.0%	17 41.5%	4 9.8%	7 17.1%	0 0.0%	4 9.8%	0 0.0%
	30代	115 100.0%	22 19.1%	71 61.7%	22 19.1%	10 8.7%	7 6.1%	33 28.7%	22 19.1%	9 7.8%	0 0.0%	9 7.8%	0 0.0%
	40代	133 100.0%	43 32.3%	68 51.1%	41 30.8%	16 12.0%	10 7.5%	35 26.3%	34 25.6%	14 10.5%	4 3.0%	10 7.5%	0 0.0%
	50代	105 100.0%	29 27.6%	19 18.1%	41 39.0%	7 6.7%	11 10.5%	51 48.6%	16 15.2%	12 11.4%	5 4.8%	7 6.7%	5 4.8%
	60代	199 100.0%	69 34.7%	69 34.7%	100 50.3%	9 4.5%	15 7.5%	78 39.2%	18 9.0%	18 9.0%	11 5.5%	9 4.5%	2 1.0%
	70歳以上	245 100.0%	109 44.5%	64 26.1%	125 51.0%	15 6.1%	27 11.0%	120 49.0%	30 12.2%	19 7.8%	13 5.3%	6 2.4%	5 2.0%
地域別	山地部	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
	丘陵部	88 100.0%	27 30.7%	38 43.2%	35 39.8%	8 9.1%	6 6.8%	36 40.9%	19 21.6%	10 11.4%	3 3.4%	3 3.4%	0 0.0%
	周辺部1	161 100.0%	56 34.8%	61 37.9%	63 39.1%	9 5.6%	7 4.3%	54 33.5%	28 17.4%	20 12.4%	8 5.0%	10 6.2%	2 1.2%
	中心部	382 100.0%	135 35.3%	128 33.5%	157 41.1%	32 8.4%	36 9.4%	164 42.9%	46 12.0%	32 8.4%	14 3.7%	22 5.8%	4 1.0%
	周辺部2	179 100.0%	58 32.4%	64 35.8%	73 40.8%	11 6.1%	15 8.4%	72 40.2%	28 15.6%	15 8.4%	7 3.9%	7 3.9%	5 2.8%

【公園別】（※問 12 で 10 以上の回答数があった公園のみ）

- 西河原公園は、「体操やウォーキングなど健康増進のため」が最も多く 58.0%、「子どもの遊び場として」が 41.0%、「休憩・休息のため」が 29.0%と続いています。
- 元茨木川緑地（※桜通りを含む）は、「体操やウォーキングなど健康増進のため」と「景色を楽しむため」が主な目的であり、半数以上が選択しています。
- 近隣公園である水尾公園、桑田公園、上穂積公園、地区公園である彩都西公園では「子どもや孫の遊び場として」が主な目的となっています。
- 地区公園である若園公園バラ園は、「景色を楽しむため」が多いのが特徴で、68.1%となっています。耳原公園は、「体操やウォーキングなど健康増進のため」が 80.0%となっています。
- 中央公園は、「各種の行事やイベントに参加したり、開催するため」が多いのが特徴で、その他「体操やウォーキングなど健康増進のため」、「景色を楽しむため」など多様な目的で利用されています。
- 総合公園である松沢池公園は、「休憩・休息のため」や「子どもや孫の遊び場として」、「各種の行事やイベントに参加したり、開催するため」など多様な目的で利用されています。
- 山手台中央公園についても、「景色を楽しむため」や「体操やウォーキングなど健康増進のため」、「各種の行事やイベントに参加したり、開催するため」など多様な目的で利用されています。
- 安威川は、「体操やウォーキングなど健康増進のため」、「景色を楽しむため」が多く、河川敷を歩き景色を楽しむことが主な利用目的といえます。



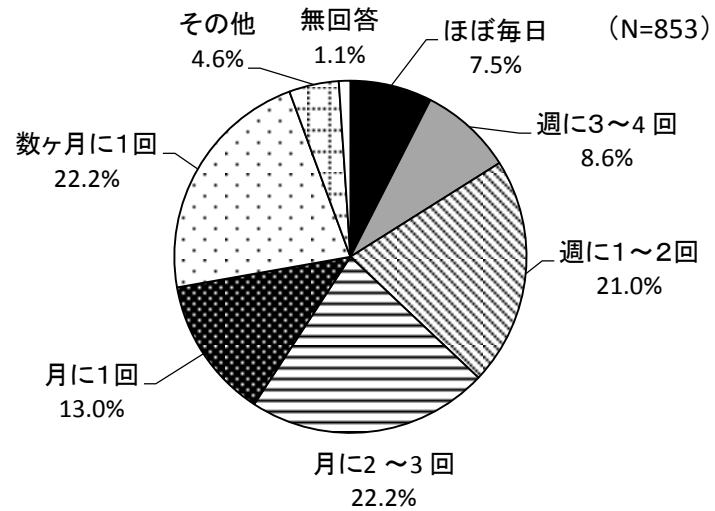


問 1 4

どのくらいの頻度で利用しますか？（1 つ選択）

○公園・緑地の利用頻度はばらつきがみられ、「週に 1 ～ 2 回」「月に 2 ～ 3 回」「数ヶ月に 1 回」をそれぞれ 20%以上が選択しています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、20代、50代は「数ヶ月に1回」、30代、40代、60代以上は「月に2～3回」が最も多くなっています。

○地域別にみると、丘陵部と周辺部1は「数ヶ月に1回」が多く、丘陵部については、「数ヶ月に1回」と「月に2～3回」が同数となっています。中心部では「週に1～2回」、周辺部2では「月に2～3回」が多くなっています。

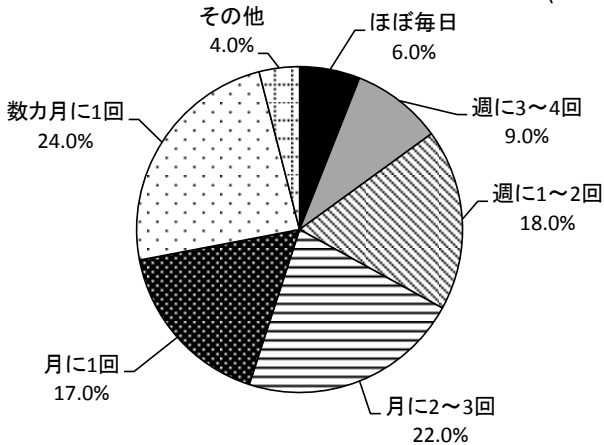
		調査数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に2～3回	月に1回	数ヶ月に1回	その他	無回答
	調査数	853 100.0%	64 7.5%	73 8.6%	179 21.0%	189 22.2%	111 13.0%	189 22.2%	39 4.6%	9 1.1%
年代別	10代	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	41 100.0%	0 0.0%	1 2.4%	5 12.2%	5 12.2%	5 12.2%	18 43.9%	7 17.1%	0 0.0%
	30代	115 100.0%	3 2.6%	6 5.2%	20 17.4%	31 27.0%	22 19.1%	30 26.1%	3 2.6%	0 0.0%
	40代	133 100.0%	11 8.3%	6 4.5%	29 21.8%	31 23.3%	19 14.3%	30 22.6%	7 5.3%	0 0.0%
	50代	105 100.0%	5 4.8%	8 7.6%	21 20.0%	16 15.2%	7 6.7%	38 36.2%	7 6.7%	3 2.9%
	60代	199 100.0%	16 8.0%	26 13.1%	44 22.1%	48 24.1%	19 9.5%	40 20.1%	4 2.0%	2 1.0%
	70歳以上	245 100.0%	26 10.6%	25 10.2%	57 23.3%	58 23.7%	35 14.3%	30 12.2%	10 4.1%	4 1.6%
地域別	山地部	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
	丘陵部	88 100.0%	5 5.7%	4 4.5%	19 21.6%	22 25.0%	13 14.8%	22 25.0%	3 3.4%	0 0.0%
	周辺部1	161 100.0%	13 8.1%	13 8.1%	29 18.0%	33 20.5%	19 11.8%	44 27.3%	8 5.0%	2 1.2%
	中心部	382 100.0%	27 7.1%	37 9.7%	90 23.6%	87 22.8%	46 12.0%	76 19.9%	15 3.9%	4 1.0%
	周辺部2	179 100.0%	17 9.5%	12 6.7%	35 19.6%	41 22.9%	24 13.4%	40 22.3%	8 4.5%	2 1.1%

【公園別】（※問 12 で 10 以上の回答数があった公園のみ）

- 安威川は、週に 1 回以上の利用が約半数となっており、利用頻度が高い公園・緑地であるといえます。元茨木川緑地（※桜通りを含む）、水尾公園も、40%が週に 1 回以上の利用をしており、比較的利用頻度が高いといえます。
- 西川原公園、若園公園バラ園、中央公園、松沢池公園は、「数ヶ月に 1 回」が最も多く、特に中央公園においては約半数が選択しています。
- 耳原公園、上穂積公園、桑田公園、山手台中央公園、彩都西公園は、「月に 2 ～ 3 回」が最も多く、6 割以上が月に 2 ～ 3 回以上利用しています。

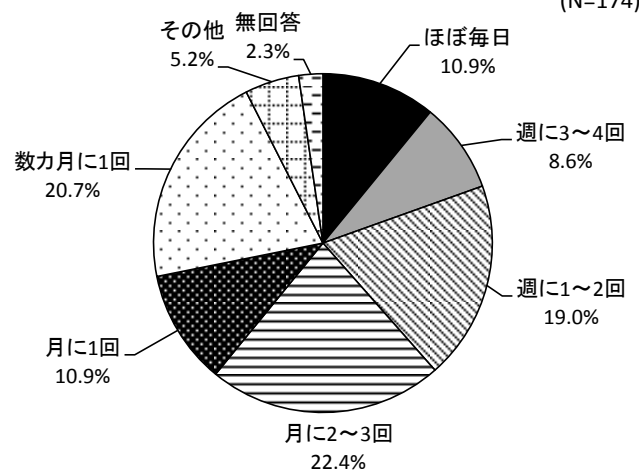
西河原公園

(N=100)



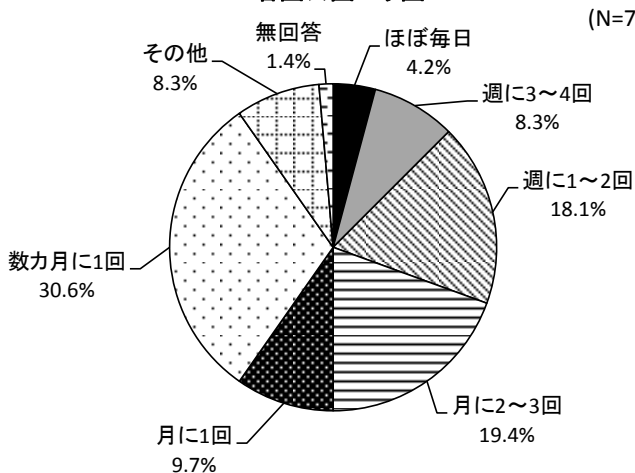
元茨木川緑地（※桜通りを含む）

(N=174)



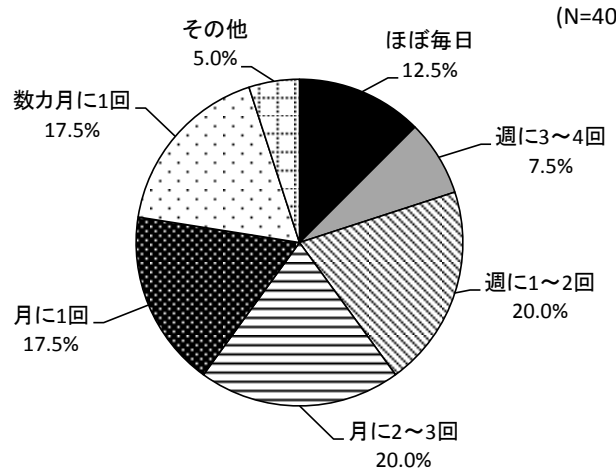
若園公園バラ園

(N=72)



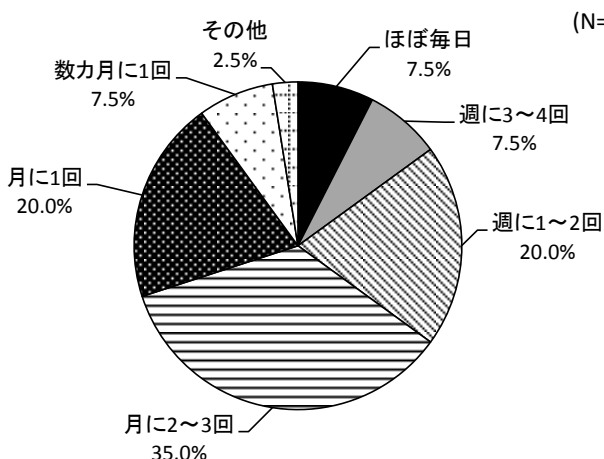
水尾公園

(N=40)



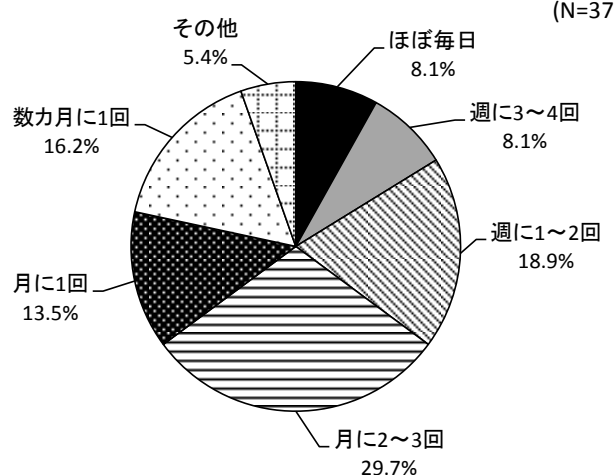
耳原公園

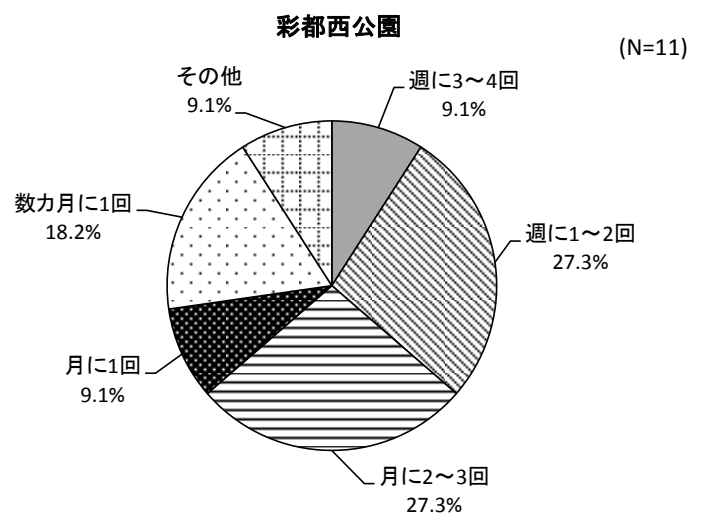
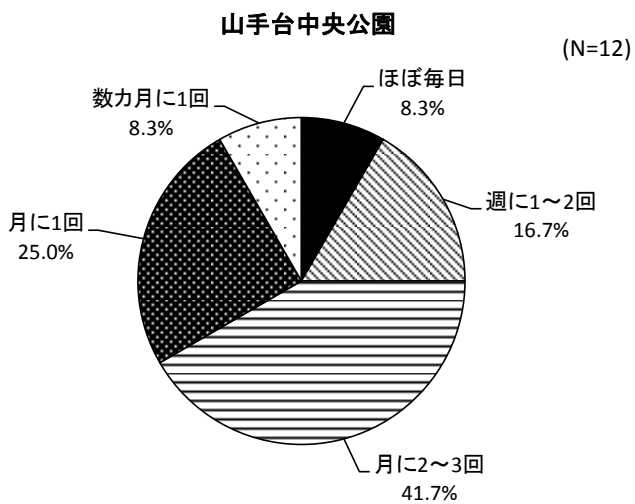
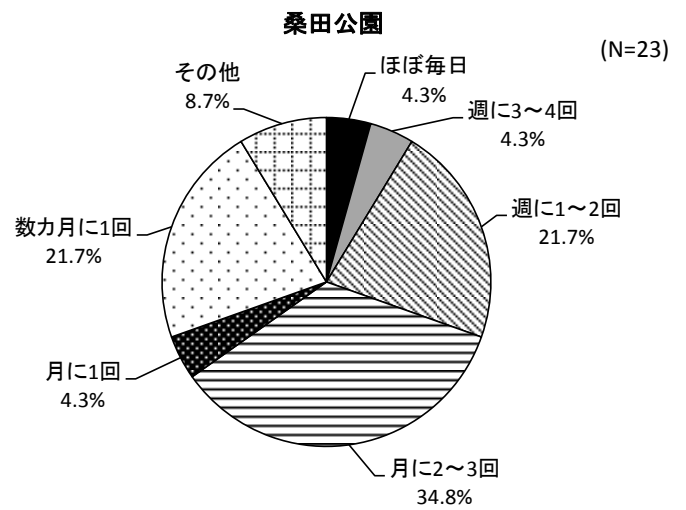
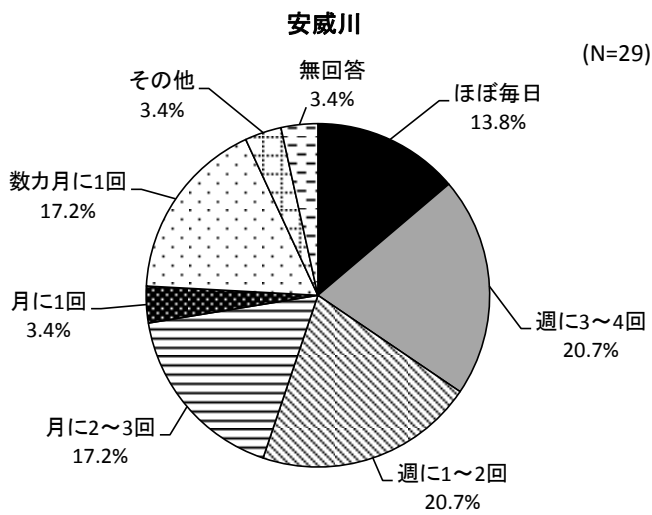
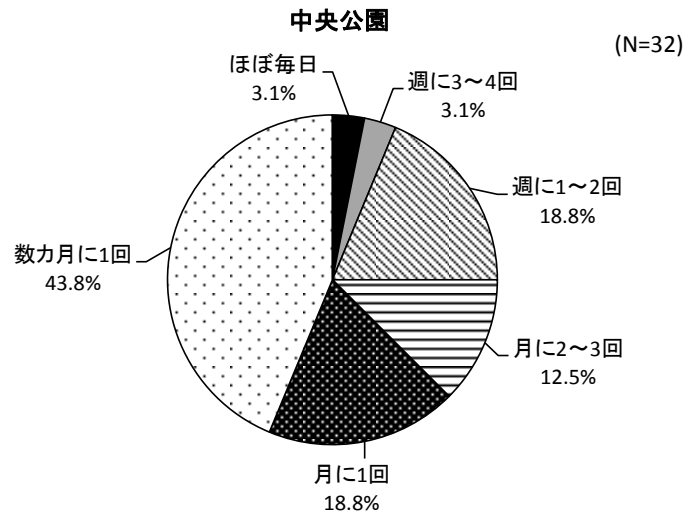
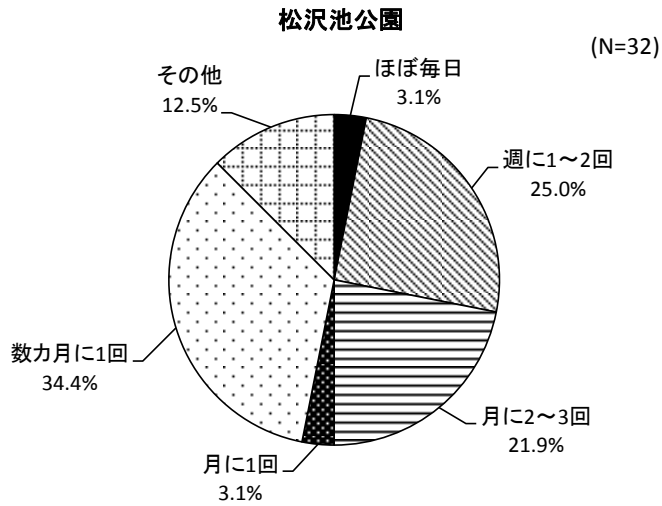
(N=40)



上穂積公園

(N=37)



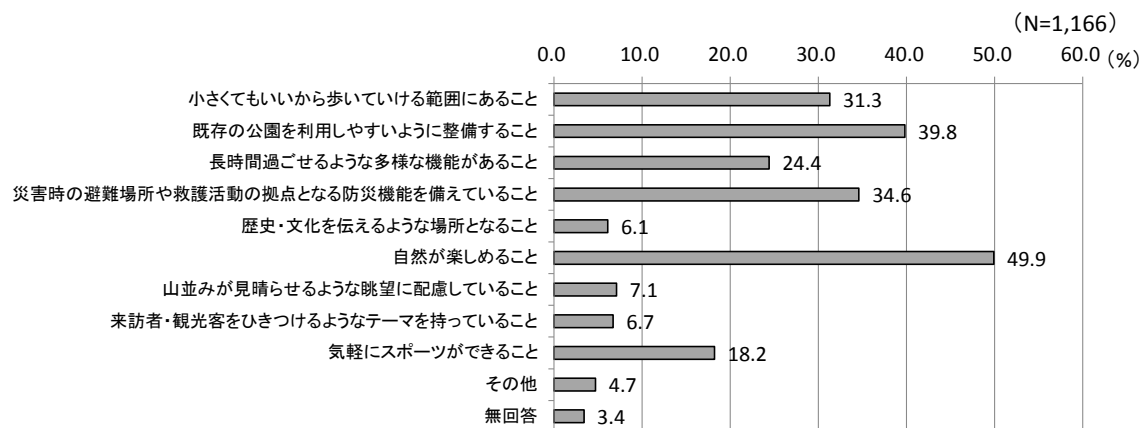


問 1 5

茨木市の公園・緑地に対して今後どのようなことを特に望みますか？（3つまで選択可）

- 茨木市の公園・緑地に対して望むことは、「自然が楽しめること」が最も多く、49.9%が選択しています。
- 次いで「既存の公園を利用しやすいように整備すること」「災害時の避難場所や救護活動の拠点となる防災機能を備えていること」「小さくてもいから歩いていける範囲にあること」が多く、30%以上が選択しています。

【全体】



（その他）

<安心・安全な場であること>

- ・小さい子供でも安心して過ごせるスペースを作ってほしい。
- ・女性が一人でも歩ける安全な公園にして欲しい。
- ・不審者に注意、又は防犯を意識して整備すること。
- ・防災ヘリが着陸出来るようにする（周辺の電柱を無くし、電線は地下埋にする。JRはパッドマウント形式。又、周りの道路は駐停車禁止にする。）。
- ・場所によってせつかくの公園が緑に埋もれて、不審者への対処不能。手入れもしっかりやってほしい。

<子どもたちが思い切り遊べる場であること>

- ・芝のグラウンド、野球場が欲しい。
- ・子供たちがのびのびと球技が出来る場所の提供
- ・公園やグラウンドを増やして欲しい。小さくてもいいので。子供達が球技のできる場所が少ない為。
- ・子供が思いきりサッカーできるところが欲しい。
- ・子ども達が傷なく遊べ、人がいこいの場として利用できる公園
- ・健康器具を置かず子供が遊べる公園をつくってほしい。
- ・小学生の娘が日常安全に利用できる近所の公園。ボール遊びできる公園

<マナーの向上>

- ・子供が集まって騒ぐのが困る。どうにかしてほしい。
- ・犬の飼い主のマナーの悪さ
- ・除草、タバコのすいがらポイ捨ての取締の徹底
- ・子供（中学生）が木を切ったり燃やしたりしている、何とかして下さい。
- ・市民のクレームが無くなるような教育
- ・公園緑地歩道に自転車を乗り入れないことの徹底

<きれいであること>

- ・トイレがきれいである事。
- ・ゴミがなく、住んでる人がなく、生物のすみかである。
- ・犬のフンなどがなくきれいであること。

<設備を充実させること>

- ・トイレの設備及び水洗化、洋式トイレの設置。
- ・遊具の整備
- ・緑だけでなく周辺の設備も整備してほしい（公園の遊具など）。
- ・ベンチを増やしてもらいたい。
- ・遊びながら運動が出来る器具の整備
- ・駐車場があること。

<大きな公園>

- ・気軽に犬の散歩が出来る大きな公園
- ・公園が狭くてリラックスできない。
- ・大きな公園に集約
- ・大規模な公園・緑化の計画的な設置

<その他>

- ・温暖化防止
- ・維持コストが低いようにする。
- ・大人でも、のんびりくつろげる場所
- ・道路歩道に季節感ある樹木が楽しめる様に。
- ・落ち葉を腐葉土として使うような公園・緑地にしてほしい。
- ・緑が多いこと。
- ・ヨーロッパの都市計画を学んでほしい。
- ・新しい設計を取り入れ洗練されること。
- ・公園の特徴を活かした整備（例. 山を利用したスライダー）

【年代別・地域別】

○年代別にみると30代、40代を除き「自然が楽しめること」が最も多くなっています。30代、40代で最も多いのは「既存の公園を利用しやすいように整備すること」となっています。

○地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2は、「自然が楽しめること」が多くなっています。山地部は「既存の公園を利用しやすいように整備すること」が最も多くなっています。

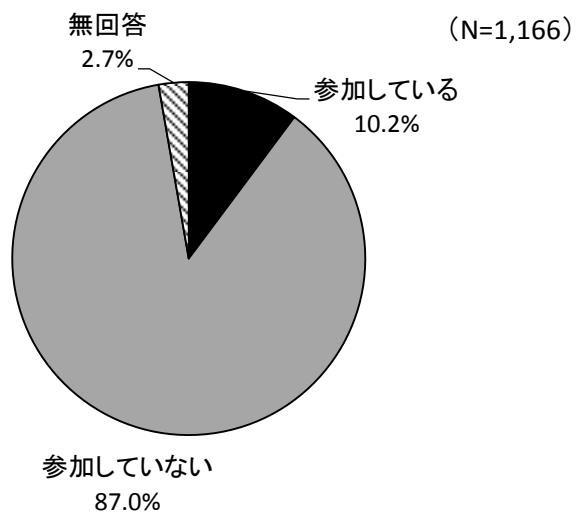
		調査数	小さくてもいいから歩いていける範囲にあること	既存の公園を利用しやすいように整備すること	長時間過ごせるような多様な機能があること	災害時の避難場所や救援活動の拠点となる防災機能を備えていること	歴史・文化を伝えるような場所となること	自然が楽しめること	山並みが見晴らせるような眺望に配慮していること	来訪者・観光客をひきつけるようなテーマを持っていること	気軽にスポーツができること	その他	無回答
調査数		1,166	365	464	284	403	71	582	83	78	212	55	40
		100.0%	31.3%	39.8%	24.4%	34.6%	6.1%	49.9%	7.1%	6.7%	18.2%	4.7%	3.4%
年代別	10代	4	1	2	0	2	0	2	0	1	1	0	0
		100.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	16	23	11	21	4	33	9	5	20	2	1
		100.0%	23.9%	34.3%	16.4%	31.3%	6.0%	49.3%	13.4%	7.5%	29.9%	3.0%	1.5%
	30代	158	49	78	47	33	4	77	10	11	46	11	3
		100.0%	31.0%	49.4%	29.7%	20.9%	2.5%	48.7%	6.3%	7.0%	29.1%	7.0%	1.9%
	40代	179	50	83	46	59	15	80	10	13	43	13	3
		100.0%	27.9%	46.4%	25.7%	33.0%	8.4%	44.7%	5.6%	7.3%	24.0%	7.3%	1.7%
地域別	50代	144	37	57	40	55	6	77	10	11	31	7	4
		100.0%	25.7%	39.6%	27.8%	38.2%	4.2%	53.5%	6.9%	7.6%	21.5%	4.9%	2.8%
	60代	267	71	92	70	99	12	137	20	20	32	12	10
		100.0%	26.6%	34.5%	26.2%	37.1%	4.5%	51.3%	7.5%	7.5%	12.0%	4.5%	3.7%
	70歳以上	330	134	123	67	128	29	167	24	17	34	10	18
		100.0%	40.6%	37.3%	20.3%	38.8%	8.8%	50.6%	7.3%	5.2%	10.3%	3.0%	5.5%
	山地部	12	3	6	3	5	1	4	0	3	1	1	1
		100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	41.7%	8.3%	33.3%	0.0%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%
地域別	丘陵部	129	41	49	29	37	8	63	12	8	21	9	7
		100.0%	31.8%	38.0%	22.5%	28.7%	6.2%	48.8%	9.3%	6.2%	16.3%	7.0%	5.4%
	周辺部1	225	71	91	60	73	12	105	19	16	49	11	5
		100.0%	31.6%	40.4%	26.7%	32.4%	5.3%	46.7%	8.4%	7.1%	21.8%	4.9%	2.2%
	中心部	500	155	212	126	182	35	252	31	28	88	21	16
地域別		100.0%	31.0%	42.4%	25.2%	36.4%	7.0%	50.4%	6.2%	5.6%	17.6%	4.2%	3.2%
	周辺部2	233	72	86	55	90	11	122	16	18	43	7	8
		100.0%	30.9%	36.9%	23.6%	38.6%	4.7%	52.4%	6.9%	7.7%	18.5%	3.0%	3.4%

問 1 6

公園・緑地の維持管理活動に参加していますか？（1つ選択）

○公園・緑地の維持管理活動に「参加していない」が 87.0%であり、「参加している」の 10.2%を大きく上回っています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、若い年代ほど「参加していない」割合が高い傾向にあり、10代、20代では、ほとんどが「参加していない」と回答しています。30代から60代では「参加していない」が90%前後、70歳以上では「参加していない」が78.8%となっています。

○地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「参加していない」が85%を超えています。山地部では、「参加していない」が75.0%となっています。

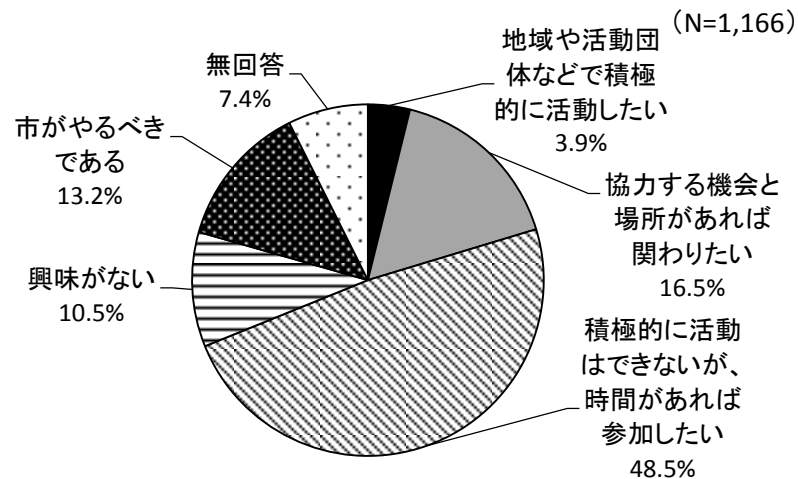
		調査数	参加している	参加していない	無回答
	調査数	1,166 100.0%	119 10.2%	1,015 87.0%	32 2.7%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	1 1.5%	66 98.5%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	10 6.3%	146 92.4%	2 1.3%
	40代	179 100.0%	19 10.6%	159 88.8%	1 0.6%
	50代	144 100.0%	8 5.6%	132 91.7%	4 2.8%
	60代	267 100.0%	29 10.9%	235 88.0%	3 1.1%
	70歳以上	330 100.0%	51 15.5%	260 78.8%	19 5.8%
地域別	山地部	12 100.0%	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%
	丘陵部	129 100.0%	16 12.4%	110 85.3%	3 2.3%
	周辺部1	225 100.0%	27 12.0%	192 85.3%	6 2.7%
	中心部	500 100.0%	42 8.4%	448 89.6%	10 2.0%
	周辺部2	233 100.0%	27 11.6%	202 86.7%	4 1.7%

問 1 7

今後どのように公園・緑地の維持管理活動に関わっていきたいと考えていますか？

- 今後公園・緑地の維持管理活動に「積極的に活動はできないが、時間があれば参加したい」が最も多く、48.5%となっています。
- 「協力する機会と場所があれば関わりたい」は16.5%であり、主体となって活動はできないが、関わりたいという意思を60%以上が持っているということがわかります。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、全ての年代において「積極的に活動はできないが、時間があれば参加したい」が最も多くなっています。次いで、30代から60代では「協力する期間と場所があれば関わりたい」が多くなっています。

○地域別にみても、全ての地域において「積極的に活動はできないが、時間があれば参加したい」が最も多くなっています。

		調査数	地域や活動 団体などで 積極的に活 動したい	協力する機 会と場所が あれば関わ りたい	積極的に活 動はできな いが、時間 があれば参 加したい	興味がない	市がやるべ きである	無回答
	調査数	1,166 100.0%	45 3.9%	192 16.5%	566 48.5%	123 10.5%	154 13.2%	86 7.4%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	0 0.0%	13 19.4%	29 43.3%	14 20.9%	10 14.9%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	3 1.9%	25 15.8%	85 53.8%	17 10.8%	18 11.4%	10 6.3%
	40代	179 100.0%	9 5.0%	33 18.4%	93 52.0%	16 8.9%	27 15.1%	1 0.6%
	50代	144 100.0%	4 2.8%	23 16.0%	76 52.8%	18 12.5%	16 11.1%	7 4.9%
	60代	267 100.0%	12 4.5%	50 18.7%	127 47.6%	31 11.6%	31 11.6%	16 6.0%
	70歳以上	330 100.0%	17 5.2%	46 13.9%	147 44.5%	24 7.3%	50 15.2%	46 13.9%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 58.3%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%
	丘陵部	129 100.0%	9 7.0%	25 19.4%	55 42.6%	15 11.6%	17 13.2%	8 6.2%
	周辺部1	225 100.0%	11 4.9%	39 17.3%	116 51.6%	21 9.3%	25 11.1%	13 5.8%
	中心部	500 100.0%	18 3.6%	85 17.0%	247 49.4%	53 10.6%	69 13.8%	28 5.6%
	周辺部2	233 100.0%	4 1.7%	37 15.9%	116 49.8%	25 10.7%	31 13.3%	20 8.6%

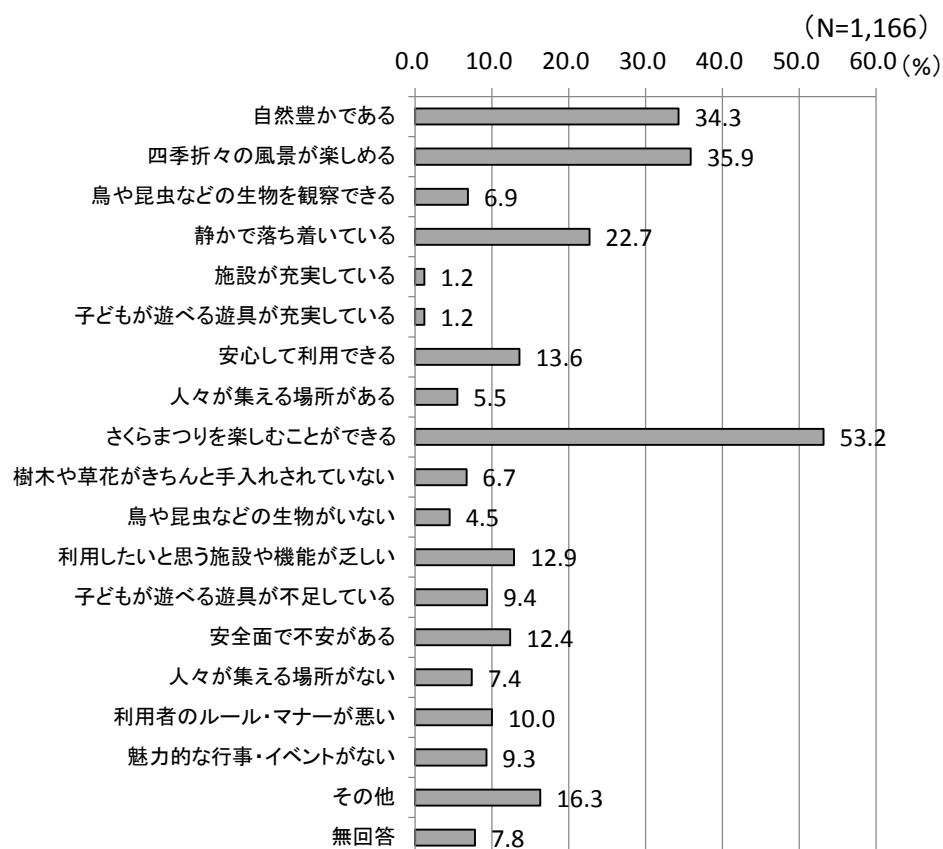
5. 元茨木川緑地について

問 1 8

元茨木川緑地について、どう思いますか？（5つまで選択可）

- 元茨木川緑地について、「さくらまつりを楽しむことができる」が最も多く、53.2%が選択しています。
- 次いで、「四季折々の風景が楽しめる」が35.9%、「自然豊かである」が34.3%となっています。

【全体】



（その他）

<歩くのによい>

- ・ウォーキングによい。
- ・散歩するのにはとても良い（犬を連れて）。

<よい風景である>

- ・並木の最も良い区域になっている。
- ・きれいに手入れされている。
- ・眺めがよい。

<暗くて危ない>

- ・木が大きくなりすぎて昼間でも暗く、夜はとくに危険。
- ・暗くなってから通るのが怖い。見通しの悪いところがある。
- ・夜、暗くて危ない。街灯が少ない。
- ・夜間は物騒なことがある。
- ・田中橋から北側が少し暗く淋しい様に感じる。

<設備が整っていない>

- ・古くてボロボロの遊具の安全が不安。
- ・トイレが少ない。洋式トイレがない。
- ・トイレが古くて汚い。
- ・ベンチ等の充実を望む。
- ・路面が悪い所があり、そこが使いにくい。

<人工的な風景である>

- ・いかにも人工的な緑と思うので嫌いである。
- ・あまりに人工的。
- ・人工的なアートは却って雰囲気をこわすので要らない。

<魅力的な風景ではない>

- ・魅力的な風景では少しないと思います。
- ・桜の季節以外は、散歩していて楽しくなる景観がない。

<剪定・手入れが適切ではない>

- ・木を枯らさないように植えっぱなしにしないでください。枯れていく桜を見るのは心が痛みます。
- ・通路の落葉が多い時がある。
- ・桜以外の花や果実が楽しめる木も多いのに、剪定時期が悪く花芽が切られている。雪柳、レンギョウ、ツツジなど。
- ・手入れが悪い、夏は木影がなく、冬は丸裸になる様な枝切りは木に対しても景観的にも悪い。
- ・大きな木をもっと小さくしてはどうか。

<利用者のルール・マナーが悪い>

- ・トンネル落書や放置自転車がたまにある。
- ・花見客のバーベキューで迷惑している。緑地帯での火気使用禁止の徹底。
- ・子供が集まってるさい。かなり迷惑している。
- ・犬をつながないで散歩している人がいてこわい。
- ・犬の散歩禁止

<車道が近く気になる>

- ・道路が混雑している。
- ・横が車道なので落ちついて自然をたのしむ雰囲気ではない。
- ・排気ガスが気になる。
- ・すぐ近くを車が沢山通るので、空気が悪く落ち着かない。

<自転車が多く危ない>

- ・歩道とサイクリング用の道を別にして欲しい。
- ・自転車がが多いので、歩行者が危険である。
- ・中を自転車で走るのはやめてほしい。

<知らない、興味がない>

- ・元茨木川緑地はどこを指しているのか分からない。
- ・遠いため知りません。
- ・敷地が細長いので、「道路」と言う認識しか持っていませんでした。
- ・特別行きたいと思わない。興味がわかない。
- ・さくらまつり以外あまり利用しないのでわからない。

<その他>

- ・プレイパークにしたらい。
- ・安威川合流の歴史のPRがあまりない。
- ・池や川が危ない。落ちる子供もいる。
- ・カラスが多い。以前、威嚇された。
- ・雪まつり
- ・イベントは不用。
- ・子どもから大人まで、安心できるイメージがある事希望。

【年代別・地域別】

○年代別・地域別ともに、いずれの年代においても「さくらまつりを楽しむことができる」が最も多く、次いで「自然豊かである」や「四季折々の風景が楽しめる」が多くなっています。

		調査数	自然豊かである	四季折々の風景が楽しめる	鳥や昆虫などの生物を観察できる	静かで落ち着いた	施設が充実している	子どもが遊べる遊具が充実している	安心して利用できる	人々が集える場所がある	さくらまつりを楽しむことができる	樹木や草花がきちんと手入れされていない
調査数		1,166	400	419	80	265	14	14	159	64	620	78
		100.0%	34.3%	35.9%	6.9%	22.7%	1.2%	1.2%	13.6%	5.5%	53.2%	6.7%
年代別	10代	4	2	1	0	2	0	1	1	0	2	1
		100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%
	20代	67	16	17	0	12	0	1	2	5	26	5
		100.0%	23.9%	25.4%	0.0%	17.9%	0.0%	1.5%	3.0%	7.5%	38.8%	7.5%
	30代	158	44	43	5	26	2	1	8	5	72	4
		100.0%	27.8%	27.2%	3.2%	16.5%	1.3%	0.6%	5.1%	3.2%	45.6%	2.5%
	40代	179	66	60	8	42	1	1	22	8	90	11
地域別		100.0%	36.9%	33.5%	4.5%	23.5%	0.6%	0.6%	12.3%	4.5%	50.3%	6.1%
	50代	144	38	55	11	40	2	1	15	8	73	5
		100.0%	26.4%	38.2%	7.6%	27.8%	1.4%	0.7%	10.4%	5.6%	50.7%	3.5%
	60代	267	92	106	23	63	6	4	45	18	150	17
		100.0%	34.5%	39.7%	8.6%	23.6%	2.2%	1.5%	16.9%	6.7%	56.2%	6.4%
	70歳以上	330	136	132	31	75	2	4	64	18	199	33
		100.0%	41.2%	40.0%	9.4%	22.7%	0.6%	1.2%	19.4%	5.5%	60.3%	10.0%
年代別	山地部	12	4	3	1	1	0	1	0	1	8	0
		100.0%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	66.7%	0.0%
	丘陵部	129	44	38	6	23	1	2	14	8	58	7
		100.0%	34.1%	29.5%	4.7%	17.8%	0.8%	1.6%	10.9%	6.2%	45.0%	5.4%
	周辺部 1	225	79	70	8	54	5	0	25	15	106	13
地域別		100.0%	35.1%	31.1%	3.6%	24.0%	2.2%	0.0%	11.1%	6.7%	47.1%	5.8%
	中心部	500	182	192	45	125	3	5	73	19	281	26
		100.0%	36.4%	38.4%	9.0%	25.0%	0.6%	1.0%	14.6%	3.8%	56.2%	5.2%
	周辺部 2	233	75	96	17	46	4	3	37	17	133	28
		100.0%	32.2%	41.2%	7.3%	19.7%	1.7%	1.3%	15.9%	7.3%	57.1%	12.0%

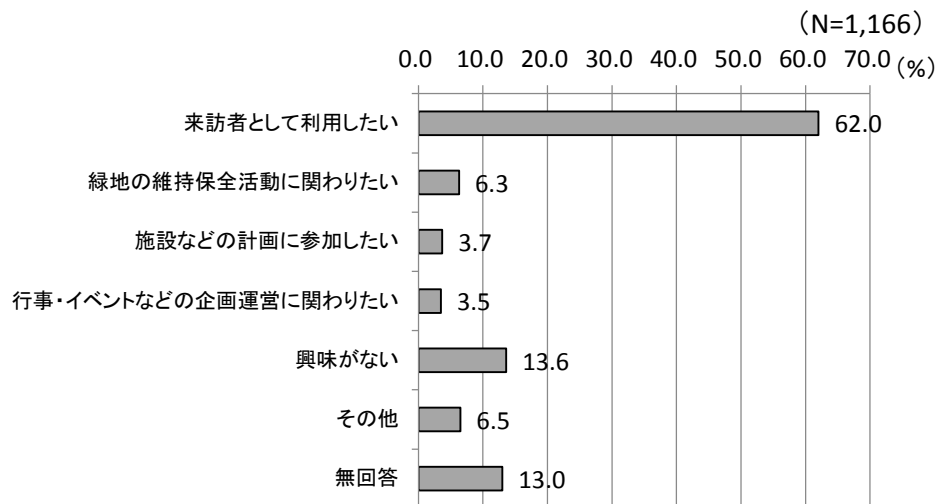
		調査数	鳥や昆虫などの生物がない	利用したいと思う施設や機能が乏しい	子どもが遊べる遊具が不足している	安全面で不安がある	人々が集える場所がない	利用者のルール・マナーが悪い	魅力的な行事・イベントがない	その他	無回答
調査数		1,166	53	150	110	145	86	117	109	190	91
		100.0%	4.5%	12.9%	9.4%	12.4%	7.4%	10.0%	9.3%	16.3%	7.8%
年代別	10代	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	3	7	7	5	2	6	9	16	8
		100.0%	4.5%	10.4%	10.4%	7.5%	3.0%	9.0%	13.4%	23.9%	11.9%
	30代	158	6	21	24	20	10	12	10	51	16
		100.0%	3.8%	13.3%	15.2%	12.7%	6.3%	7.6%	6.3%	32.3%	10.1%
	40代	179	8	26	15	26	10	23	18	28	9
地域別		100.0%	4.5%	14.5%	8.4%	14.5%	5.6%	12.8%	10.1%	15.6%	5.0%
	50代	144	4	11	13	22	10	12	11	24	12
		100.0%	2.8%	7.6%	9.0%	15.3%	6.9%	8.3%	7.6%	16.7%	8.3%
	60代	267	10	35	25	33	21	26	29	35	22
		100.0%	3.7%	13.1%	9.4%	12.4%	7.9%	9.7%	10.9%	13.1%	8.2%
	70歳以上	330	21	47	24	38	29	36	32	34	21
		100.0%	6.4%	14.2%	7.3%	11.5%	8.8%	10.9%	9.7%	10.3%	6.4%
年代別	山地部	12	1	2	0	1	0	0	1	3	2
		100.0%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%
	丘陵部	129	6	13	7	14	10	10	8	32	14
		100.0%	4.7%	10.1%	5.4%	10.9%	7.8%	7.8%	6.2%	24.8%	10.9%
	周辺部 1	225	11	36	21	32	18	16	21	38	21
地域別		100.0%	4.9%	16.0%	9.3%	14.2%	8.0%	7.1%	9.3%	16.9%	9.3%
	中心部	500	20	61	51	61	35	58	53	79	31
		100.0%	4.0%	12.2%	10.2%	12.2%	7.0%	11.6%	10.6%	15.8%	6.2%
	周辺部 2	233	10	32	26	27	18	29	22	31	13
		100.0%	4.3%	13.7%	11.2%	11.6%	7.7%	12.4%	9.4%	13.3%	5.6%

問 1 9

今後どのように元茨木川緑地に関わっていきたいと考えていますか？（複数回答可）

○今後の元茨木川緑地への関わり方について「来訪者として利用したい」が最も多く、62.0%が選択しており、活動や計画に関わりたいという回答は少数になっています。

【全体】



（その他）

<歩くのを楽しみたい>

- ・高齢者として今は歩行を楽しみたい。
- ・ウォーキングに行きたいと思います。
- ・散歩を通して、緑に癒される生活を続けたいです。

<イベントを参加者として楽しみたい>

- ・さくらまつりを静かに楽しむ。
- ・イベント、祭等があるなら参加（客として）したい。

<関わるできない、興味がない>

- ・年齢的体力的に無理
- ・なかなか時間が思う様にならないので参加出来ない！

<その他>

- ・プレイパークやパークレンジャーなど自然にかかわれる様にしたい。
- ・寺社施設を大切にしたい。
- ・積極的な参加は出来ませんが、桜等の古木は、保存するようにして頂きたい。
- ・行動を起こすとクレームが増える。
- ・市がすべきことなので。

【年代別・地域別】

○年代別・地域別ともに「来訪者として利用したい」の割合が最も多くなっています。

		調査数	来訪者として利用したい	緑地の維持 保全活動に 関わりたい	施設などの 計画に参加 したい	行事・イベ ントなどの 企画運営に 関わりたい	興味が無い	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	723 62.0%	74 6.3%	43 3.7%	41 3.5%	159 13.6%	76 6.5%	151 13.0%
年代別	10代	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	41 61.2%	3 4.5%	0 0.0%	2 3.0%	18 26.9%	4 6.0%	5 7.5%
	30代	158 100.0%	99 62.7%	7 4.4%	5 3.2%	6 3.8%	22 13.9%	9 5.7%	20 12.7%
	40代	179 100.0%	122 68.2%	11 6.1%	8 4.5%	13 7.3%	23 12.8%	9 5.0%	15 8.4%
	50代	144 100.0%	88 61.1%	12 8.3%	8 5.6%	6 4.2%	18 12.5%	6 4.2%	21 14.6%
	60代	267 100.0%	156 58.4%	20 7.5%	12 4.5%	8 3.0%	36 13.5%	18 6.7%	38 14.2%
	70歳以上	330 100.0%	205 62.1%	21 6.4%	9 2.7%	6 1.8%	37 11.2%	29 8.8%	49 14.8%
地域別	山地部	12 100.0%	7 58.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%
	丘陵部	129 100.0%	70 54.3%	4 3.1%	4 3.1%	4 3.1%	22 17.1%	10 7.8%	24 18.6%
	周辺部 1	225 100.0%	134 59.6%	11 4.9%	10 4.4%	11 4.9%	31 13.8%	16 7.1%	28 12.4%
	中心部	500 100.0%	326 65.2%	39 7.8%	15 3.0%	16 3.2%	66 13.2%	24 4.8%	59 11.8%
	周辺部 2	233 100.0%	155 66.5%	13 5.6%	11 4.7%	8 3.4%	28 12.0%	21 9.0%	22 9.4%

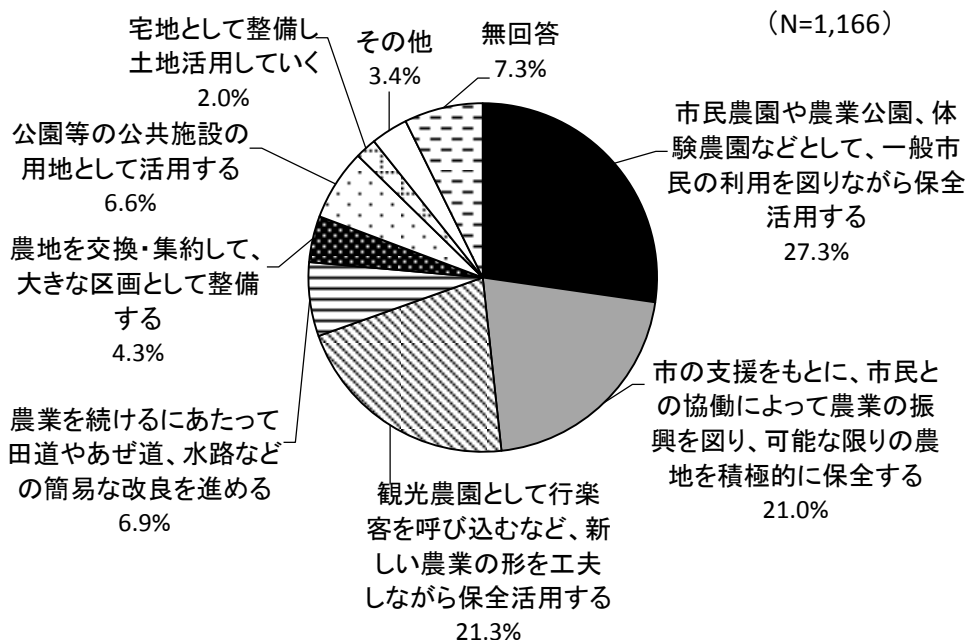
6. 農地について

問 2 0

茨木市北部にはまとまった規模の農地があります。この北部の農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

- 茨木市北部のまとまった規模の農地について、「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多く、27.3%となっています。
- 「観光農園として行楽客を呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全活用する」が21.3%、「市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する」が21.0%となっています。

【全体】



（その他）

<現状のままで保全する>

- ・特に改善せず自然のままの姿がよいと思います。
- ・現状でよい。
- ・農地をさわるべきではない。
- ・これ以上、人の手をくわえない。

<新たな産業を生み出す場として活用する>

- ・石油を生むバクテリアやバイオ燃料用の植物の栽培等にも使うべき。
- ・薬草、健康に役立つ果実・野菜樹木の育成、松茸等の人工栽培の研究開発
- ・農業をしたい若者に道を開く。農作物を海外へ売る等経済活動をする。市の経済活性化を図り、市の発展を促進する。
- ・山地酪農を取り入れる等斬新でビジネスとして収益を見込める展望を考えるべき。

<企業に貸し出し、農地として保全する>

- ・農地を法人に貸し出し、農地として活用してもらう。
- ・企業による農業を行う場所とする。

- ・ 地域の特徴を生かした農地として一般企業の導入を図り集客し事業性を確立する農地

<その他>

- ・ 百年の計になるが大きな森を育ててほしい。住宅ゾーンは増々みどりが減少する傾向ですから、外国の大都市（勿論東京にも）程の大きな森との共存は本当にうらやましい限りです。
- ・ 朝市などをして相互利益を図る。
- ・ 水源もきっちりと確保する必要有り。

【年代別・地域別】

- 年代別にみると、10代、20代では「市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する」が最も多く、30代以上では、「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多くなっています。40代以上では、「観光農園として行楽客を呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全する」がも多く選択されています。
- 地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多くなっています。

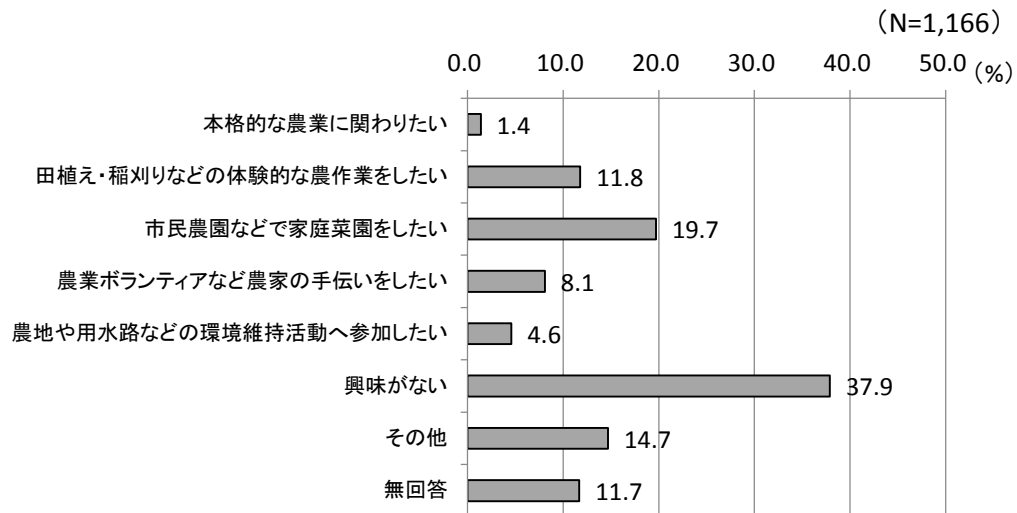
		調査数	市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する	市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する	観光農園として行楽客を呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全活用する	農業を続けるにあたって田道やあぜ道、水路などの簡易な改良を進める	農地を交換・集約して、大きな区画として整備する	公園等の公共施設の用地として活用する	宅地として整備し土地活用していく	その他	無回答
	調査数	1,166	318	245	248	80	50	77	23	40	85
		100.0%	27.3%	21.0%	21.3%	6.9%	4.3%	6.6%	2.0%	3.4%	7.3%
年代別	10代	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	15	26	7	12	0	4	3	0	0
		100.0%	22.4%	38.8%	10.4%	17.9%	0.0%	6.0%	4.5%	0.0%	0.0%
	30代	158	50	33	32	13	5	3	2	13	7
		100.0%	31.6%	20.9%	20.3%	8.2%	3.2%	1.9%	1.3%	8.2%	4.4%
	40代	179	59	35	42	16	3	10	4	7	3
		100.0%	33.0%	19.6%	23.5%	8.9%	1.7%	5.6%	2.2%	3.9%	1.7%
地域別	50代	144	39	31	38	11	7	7	3	4	4
		100.0%	27.1%	21.5%	26.4%	7.6%	4.9%	4.9%	2.1%	2.8%	2.8%
	60代	267	69	57	60	13	17	17	6	7	21
		100.0%	25.8%	21.3%	22.5%	4.9%	6.4%	6.4%	2.2%	2.6%	7.9%
	70歳以上	330	81	57	67	15	18	36	4	8	44
		100.0%	24.5%	17.3%	20.3%	4.5%	5.5%	10.9%	1.2%	2.4%	13.3%
	山地部	12	2	1	3	2	0	1	2	0	1
地域別		100.0%	16.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%
	丘陵部	129	34	24	19	19	2	14	2	3	12
		100.0%	26.4%	18.6%	14.7%	14.7%	1.6%	10.9%	1.6%	2.3%	9.3%
	周辺部1	225	79	50	39	15	10	10	3	5	14
		100.0%	35.1%	22.2%	17.3%	6.7%	4.4%	4.4%	1.3%	2.2%	6.2%
地域別	中心部	500	125	111	123	22	29	32	10	19	29
		100.0%	25.0%	22.2%	24.6%	4.4%	5.8%	6.4%	2.0%	3.8%	5.8%
地域別	周辺部2	233	62	49	52	16	6	17	4	7	20
		100.0%	26.6%	21.0%	22.3%	6.9%	2.6%	7.3%	1.7%	3.0%	8.6%

問 2 1

今後北部の農地に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

- 今後の北部の農地への関わり方について、「興味がない」が最も多く、37.9%となっています。
- 「市民農園などで家庭菜園をしたい」が 19.7%、「田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい」が 11.8%となっています。

【全体】



（その他）

<現在関わっている>

- ・現在畑を借りて、野菜作りをしている。
- ・すでに農地を借りて、野菜づくりをしている。
- ・親が農業をしているので手伝っています。

<企画・運営に関わりたい>

- ・地元食材の良さ、大切さをアピールしたい。
- ・振興の為の計画に参画出来ればしたい。
- ・企画、運営に携わってみたい。

<体験的な農業をしたい>

- ・時間があれば体験したい。
- ・観光農園があるなら利用したい。

<地域の食材を買いたい>

- ・市内で作るものを消費していく。
- ・地産地消活動を応援したい（購入活動）。
- ・現在、産直野菜を買っているので続けたい。
- ・安心な作物は購入したい。
- ・茨木産のものを購入したい。

<農業以外の利用をしたい>

- ・農地ではなく公共の施設として市民の憩いの場、観光の場として利用出来たら市の将来が楽しみです。
- ・公園ができれば利用したい。

<次世代に引継ぎたい>

- ・今、専業農家なので次世代に引継ぎたい。

- ・子、孫にさせたい。

<市・企業などが積極的に関わってほしい>

- ・地産地消の面では興味があるが企業が協力しなければ将来はないと思う。
- ・大学農学部や高校の園芸科などに貸し出してはどうか。
- ・緑の中で過ごしたり、農業を応援したり、いこいの場としたいが、自分が緑を育てることは苦手なので、農作業はしたいと思わない。農地の保全活用は積極的に市が行ってほしい。

<関わるできない、興味がない>

- ・体力が無いので関わっている人の様子など広報で知って楽しみたい。
- ・高齢なので肉体的な協力が出来ない（残念）。
- ・自宅から遠距離過ぎる事と、自宅の庭の管理が忙しく参加できない。
- ・他の活動をしている為参加しにくい。
- ・興味がない訳ではないが子育て中なので関わりをもてない。

<その他>

- ・小規模事業性の少ない農地は永続性に欠ける、大胆な発想を望む。
- ・市民税を納め、その行き先として農業振興、農地保全を間接的に支援したい。
- ・農家に任せるべきである。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、どの年代においても「興味がない」が最も多くなっており、若い年代ほどその割合は高くなっています。次いで、30代、40代では「田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい」、20代、50代、60代以上では「市民農園などで家庭菜園をしたい」が多く選択されています。

○地域別にみると、どの地域においても「興味がない」が最も多くなっています。次いで、周辺部1、中心部、周辺部2では「市民農園などで家庭菜園をしたい」が多く、丘陵部では「その他」が多くなっています。

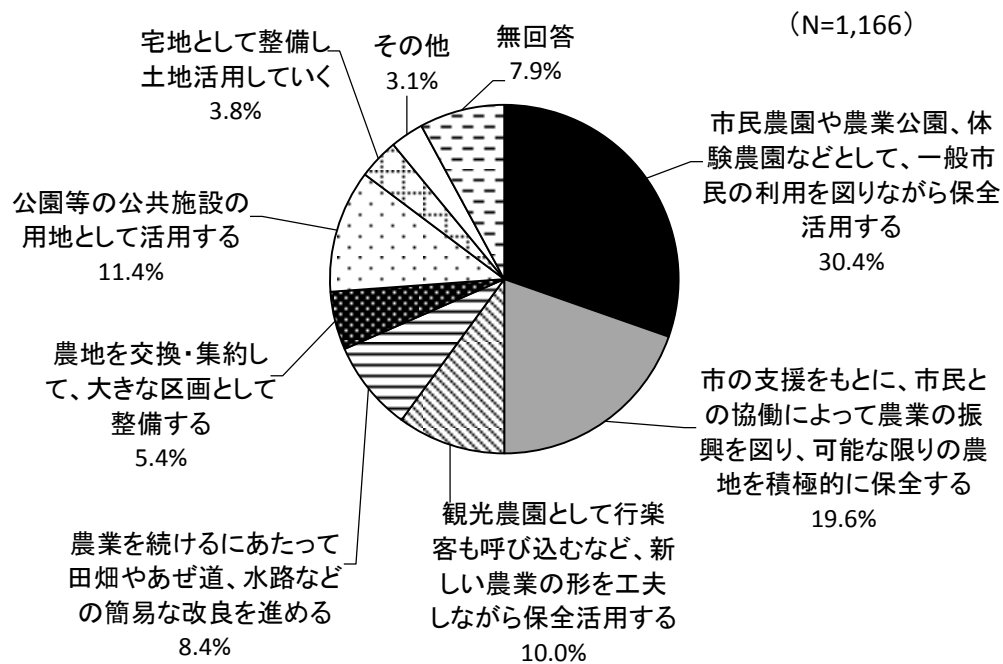
		調査数	本格的な農業に関わりたい	田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい	市民農園などで家庭菜園をしたい	農業ボランティアなど農家の手伝いをしたい	農地や水路などの環境維持活動へ参加したい	興味がない	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	16 1.4%	138 11.8%	230 19.7%	95 8.1%	54 4.6%	442 37.9%	171 14.7%	137 11.7%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	1 1.5%	9 13.4%	10 14.9%	9 13.4%	5 7.5%	34 50.7%	3 4.5%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	4 2.5%	49 31.0%	28 17.7%	14 8.9%	7 4.4%	68 43.0%	8 5.1%	8 5.1%
	40代	179 100.0%	5 2.8%	43 24.0%	34 19.0%	17 9.5%	12 6.7%	67 37.4%	24 13.4%	3 1.7%
	50代	144 100.0%	4 2.8%	20 13.9%	35 24.3%	20 13.9%	9 6.3%	53 36.8%	20 13.9%	10 6.9%
	60代	267 100.0%	1 0.4%	13 4.9%	64 24.0%	25 9.4%	11 4.1%	103 38.6%	37 13.9%	33 12.4%
	70歳以上	330 100.0%	1 0.3%	4 1.2%	55 16.7%	9 2.7%	9 2.7%	107 32.4%	76 23.0%	78 23.6%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%
	丘陵部	129 100.0%	2 1.6%	13 10.1%	23 17.8%	7 5.4%	7 5.4%	38 29.5%	30 23.3%	17 13.2%
	周辺部1	225 100.0%	2 0.9%	29 12.9%	46 20.4%	24 10.7%	15 6.7%	62 27.6%	37 16.4%	33 14.7%
	中心部	500 100.0%	5 1.0%	59 11.8%	100 20.0%	39 7.8%	19 3.8%	221 44.2%	58 11.6%	48 9.6%
	周辺部2	233 100.0%	7 3.0%	30 12.9%	47 20.2%	18 7.7%	11 4.7%	95 40.8%	34 14.6%	20 8.6%

問 2 2

茨木市には市街地にも小規模な農地が点在しています。この市街地の農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

- 市街地の小規模な農地について、「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多く、30.4%となっています
- 「市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する」が 19.6%、「公園等の公共施設の用地として活用する」が 11.4%となっています。

【全体】



（その他）

<現状のままでよい>

- ・現状のまま。
- ・特になにもしなくていいと思う。

<新たな産業を生み出す場として活用する>

- ・石油を生むバクテリアやバイオ燃料用の植物の栽培等にも使うべき。

<農地として保全活用する>

- ・保全もしくは移設。
- ・海外へ農作物を売る等保全より、前向きな活動を希望する。
- ・家庭菜園として貸し出す。
- ・教育現場で活用できる様にする。

<農地以外の場所として活用する>

- ・森作り
- ・使用していないのであれば集約して大きな公園を作ってほしい。
- ・高齢者用の住宅にする。

<地権者の考え次第である>

- ・地主の考え方次第でよい。
- ・地権者との話し合い次第だと思います。
- ・今のままで所有者に任せる。

<その他>

- ・減りつつあるのはわかるので業者向けに活用する。
- ・代替地の公園のあり方を考えてほしい。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、20代は「市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する」が最も多く、30代以上は、「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多くなっています。

○地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する」が最も多くなっています。山地部は「農業を続けるにあたって田畑やあぜ道、水路などの簡易な改良を進める」が多くなっています。

		調査数	市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する	市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限りの農地を積極的に保全する	観光農園として行楽客も呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全活用する	農業を続けるにあたって田畑やあぜ道、水路などの簡易な改良を進める	農地を交換・集約して、大きな区画として整備する	公園等の公共施設の用地として活用する	宅地として整備し土地活用していく	その他	無回答
調査数		1,166	354	229	117	98	63	133	44	36	92
		100.0%	30.4%	19.6%	10.0%	8.4%	5.4%	11.4%	3.8%	3.1%	7.9%
年代別	10代	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	67	13	22	6	13	3	4	5	1	0
		100.0%	19.4%	32.8%	9.0%	19.4%	4.5%	6.0%	7.5%	1.5%	0.0%
	30代	158	55	34	12	17	6	9	8	10	7
		100.0%	34.8%	21.5%	7.6%	10.8%	3.8%	5.7%	5.1%	6.3%	4.4%
	40代	179	54	45	17	20	9	20	4	8	2
		100.0%	30.2%	25.1%	9.5%	11.2%	5.0%	11.2%	2.2%	4.5%	1.1%
地域別	50代	144	52	26	12	16	8	16	2	3	9
		100.0%	36.1%	18.1%	8.3%	11.1%	5.6%	11.1%	1.4%	2.1%	6.3%
	60代	267	94	34	29	14	14	36	13	9	24
		100.0%	35.2%	12.7%	10.9%	5.2%	5.2%	13.5%	4.9%	3.4%	9.0%
	70歳以上	330	80	62	39	18	23	46	12	5	45
		100.0%	24.2%	18.8%	11.8%	5.5%	7.0%	13.9%	3.6%	1.5%	13.6%
	山地部	12	1	1	2	3	1	1	1	0	2
		100.0%	8.3%	8.3%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%
地域別	丘陵部	129	29	26	12	15	10	14	5	5	13
		100.0%	22.5%	20.2%	9.3%	11.6%	7.8%	10.9%	3.9%	3.9%	10.1%
	周辺部1	225	85	41	22	16	13	26	5	5	12
		100.0%	37.8%	18.2%	9.8%	7.1%	5.8%	11.6%	2.2%	2.2%	5.3%
	中心部	500	146	105	50	40	31	61	23	13	31
地域別		100.0%	29.2%	21.0%	10.0%	8.0%	6.2%	12.2%	4.6%	2.6%	6.2%
	周辺部2	233	77	44	25	20	5	24	9	8	21
		100.0%	33.0%	18.9%	10.7%	8.6%	2.1%	10.3%	3.9%	3.4%	9.0%

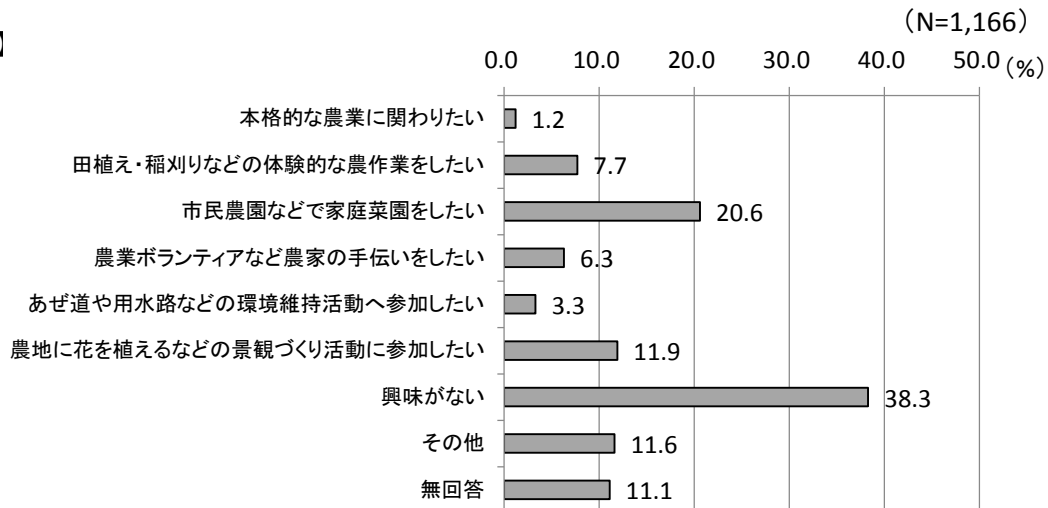
問 2 3

今後市街地の農地に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

○今後の市街地の農地への関わり方について、「興味がない」が最も多く 38.3% となっています。

○「市民農園などで家庭菜園をしたい」が 20.6%、「農地に花を植えるなどの景観づくり活動に参加したい」が 11.9%となっています。

【全体】



（その他）

<現在関わっている>

- ・自分の農地で野菜作りしている。
- ・保有地で家庭菜園をしている。
- ・荒地（地主含む）を5名程で20年前より家庭菜園を楽しんでいます。

<教育に活用したい>

- ・学校等教育機関が課外活動の一環として使用（作業手伝い）
- ・教育現場で活用できる様に関わっていきたい。ビオトープ、農業体験。
- ・子供が体験できる場所とかあればいい。
- ・学生が、参加出来る環境（機会）をつくって下さい。

<イベント等に参加したい>

- ・イベント等あれば参加したい。
- ・公園になってイベント等があるなら参加したい。

<関わるできない、興味がない>

- ・高齢なので肉体的な協力が出来ない（残念）。
- ・介護と自宅の緑化で手一杯。
- ・遠いので、彩都近郊で関わりたい。
- ・興味がない訳ではないが子育て中なので関わりをもてない。

<その他>

- ・収益の上がる土地に変えたい。
- ・市民税を納め、その行き先として農業振興、農地保全を間接的に支援したい。
- ・保全活用されることを応援します。
- ・地権者による。
- ・企画、運営に携わってみたい。
- ・貸し農園をしていたが水汲みが不便で止めた。
- ・子、孫にさせたい。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、どの年代においても「興味がない」が最も多くなっており、若い年代ほどその割合は高くなっています。30代から60代では、20%以上が「市民農園などで家庭菜園をしたい」を選択しています。

○地域別にみても、どの地域においても「興味がない」が最も多くなっています。周辺部1、中心部、周辺部2では、20%前後が「市民農園などで家庭菜園をしたい」を選択しています。

		調査数	本格的な農業に関わりたい	田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい	市民農園などで家庭菜園をしたい	農業ボランティアなど農家の手伝いをしたい	あぜ道や用水路などの環境維持活動へ参加したい	農地に花を植えるなどの景観づくり活動に参加したい	興味がない	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	14 1.2%	90 7.7%	240 20.6%	74 6.3%	39 3.3%	139 11.9%	446 38.3%	135 11.6%	129 11.1%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	1 1.5%	5 7.5%	9 13.4%	8 11.9%	1 1.5%	10 14.9%	38 56.7%	2 3.0%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	4 2.5%	31 19.6%	32 20.3%	10 6.3%	7 4.4%	16 10.1%	67 42.4%	12 7.6%	7 4.4%
	40代	179 100.0%	2 1.1%	28 15.6%	36 20.1%	17 9.5%	7 3.9%	27 15.1%	70 39.1%	14 7.8%	3 1.7%
	50代	144 100.0%	3 2.1%	16 11.1%	43 29.9%	10 6.9%	4 2.8%	17 11.8%	54 37.5%	15 10.4%	10 6.9%
	60代	267 100.0%	2 0.7%	6 2.2%	63 23.6%	18 6.7%	7 2.6%	37 13.9%	96 36.0%	27 10.1%	37 13.9%
	70歳以上	330 100.0%	2 0.6%	3 0.9%	54 16.4%	11 3.3%	12 3.6%	30 9.1%	110 33.3%	65 19.7%	67 20.3%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%
	丘陵部	129 100.0%	2 1.6%	4 3.1%	18 14.0%	4 3.1%	7 5.4%	14 10.9%	47 36.4%	19 14.7%	21 16.3%
	周辺部1	225 100.0%	4 1.8%	23 10.2%	42 18.7%	16 7.1%	9 4.0%	28 12.4%	69 30.7%	32 14.2%	27 12.0%
	中心部	500 100.0%	4 0.8%	37 7.4%	113 22.6%	31 6.2%	13 2.6%	59 11.8%	212 42.4%	44 8.8%	49 9.8%
	周辺部2	233 100.0%	4 1.7%	22 9.4%	53 22.7%	18 7.7%	8 3.4%	28 12.0%	93 39.9%	28 12.0%	16 6.9%

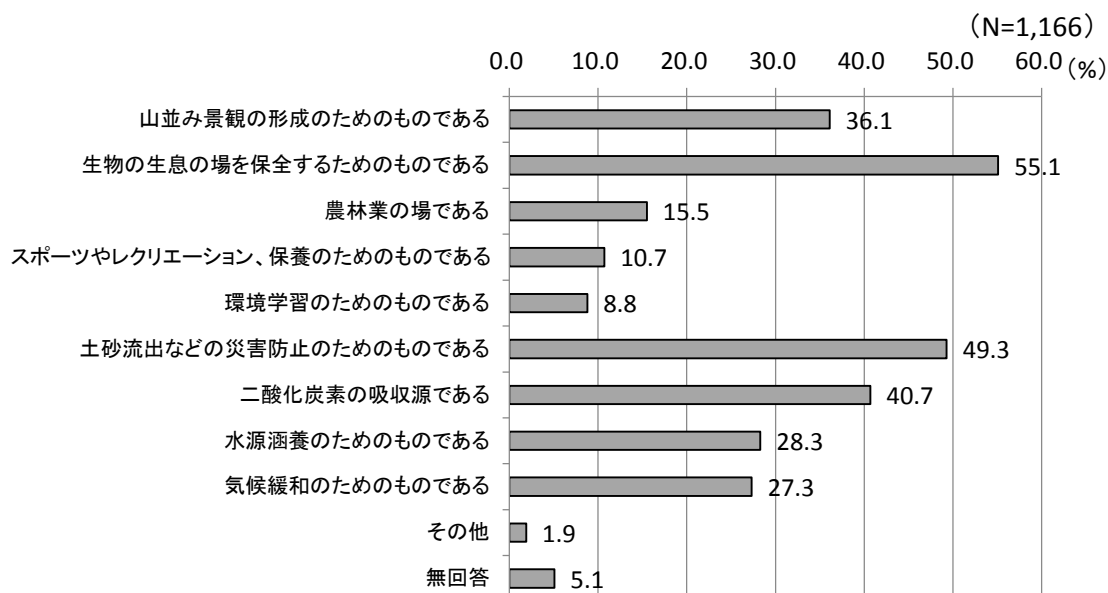
7. 山林について

問 2 4

市の北部には、山林が広がっていますが、この山林の望ましいあり方として、あなたの考えにあてはまるものは何ですか？（複数回答可）

- 北部の山林について、「生物の生息の場を保全するためのものである」が 55.1%、「土砂流出などの災害防止のためのものである」が 49.3%であり、回答者のうちの約半数が選択しています。
- 「二酸化炭素の吸収源である」が 40.7%、「山並み景観の形成のためのものである」が 36.1%となっています。
- 農林業などの生業の場や、スポーツや学習のための市民が利用する場であるという考えは少数であることがわかります。

【全体】



（その他）

- ・先祖が守ってくれた宝であり子孫に受け継いでいくもの。
- ・自然を守る事によって、他の災害、山林より下の方の土地も守る事が出来る。
- ・かなりの部分が開発されトラック等の往来も多く親しみ易いとは言えない。
- ・環境のため。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、10代から50代は「生物の生息の場を保全するためのものである」が最も多く、60代以上では「土砂流出などの災害防止のためのものである」が最も多くなっています。

○地域別にみると、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「生物の生息の場を保全するためのものである」が最も多く、山地部では「二酸化炭素の吸収源である」が最も多くなっています。

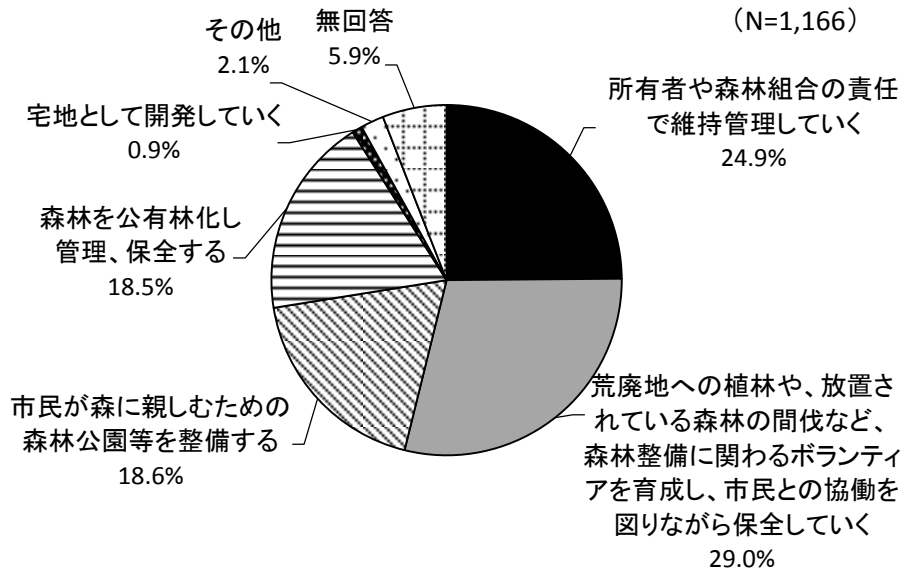
		調査数	山並み景観 の形成のた めのもの である	生物の生息 の場を保全 するための ものである	農林業の場 である	スポーツや レクリエー ション、保 養のための ものである	環境学習の ためのもの である	土砂流出な どの災害防 止のための ものである	二酸化炭素 の吸収源で ある	水源涵養の ためのもの である	気候緩和の ためのもの である	その他	無回答
	調査数	1,166 100.0%	421 36.1%	642 55.1%	181 15.5%	125 10.7%	103 8.8%	575 49.3%	475 40.7%	330 28.3%	318 27.3%	22 1.9%	60 5.1%
年代別	10代	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	26 38.8%	40 59.7%	14 20.9%	11 16.4%	5 7.5%	22 32.8%	22 32.8%	13 19.4%	15 22.4%	3 4.5%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	49 31.0%	97 61.4%	22 13.9%	20 12.7%	22 13.9%	79 50.0%	69 43.7%	42 26.6%	36 22.8%	2 1.3%	4 2.5%
	40代	179 100.0%	66 36.9%	114 63.7%	27 15.1%	24 13.4%	26 14.5%	82 45.8%	81 45.3%	51 28.5%	64 35.8%	4 2.2%	3 1.7%
	50代	144 100.0%	60 41.7%	100 69.4%	34 23.6%	12 8.3%	13 9.0%	72 50.0%	65 45.1%	38 26.4%	47 32.6%	0 0.0%	6 4.2%
	60代	267 100.0%	93 34.8%	136 50.9%	40 15.0%	23 8.6%	19 7.1%	147 55.1%	101 37.8%	90 33.7%	76 28.5%	7 2.6%	9 3.4%
	70歳以上	330 100.0%	119 36.1%	146 44.2%	43 13.0%	32 9.7%	17 5.2%	161 48.8%	129 39.1%	93 28.2%	77 23.3%	6 1.8%	34 10.3%
地域別	山地部	12 100.0%	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%
	丘陵部	129 100.0%	55 42.6%	68 52.7%	19 14.7%	16 12.4%	9 7.0%	64 49.6%	53 41.1%	37 28.7%	42 32.6%	2 1.6%	10 7.8%
	周辺部1	225 100.0%	90 40.0%	126 56.0%	40 17.8%	17 7.6%	13 5.8%	118 52.4%	94 41.8%	67 29.8%	74 32.9%	7 3.1%	9 4.0%
	中心部	500 100.0%	165 33.0%	276 55.2%	75 15.0%	51 10.2%	57 11.4%	246 49.2%	210 42.0%	155 31.0%	134 26.8%	6 1.2%	18 3.6%
	周辺部2	233 100.0%	85 36.5%	145 62.2%	33 14.2%	32 13.7%	20 8.6%	109 46.8%	86 36.9%	55 23.6%	50 21.5%	6 2.6%	12 5.2%

問 2 5

北部の山林の多くは個人が土地を所有しています。この山林の維持保全・整備のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

- 北部の山林の維持保全・整備のあり方について、「荒廃地への植林や、放置されている森林の間伐など、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していく」が最も多く、29.0%となっています。
- 次いで「所有者や森林組合の責任で維持管理していく」が多く、24.9%となっています。

【全体】



（その他）

<新たな産業を生み出す場として活用する>

- ・林業や山での生産物を産業として成り立つものを商品として売出し、その費用で維持管理する。一般の人々が、買い求めたいと思うものをリサーチも必要と思う。アイデア商品など。
- ・森林を借り上げるなどしてビジネスにできれば全国の模範となりそう。

<広葉樹に植え替えていく>

- ・戦後に植えた杉などを減らし本来の日本山林にあった樹木に戻しその後は自然に任せる。完全な自然森林にする。
- ・杉・ひのきを広葉樹に植え替えるべき。
- ・花粉症だから、杉・桧を花粉が少ない樹種にしてほしい。

<公有林化し管理、保全する>

- ・まず個人で持つものではない。
- ・山林の保持、育成は肝要な課題。所有者等の保存には限界にあり、公有化も一つの案であり資金を出して保全すべきである。
- ・個人（所有者）で維持管理出来なければ、市に寄付ぐらいの心持ちで。市は公有化資金があるのか？

<市が支援しながら保全していく>

- ・水源等を外国資本に買収されないよう所有者に何らかの助成があった方がいい。
- ・継続し難しい場合には市が援助する。
- ・維持・保全の為に所有者や森林組合に対して、市にも支援をお願い出来れば。

<その他>

- ・バイパスが出来てみないとよくわからない。
- ・自然の保護のため、地権者を説得すべき。
- ・2が職業として成り立てばいいのに…と考えます。
- ・所有者も高齢化を迎え、本人の承諾の上で市民が積極的に維持管理できるようにすべき。
- ・2と3共に体験型の例えば観察会や木のおもちゃ作りやテントの貼り方を教えるイベント等参加しやすいものから、交通利便性も考慮。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、40代は「所有者や森林組合の責任で維持管理していく」が最も多く、それ以外の年代では「荒廃地への植林や、放置されている森林の間伐など、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していく」が最も多くなっています。

○地域別にみると、どの地域においても「荒廃地への植林や、放置されている森林の間伐など、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していく」が多くなっています。

		調査数	所有者や森林組合の責任で維持管理していく	荒廃地への植林や、放置されている森林の間伐など、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していく	市民が森に親しむための森林公園等を整備する	森林を公有林化し管理、保全する	宅地として開発していく	その他	無回答
	調査数	1,166 100.0%	290 24.9%	338 29.0%	217 18.6%	216 18.5%	11 0.9%	25 2.1%	69 5.9%
年代別	10代	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	19 28.4%	20 29.9%	8 11.9%	15 22.4%	1 1.5%	3 4.5%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	48 30.4%	50 31.6%	20 12.7%	27 17.1%	3 1.9%	4 2.5%	6 3.8%
	40代	179 100.0%	50 27.9%	45 25.1%	37 20.7%	38 21.2%	1 0.6%	5 2.8%	3 1.7%
	50代	144 100.0%	36 25.0%	49 34.0%	20 13.9%	27 18.8%	1 0.7%	6 4.2%	5 3.5%
	60代	267 100.0%	55 20.6%	80 30.0%	65 24.3%	45 16.9%	2 0.7%	6 2.2%	14 5.2%
	70歳以上	330 100.0%	77 23.3%	87 26.4%	65 19.7%	61 18.5%	2 0.6%	1 0.3%	37 11.2%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	6 50.0%	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	1 8.3%
	丘陵部	129 100.0%	27 20.9%	42 32.6%	28 21.7%	17 13.2%	1 0.8%	6 4.7%	8 6.2%
	周辺部 1	225 100.0%	40 17.8%	73 32.4%	46 20.4%	46 20.4%	1 0.4%	8 3.6%	11 4.9%
	中心部	500 100.0%	142 28.4%	128 25.6%	89 17.8%	105 21.0%	3 0.6%	5 1.0%	28 5.6%
	周辺部 2	233 100.0%	59 25.3%	69 29.6%	48 20.6%	37 15.9%	3 1.3%	4 1.7%	13 5.6%

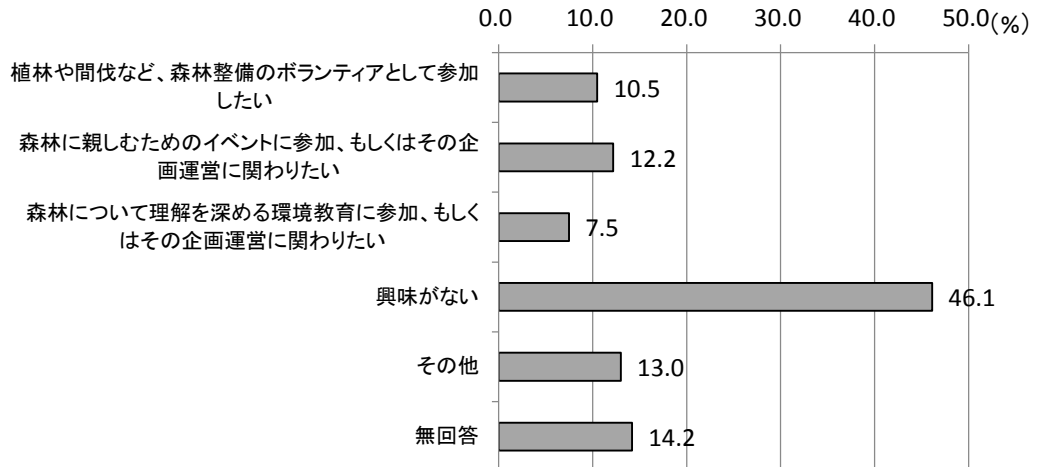
問 2 6

今後、北部にある山林に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

○今後の北部の山林への関わり方について、「興味がない」が最も多く、46.1%であり、ボランティアやイベントへの参加や企画運営に関わりたいという回答は少数となっています。

【全体】

(N=1,166)



(その他)

<現在関わっている>

- ・自宅が山なので自然と関わっている。
- ・里山クラブ、茨木ふるさとの森林づくり隊に参加しています。

<教育に活用したい>

- ・小、中学生に下草刈りを体験させてみては。
- ・青少年のためにグラウンドや野球場を作してほしい。

<イベント等に参加したい>

- ・子供も楽しめるイベント等があれば参加したい。
- ・イベント等があれば参加したい。

<自然を楽しみたい>

- ・北部の山林を散策したい。
- ・オートキャンプ場等、自然を守りながら安全に簡単に自然を楽しめる環境整備も必要かと思う。例えば能勢のような。

<森林整備の手伝いをしたい>

- ・今すぐには無理だが将来できれば森林整備のお手伝いをしたい。
- ・森林組合できちんとされている。時間があれば活動に参加します。

<関わるできない、興味がない>

- ・余裕が無い。
- ・高齢なので肉体的な協力が出来ない（残念）。
- ・身体的に無理。
- ・遠方のため行けない。
- ・興味がない訳ではないが子育て中なので関わりをもてない。

<その他>

- ・農地だと農業体験やボランティアなどで関わる事が想像できるが、山林はどう関わって良いのか悩む。
- ・関わりたいというほど積極的な気持ちは無いが、例えば森のカフェみたいなのがあれば行ってみたいと思う。
- ・現状や今後の問題点等の情報が知りたい。

【年代別・地域別】

○年代別・年代別においても、全てにおいて「興味がない」が最も多くなっています。20代から40代では、20%前後が「森林に楽しむためのイベントに参加、もしくはその企画運営に関わりたい」を選択しています。

		調査数	植林や間伐 など、森林 整備のボラ ンティアと して参加し たい	森林に親し むためのイ ベントに参 加、もしく はその企画 運営に関わ りたい	森林につい て理解を深 める環境教 育に参加、 もしくはそ の企画運営 に関わりた い	興味がない	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	122 10.5%	142 12.2%	87 7.5%	538 46.1%	152 13.0%	166 14.2%
年代別	10代	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	9 13.4%	11 16.4%	3 4.5%	39 58.2%	4 6.0%	1 1.5%
	30代	158 100.0%	19 12.0%	29 18.4%	11 7.0%	87 55.1%	15 9.5%	7 4.4%
	40代	179 100.0%	20 11.2%	36 20.1%	22 12.3%	91 50.8%	13 7.3%	6 3.4%
	50代	144 100.0%	18 12.5%	12 8.3%	14 9.7%	74 51.4%	22 15.3%	12 8.3%
	60代	267 100.0%	32 12.0%	34 12.7%	20 7.5%	116 43.4%	29 10.9%	44 16.5%
	70歳以上	330 100.0%	20 6.1%	20 6.1%	16 4.8%	124 37.6%	67 20.3%	89 27.0%
地域別	山地部	12 100.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	4 33.3%	4 33.3%	2 16.7%
	丘陵部	129 100.0%	19 14.7%	20 15.5%	13 10.1%	47 36.4%	16 12.4%	21 16.3%
	周辺部1	225 100.0%	28 12.4%	37 16.4%	14 6.2%	83 36.9%	34 15.1%	35 15.6%
	中心部	500 100.0%	41 8.2%	58 11.6%	38 7.6%	250 50.0%	61 12.2%	67 13.4%
	周辺部2	233 100.0%	25 10.7%	21 9.0%	16 6.9%	126 54.1%	27 11.6%	24 10.3%

8. 生物多様性、自然との共生について

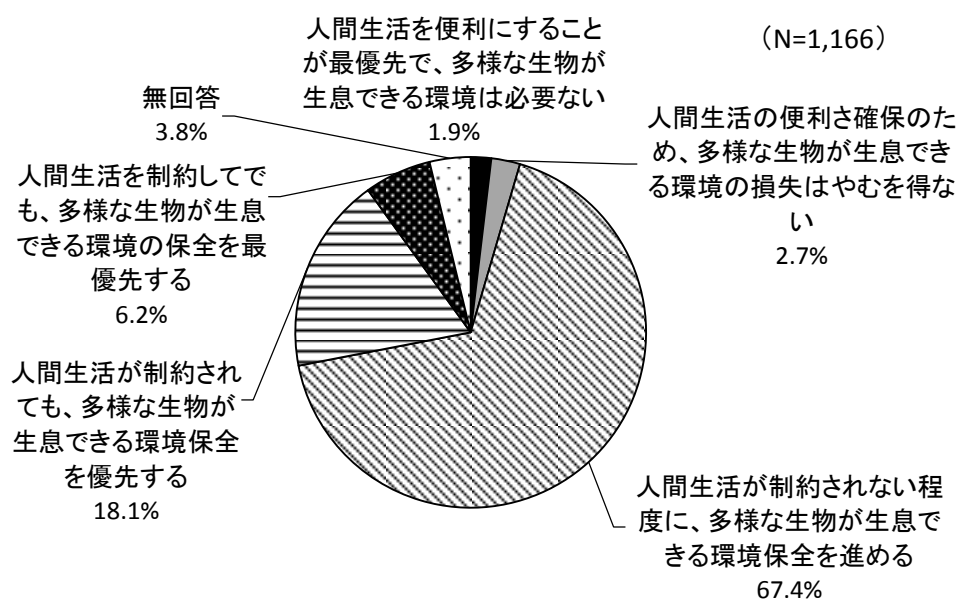
問 2 7

わたしたちの生活と自然との共生のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

○わたしたちの生活と自然との共生のあり方として、「人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進める」が最も多く、67.4%となっています。

○次いで「人間生活が制約されても、多様な生物が生息できる環境保全を優先する」が多く、18.1%となっています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、20 代以上では「人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進める」が最も多くなっています。次いで、「人間生活が制約されても多様な生物が生息できる環境保全を優先」するが多くなっています。

○地域別にみると、全ての地域で「人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進める」が最も多くなっています。次いで、丘陵部、周辺部 1、中心部、周辺部 2 では「人間生活が制約されても、多様な生物が生息できる環境保全を優先する」が多く、山地部では「人間生活の便利さ確保のため、多様な生物が生息できる環境の損失はやむを得ない」が多くなっています。

		調査数	人間生活を便利にすることが最優先で、多様な生物が生息できる環境は必要ない	人間生活の便利さ確保のため、多様な生物が生息できる環境の損失はやむを得ない	人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進める	人間生活が制約されても、多様な生物が生息できる環境保全を優先する	人間生活を制約してでも、多様な生物が生息できる環境の保全を最優先する	無回答
	調査数	1,166	22	31	786	211	72	44
		100.0%	1.9%	2.7%	67.4%	18.1%	6.2%	3.8%
年代別	10代	4	0	0	1	1	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	20代	67	0	1	52	9	5	0
		100.0%	0.0%	1.5%	77.6%	13.4%	7.5%	0.0%
	30代	158	2	9	94	39	11	3
		100.0%	1.3%	5.7%	59.5%	24.7%	7.0%	1.9%
	40代	179	1	3	115	46	12	2
		100.0%	0.6%	1.7%	64.2%	25.7%	6.7%	1.1%
地域別	50代	144	3	3	96	30	8	4
		100.0%	2.1%	2.1%	66.7%	20.8%	5.6%	2.8%
	60代	267	6	6	186	39	20	10
		100.0%	2.2%	2.2%	69.7%	14.6%	7.5%	3.7%
	70歳以上	330	9	8	231	47	13	22
		100.0%	2.7%	2.4%	70.0%	14.2%	3.9%	6.7%
	山地部	12	1	2	8	0	0	1
		100.0%	8.3%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	8.3%
地域別	丘陵部	129	1	3	82	25	12	6
		100.0%	0.8%	2.3%	63.6%	19.4%	9.3%	4.7%
	周辺部 1	225	4	6	158	46	5	6
		100.0%	1.8%	2.7%	70.2%	20.4%	2.2%	2.7%
	中心部	500	8	11	346	86	32	17
		100.0%	1.6%	2.2%	69.2%	17.2%	6.4%	3.4%
	周辺部 2	233	2	7	151	46	21	6
		100.0%	0.9%	3.0%	64.8%	19.7%	9.0%	2.6%

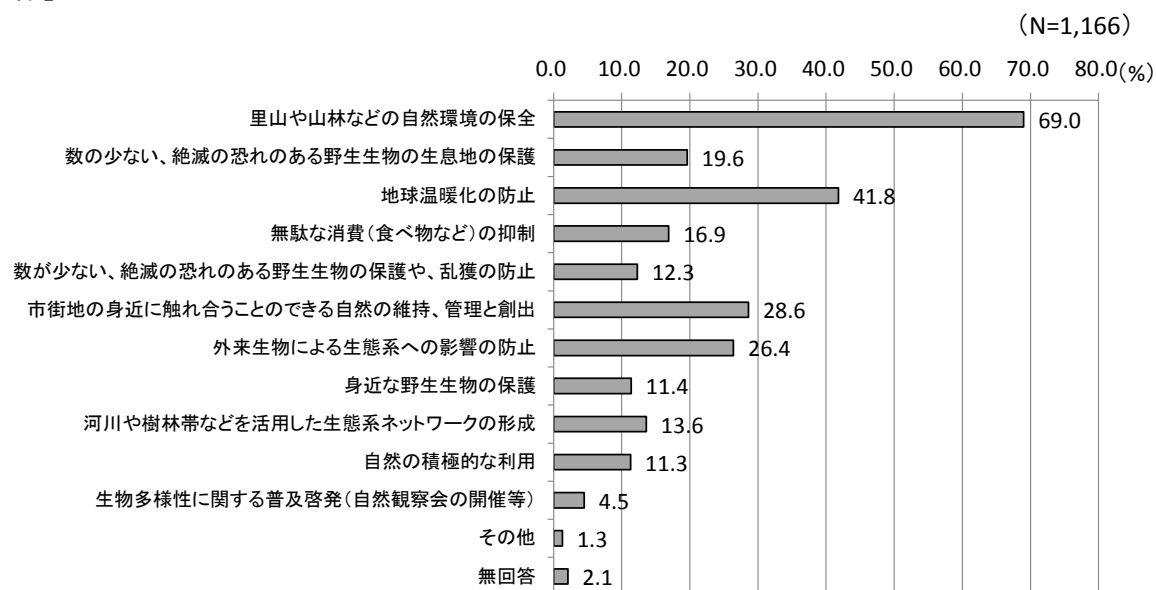
問 2 8

自然と共生していくためには、どのようなことが特に重要だと考えますか。(3つまで選択可)

○自然と共生していくために重要なこととして、「里山や山林などの自然環境の保全」が最も多く、69.0%が選択しています。

○次いで「地球温暖化の防止」が多く、41.8%となっています。

【全体】



(その他)

<自然との共生に関する意識啓発や教育活動>

- ・自然がどのように人々の助けになっているかを子供達に教えていく教育。
- ・自然と共生していくことへの教育みたいなもの。大人も子どもも。
- ・人は人のみでは生きることにはできない。教育や啓発活動が必要。
- ・生態系や生物多様性について、子供時代から身近にある自然を通して、学習できる環境づくりが重要だと考える。身近な自然から学んだことを、さらに広げて地球温暖化など、グローバルな自然保護的視点をもつことができることが理想。
- ・人間が自然への理解を持つこと。
- ・茨木市の自然について学ぶ。
- ・環境問題の知識を深める場をつくる。
- ・モラル向上

<その他>

- ・都市部と里山は人工的な自然の循環を、北部の山には古来の日本の自然を回復する。
- ・鹿による食害を防ぐ事。
- ・まずは市民の雇用、生活の安定がゆたかな自然を考えることになると思います。
- ・杉等の森をなくしブナや実の多くなる木を植樹する。

【年代別・地域別】

○年代別にみると、全ての年代において「里山や山林などの自然環境の保全」が最も多く、次いで「地球温暖化の防止」が多くなっています。

○地域別にみると、全ての地域において「里山や山林などの自然環境の保全」が最も多くなっています。次いで、丘陵部、周辺部1、中心部、周辺部2では「地球温暖化の防止」が多く、山地部では「外来生物による生態系への影響の防止」が多くなっています。

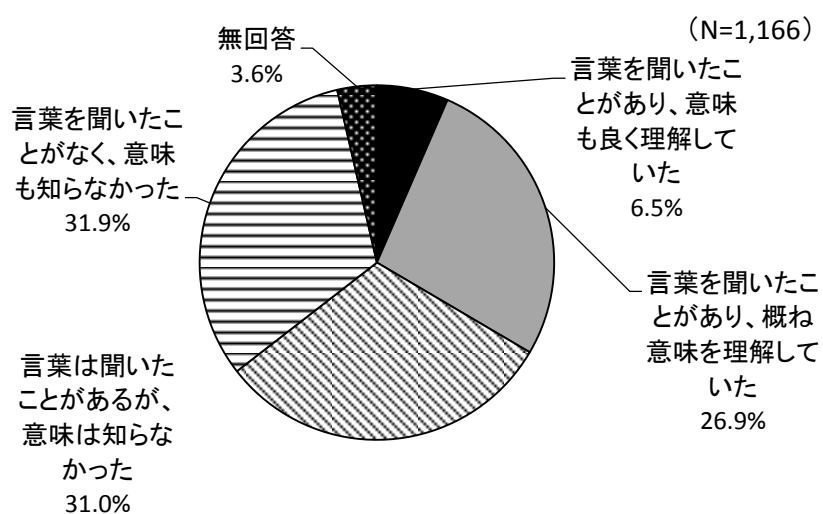
		調査数	里山や山林などの自然環境の保全	数の少ない、絶滅の恐れのある野生生物の生息地の保護	地球温暖化の防止	無駄な消費（食べ物など）の抑制	数が少ない、絶滅の恐れのある野生生物の保護や、乱獲の防止	市街地の身近に触れ合うことのできる自然の維持、管理と創出	外来生物による生態系への影響の防止	身近な野生生物の保護	河川や樹林帯などを活用した生態系ネットワークの形成	自然の積極的な利用	生物多様性に関する普及啓発（自然観察会の開催等）	その他	無回答
調査数		1,166 100.0%	804 69.0%	228 19.6%	487 41.8%	197 16.9%	144 12.3%	334 28.6%	308 26.4%	133 11.4%	159 13.6%	132 11.3%	53 4.5%	15 1.3%	25 2.1%
年代別	10代	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	41 61.2%	19 28.4%	28 41.8%	16 23.9%	12 17.9%	18 26.9%	17 25.4%	4 6.0%	5 7.5%	7 10.4%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	104 65.8%	31 19.6%	50 31.6%	43 27.2%	19 12.0%	38 24.1%	44 27.8%	21 13.3%	33 20.9%	22 13.9%	5 3.2%	5 3.2%	1 0.6%
	40代	179 100.0%	118 65.9%	42 23.5%	78 43.6%	28 15.6%	25 14.0%	50 27.9%	45 25.1%	18 10.1%	25 14.0%	25 14.0%	10 5.6%	6 3.4%	2 1.1%
	50代	144 100.0%	108 73.6%	29 20.1%	53 36.8%	19 13.2%	20 13.9%	38 26.4%	43 29.9%	25 17.4%	22 15.3%	13 9.0%	4 2.8%	1 0.7%	2 1.4%
	60代	267 100.0%	191 71.5%	43 16.1%	121 45.3%	36 13.5%	28 10.5%	91 34.1%	73 27.3%	22 8.2%	37 13.9%	29 10.9%	13 4.9%	2 0.7%	3 1.1%
	70歳以上	330 100.0%	233 70.6%	60 18.2%	149 45.2%	54 16.4%	38 11.5%	93 28.2%	83 25.2%	42 12.7%	35 10.6%	34 10.3%	18 5.5%	1 0.3%	12 3.6%
地域別	山地部	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	2 16.7%	4 33.3%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	丘陵部	129 100.0%	100 77.5%	22 17.1%	50 38.8%	13 10.1%	17 13.2%	39 30.2%	34 26.4%	16 12.4%	18 14.0%	16 12.4%	7 5.4%	4 3.1%	3 2.3%
	周辺部1	225 100.0%	166 73.8%	50 22.2%	97 43.1%	43 19.1%	30 13.3%	55 24.4%	57 25.3%	24 10.7%	35 15.6%	26 11.6%	9 4.0%	0 0.0%	4 1.8%
	中心部	500 100.0%	331 66.2%	94 18.8%	216 43.2%	89 17.8%	66 13.2%	153 30.6%	136 27.2%	58 11.6%	71 14.2%	56 11.2%	19 3.8%	4 0.8%	8 1.6%
	周辺部2	233 100.0%	160 68.7%	50 21.5%	96 41.2%	39 16.7%	26 11.2%	73 31.3%	61 26.2%	25 10.7%	23 9.9%	22 9.4%	14 6.0%	6 2.6%	3 1.3%

問 2 9

地球上には約 3,000 万種とも言われる多様な生物が存在しますが、生きものの多様さとともに、その生息環境の多様さをも表す言葉として、「生物多様性」という言葉があります。あなたは、この「生物多様性」という言葉とその意味を知っていましたか？（1 つ選択）

○「生物多様性」という言葉について、「言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった」が 31.9%、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった」が 31.0%であり、60%以上が意味を知らないと回答しています。

【全体】



【年代別・地域別】

○年代別にみると、10代、20代、70歳以上では「言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた」が最も多く、30代から60代は「言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった」が最も多くなっています。

○地域別にみると、山地部、中心部、周辺部2では、「言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった」が最も多く、丘陵部、周辺部1では、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった」が最も多くなっています。

		調査数	言葉を聞いたことがあり、意味も良く理解していた	言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた	言葉を聞いたことがあるが、意味は知らなかった	言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった	無回答
	調査数	1,166 100.0%	76 6.5%	314 26.9%	362 31.0%	372 31.9%	42 3.6%
年代別	10代	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
	20代	67 100.0%	10 14.9%	21 31.3%	19 28.4%	17 25.4%	0 0.0%
	30代	158 100.0%	17 10.8%	44 27.8%	37 23.4%	59 37.3%	1 0.6%
	40代	179 100.0%	10 5.6%	41 22.9%	61 34.1%	65 36.3%	2 1.1%
	50代	144 100.0%	9 6.3%	32 22.2%	38 26.4%	59 41.0%	6 4.2%
	60代	267 100.0%	12 4.5%	70 26.2%	87 32.6%	92 34.5%	6 2.2%
	70歳以上	330 100.0%	18 5.5%	100 30.3%	114 34.5%	77 23.3%	21 6.4%
地域別	山地部	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%
	丘陵部	129 100.0%	8 6.2%	35 27.1%	45 34.9%	37 28.7%	4 3.1%
	周辺部1	225 100.0%	10 4.4%	55 24.4%	79 35.1%	76 33.8%	5 2.2%
	中心部	500 100.0%	39 7.8%	140 28.0%	147 29.4%	158 31.6%	16 3.2%
	周辺部2	233 100.0%	16 6.9%	68 29.2%	75 32.2%	72 30.9%	2 0.9%

9. 自由記述のまとめ

問 30

茨木市の緑について、ご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

意見を4つに分類し、さらに緑の種類で分類しました。その概要を示し、() 内には同様の意見の数を表記しています。(意見の詳細については、「自由記述の一覧(参考2)」を参照)

①緑の保全について

- ・ 茨木市全体の緑に関する意見として、できる限り自然環境を壊さずに保全していくべきという声が多く挙がっています。(25)
- ・ 北部山林を中心として、宅地開発や高速道路の整備で緑がなくなっていくことに危機感を感じています。(13)
- ・ また、市街地など、南部の緑が特に少ないという意見もあります。(3)
- ・ 川は、生物が棲むことができる自然な状態にすべきという意見が出ています。(3)

②緑の管理について

- ・ 公園の樹木や街路樹など、剪定されていて緑を楽しむことができないという意見があります。(8)
- ・ 一方で、公園の樹木や元茨木川緑地の樹木、街路樹などをきちんと剪定すべきという意見も出ています。(13)
- ・ その理由として、道路に枝が張り出していて進行の妨げになり危ないこと(3)、暗くて防犯上危ないこと(4)などが挙げられています。
- ・ また、街路樹の根が歩道に張っていて隆起しているため、危険だという意見があります。(5)
- ・ 河川について、河川敷の雑草を手入れすべきという意見があります。(3)
- ・ また、安威川など河川の水量が多いことに、防災上の不安を感じています。(2)
- ・ 個人の宅地の緑が道路にはみ出していることを問題視する意見が出ています。(3)

③緑を新しくつくることについて

- ・ 駅周辺や市街地、市の中心部の緑を増やすべきという意見が多く出ています。(16)
- ・ 駅前や庁舎などを緑化するなど、市のイメージにつながるような緑が求められています。(3)
- ・ もう少し公園を増やすべきという意見(11)があり、その中で、自然豊かで多目的な大きな公園の要望がありました。(4)
- ・ また、今ある公園の中の緑を増やすべきという意見も出ています。(5)
- ・ 街路樹を増やすべきという意見(8)も出ています。
- ・ 花の咲く木を植えるなど、周りの環境に合わせた街路樹の選定が求められています。(6)

④緑の活用について

- ・ 緑を楽しむ公園と、スポーツを楽しむ公園の使い分けをすべきという意見があります。(3)

- ・ 農地を開放して体験や教育に利用すべきという意見があります。(2)
- ・ 元茨木川緑地を整備して散歩コースなどとして活用するとよいという意見があります。
(2)
- ・ 子どもが自然と触れ合うことができるような活用ができるとよいという意見があります。
(3)

⑤その他

- ・ その他の意見として、景観やまちなみに配慮した緑のまちづくりが求められています。
(2)

Ⅳ 調査結果の分析

①住んでいる地域の緑について

- 住んでいる地域の緑について、山地部・丘陵部の居住者は、田畑の緑、山や丘陵地の緑が多い、周辺部1・中心部・周辺部2の居住者は、公園の緑、道路の街路樹、生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑を多いと感じています。
- ここ10年くらいの住んでいる地域の緑の量については、全ての地域の居住者において、変化がないと感じている人が半数を超えていますが、減った（減った＋やや減った）と感じている人も4分の1程度おり、増えた（増えた＋やや増えた）と感じている人は少数派となっています。
- 住んでいる地域の緑に対する満足度は、全ての地域の居住者において、普通という評価が最も多いですが、山地部、丘陵部は満足度（満足＋やや満足）が約3割と高く、一方で中心部は不満度（不満＋やや不満）が若干高くなっています。

◎主に市街地において、市民生活の中で身近に感じられる緑を工夫しながら創出していくことが必要です。

②茨木市全体の緑について

- 茨木市全体については、公園の緑、道路の街路樹、山や丘陵地の緑などを多いと感じています。
- ここ10年くらいの茨木市全体の緑の量は、変化がないと感じている人が約半数となっていますが、減った（減った＋やや減った）と感じている人も4分の1程度おり、増えた（増えた＋やや増えた）と感じている人は少数派となっています。
- 茨木市全体の緑に対する満足度は、普通という評価が最も多いですが、満足（満足＋やや満足）と不満（不満＋やや不満）を比較すると、不満を感じている人の方が多いという結果になっています。
- 茨木市の緑に対して、身体健康づくりや心の安らぎの場となること、都市の気温や空気などの環境を調整することなどが重視されており、60代以上は、身体健康づくりや心の安らぎの場となることを最も重視、20代～50代は、都市の気温や空気などの環境を調整することを最も重視しています。
- 茨木市の緑のうち、公園の緑、道路の街路樹が特に守り育てる必要があると考えられています。その他、河川などの水辺の緑、山や丘陵地の緑、寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑なども重要であると考えられています。
- 山地部・丘陵部の居住者は、全市と比較すると田畑の緑や山や丘陵地の緑を重視しています。

◎今ある公園や街路樹等の緑を大切に守り育てつつ、緑のボリュームを増やしていくことも考えていく必要があります。

◎緑の新たな創造や再整備にあたっては、市民生活の質の向上に貢献する緑の機能や効果を十分に生かしていくことが必要です。

③緑との関わりについて

- 緑との関わりについて、自宅でのガーデニングや緑化などを行っている人は4割近くと多いですが、その他、緑化活動や保全活動、農業体験などを通して緑との関わりをもっている人はかなり少ないという現状です。
- これからやってみたいことについては、花づくり運動などの緑化活動や、園芸などの勉強会・交流会への参加、自宅でのガーデニング緑化などが人気があります。
- 活動をする／したいと思う主な動機は、身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため、健康増進のためなどとなっています。
- 30代・40代では、子育てや青少年育成のためという理由が全市と比べて大きな理由となっています。
- 緑との関わりをする上で、市に支援してほしいことは、情報提供や物的支援、経済的支援、技術的支援など、様々な支援が要望されています。

◎身近な緑とのふれあいから、市民の緑への関心を高めるとともに、まちづくりの様々な活動の場において緑を生かしていくことが必要です。

④公園との関わりについて

- 市民に特によく利用されている公園・緑地は、西河原公園、桜通り・元茨木川緑地、若園公園バラ園などです。
- 丘陵部の居住者は耳原公園、周辺部1は西河原公園、中心部、周辺部2は桜通り・元茨木川緑地、若園公園バラ園をよく利用しています。
- 健康増進のため、景色を楽しむため、子どもや孫の遊びのため、休憩・休息のためなどに公園・緑地を利用しており、特に30代・40代は、子どもや孫の遊びのため、60代・70代以上では健康増進のためという目的が大きくなっている特徴があります。
- また、西河原公園、耳原公園は健康増進のため、桜通り・元茨木川緑地、安威川は健康増進や景色を楽しむため、水尾公園、桑田公園、上穂積公園、彩都西公園は子どもや孫の遊びのため、若園公園バラ園は景色を楽しむため、中央公園は行事やイベントへの参加のためという目的が主になっているなど、利用目的は公園により特色がみられます。
- 公園の利用頻度について、利用頻度が高いのは安威川であり、約半数の人が週に1回以上利用しています。元茨木川緑地や水尾公園も、比較的利用頻度が高いといえます。一方、イベント利用が多かった中央公園は、数ヶ月に1回の利用が半数近くと多く、利用頻度は低くなっています。
- 茨木市の公園・緑地に対して、自然を楽しめることを最も望んでいます。その他、既存の公園を利用しやすいように整備すること、防災機能を備えていること、小さくても歩いていける範囲にあることなどを望んでいます。
- 公園・緑地の維持管理活動には参加していない人が大半です。今後の意向としては、時間があれば参加したい、協力する機会と場所があれば関わりたいなど、条件が合えば参加したいという意志が比較的みられましたが、積極的に活動したいという人はかなり少数となっています。

◎それぞれの公園・緑地の特性に応じ、癒しや遊び、健康増進など、日常的に市民が利用しやすいような環境づくりに努めることが必要です。

◎市民が維持管理活動に参加できる機会を設け、関心を高めるとともに、中心となって活動する人材を育てることが必要です。

⑤元茨木川緑地について

- 元茨木川緑地に対しては、さくらまつりを楽しむことができる、四季折々の風景が楽しめる、自然豊かな場所である、といった印象を持っています。プラスの印象の方が多いですが、施設や設備の不足や安全面での不安など、マイナスの意見もみられました。
- 今後の元茨木川緑地への関わり方については、来訪者として利用したいという考えが圧倒的に多く、維持保全活動や施設などの計画、行事・イベントの企画運営へ関わることに 대해서는消極的です。

◎イベントや自然豊かな環境と触れ合える場として、これからも守りながら、問題のあるところは適切に維持、整備していくことが必要です。

⑥農地について

- 北部農地のあり方については、市民農園や体験農園、観光農園として活用する、農業の振興を図り農地を保全する、など農地として保全・活用していくべきという考えを持っています。
- 市街地の農地についても、市民農園や体験農園、観光農園として活用する、農業の振興を図り農地を保全する、など農地として保全・活用していくべきという考えを持っています。公園等の公共施設用地として活用するという意見も少数派ではありますが、北部農地よりはみられました。
- 北部農地や市街地の農地に今後関わることには興味がない人が大半です。関わりたいという意志のある人のなかでは、市民農園で家庭菜園をしたいという意見が多くみられました。

◎市民農園や観光農園など、新たな利用の展開も見据えながら、今ある農地を守っていくことが必要です。

⑦山林について

- 北部の山林については、生物の生息の場を保全するためのもの、災害防止のためのもの、二酸化炭素の吸収源のためのもの、山並みの景観形成のためのものであることなどを望んでいます。
- 北部山林の維持保全・整備のあり方については、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していくこと、所有者や森林組合の責任で維持管理していくこと、森林公園等を整備することなど、保全・活用していくという意見が大半であり、宅地として開発していくべきという意見はかなり少数となっています。
- 今後の北部山林に関わることには興味がない人が大半であり、参加には消極的です。

◎北部の山林は、その環境的効果や災害防止等の効果を維持できるよう、維持・保全していくことが必要です。

◎維持・保全活動には、所有者、森林組合と市民などが協働して取り組むことが必要です。

⑧生物多様性、自然との共生について

- わたしたちの生活と自然との共生のあり方については、人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進めるべきという意見が大半となっています。人間生活が制約されても保全すべきという意見も比較的みられ、環境保全をすべきであるという考えを共通して持っているといえます。
- 自然と共生していくためには、里山や山林などの自然環境を保全すること、地球温暖化を防止することなどが重視されています。

◎北部の山林や里山を中心とした地域の自然環境を、多様な生物が生息できる重要な環境として守り、受け継いでいくことが必要です。

茨木市緑の基本計画に関する アンケート調査へのご協力をお願い

平素は、本市行政に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

茨木市では、平成12年に緑の保全・活用や緑化推進などについてとりまとめた「茨木市緑の基本計画」を策定し、よりよい緑の環境づくりを進めてきました。しかし、策定から10年以上が経過する中で、市内の緑の状況や社会情勢などが変化しつつあることから、これまでの市の取り組みを踏まえながら本計画の改訂に取り組むこととしました。

このアンケート調査は、茨木市の公園・緑地等の緑や緑化活動等について、市民の皆さまが抱えている思いや、今後の緑のあり方に対する考え方をお聞きし、質の高い緑の保全と創造につながる計画を検討する際の基礎資料とするために行うものであります。

アンケート調査票は、本市にお住まいの18歳以上の方から無作為に3,000名の方を選ばせていただき、お送りしております。また、ご回答いただいた内容はすべて統計的な処理を行います。

本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成26年1月 茨木市長 木本 保平

《回答にあたっての注意》

- ① 回答は、ご本人（アンケート調査の宛名の方）が記入してください。
- ② 記入は、黒の鉛筆・ボールペンをご使用ください。
- ③ 質問ごとに、あてはまる番号に○を囲んでください。
- ④ 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**切手を貼らずに、
1月22日(木)までに、**ポストへ投函してください。
- ⑤ このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〈お問い合わせ〉

茨木市役所 建設部 公園緑地課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

（電話）072-620-1654

（FAX）072-625-3181

（E-Mail）koen@city.ibaraki.lg.jp

茨木市緑の基本計画に関する市民アンケート調査 調査票

◇このアンケートで対象としている「緑」とは、周辺山系の森林、都市の樹林・樹木・草花、公園、農地及びこれらと一体となった水辺・オープンスペース等を指します。

I あなたがお住まいの地域の緑についてお聞かせください

問1. あなたがお住まいの地域では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 公園の緑 | 2. 道路の街路樹 |
| 3. 河川などの水辺の緑 | 4. 生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑 |
| 5. 田畑の緑 | 6. 工場・事業所の緑 |
| 7. 寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑 | 8. 学校や病院などの公共公益施設の緑 |
| 9. 山や丘陵地の緑 | |
| 10. その他（ | ） |

問2. ここ10年くらいであなたがお住まいの地域の緑は増えてきていると思いますか？（1つ選択）

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 増えた | 2. やや増えた | 3. あまり変化がない |
| 4. やや減った | 5. 減った | 6. わからない |

問3. あなたがお住まいの地域の緑について、あなたはどのように思いますか？（1つ選択）

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

II 茨木市全体の緑についてお聞かせください

問4. 茨木市全体では、どのような緑が多いと思いますか？（3つまで選択可）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 公園の緑 | 2. 道路の街路樹 |
| 3. 河川などの水辺の緑 | 4. 生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑 |
| 5. 田畑の緑 | 6. 工場・事業所の緑 |
| 7. 寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑 | 8. 学校や病院などの公共公益施設の緑 |
| 9. 山や丘陵地の緑 | |
| 10. その他（ | ） |

問5. ここ10年くらいで茨木市の緑は増えてきていると思いますか？（1つ選択）

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 増えた | 2. やや増えた | 3. あまり変化がない |
| 4. やや減った | 5. 減った | 6. わからない |

問6. 茨木市全体の緑について、あなたはどのように思いますか？（1 つ選択）

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

問7. 茨木市の緑に対して、今後どのようなことを特に望みますか？（3つまで選択可）

1. 鳥類や昆虫など生物のすみかとなること
2. 都市の気温や空気などの環境を調整すること
3. 都市の季節感や、風格を与えること
4. 緑豊かな茂木をアピールするような景観をつくること
5. 身体・健康づくりや、心の安らぎの場となること
6. 交流やレクリエーションなどの活動の場となること
7. 地震による建物の倒壊を防止したり、火災による延焼を遅延・防止すること
8. 災害時の避難路や避難地となること
9. その他（

問 8. 茨木市の緑のうち、特に守り育てる必要があるものはどのような緑だと思いますか？
(3つまで選択可)

1. 公園の緑
2. 道路の街路樹
3. 河川などの水辺の緑
4. 生け垣・庭木・ベランダなど宅地の緑
5. 田畑の緑
6. 工場・事業所の緑
7. 寺社仏閣や自然林などの伝統的な緑
8. 学校や病院などの公共公益施設の緑
9. 山や丘陵地の緑
10. その他（ ）

Ⅲ あなたと緑の関わりについてお聞かせください

問 9. あなたと緑の関わりについて、あなたが現在やっていること、または、今はやっていないがこれからやってみたいことがあれば、○をつけてください。

- (1) 花づくり運動などの緑化活動
- (2) 山林の保全活動
- (3) 公園の清掃や街路樹の水やり・清掃など
- (4) 農業に従事
- (5) 田植えなどの農業体験
- (6) 自宅でのガーデニングや緑化など
- (7) 園芸などの勉強会・講習会への参加
- (8) まちの緑化のための募金への協力
- (9) その他やっている活動や、今後やってみたい活動があればご記入ください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| 1. 現在やっている | 2. やってみたい |
| [やっている活動] | [やってみたい活動] |
| () | () |

問 1 0. 緑に関して「現在やっている」「やってみたい」と思うことについて、その理由をお答え下さい。（3つまで選択可）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 地域コミュニティ活動や多世代交流のため | 2. 健康増進のため |
| 3. 子育てや青少年育成のため | 4. 環境学習のため |
| 5. 地域の歴史や文化、芸術を楽しむため | 6. イベントでにぎわいや交流をつくるため |
| 7. 災害防止や防犯のため | 8. 茨木市のまちの魅力や活力向上のため |
| 9. 身近な緑とのふれあいや茨木市らしい自然を守り育てるため | |
| 10. その他（ | ） |

問 1 1. あなたが緑と関わる上で、市に特に支援してほしいことは何ですか。（3つまで選択可）

- | |
|----------------------------|
| 1. 活動の助言や指導を行う専門家の派遣（人的支援） |
| 2. 活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援） |
| 3. 助成など経済的な支援 |
| 4. 講習会や勉強会などの開催（技術的支援） |
| 5. 制度や活動などの情報提供 |
| 6. 仲間づくりなどの仲介・調整支援 |
| 7. 市の支援は必要ない（自主的に活動する） |
| 8. 緑との関わりに興味はない |
| 9. その他（ |

）

IV あなたと公園の関わりについてお聞かせください

問 1 2. 茨木市内で最もよく利用する公園・緑地はどこですか？（1 つ回答）

公園・緑地名

問 1 3. 問 12 で回答した公園・緑地について、主にどういった目的で利用しますか？（3つまで選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 休憩・休息のため |
| 2. 子どもや孫の遊び場として |
| 3. 体操やウォーキングなど健康増進のため |
| 4. 球技などのスポーツをするため |
| 5. 鳥や昆虫などの生物を観察するため |
| 6. 景色を楽しむため |
| 7. 家族や友達などとレクリエーションを楽しむため |
| 8. 各種の行事やイベントに参加したり、開催したりするため |
| 9. 地域による公園管理にボランティアとして参加するため |
| 10. その他（ |

）

問 1 4. どのくらいの頻度で利用しますか？（1 つ選択）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に 3～4 回 | 3. 週に 1～2 回 |
| 4. 月に 2～3 回 | 5. 月に 1 回 | 6. 数ヶ月に 1 回 |
| 7. その他 | | |

問 1 5. 茨木市の公園・緑地に対して今後どのようなことを特に望みますか？(3つまで選択可)

1. 小さくてもいいから歩いていける範囲にあること
2. 既存の公園を利用しやすいように整備すること
3. 長時間過ごせるような多様な機能があること
4. 災害時の避難場所や救護活動の拠点となる防災機能を備えていること
5. 歴史・文化を伝えるような場所となること
6. 自然が楽しめること
7. 山並みが見晴らせるような眺望に配慮していること
8. 来訪者・観光客をひきつけるようなテーマを持っていること
9. 気軽にスポーツができること
10. その他 ()

問 1 6. 公園・緑地の維持管理活動に参加していますか？(1つ選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問 1 7. 今後どのように公園・緑地の維持管理活動に関わっていきたいと考えていますか？
(1つ選択)

1. 地域や活動団体などで積極的に活動したい
2. 協力する機会と場所があれば関わりたい
3. 積極的に活動はできないが、時間があれば参加したい
4. 興味がない
5. 市がやるべきである

V 元茨木川緑地についてお聞かせ下さい

問 1 8. 元茨木川緑地について、どう思いますか？(5つまで選択可)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 自然豊かである | 2. 四季折々の風景が楽しめる |
| 3. 鳥や昆虫などの生物を観察できる | 4. 静かで落ち着いている |
| 5. 施設が充実している | 6. 子どもが遊べる遊具が充実している |
| 7. 安心して利用できる | 8. 人々が集える場所がある |
| 9. さくらまつりを楽しむことができる | |
| 10. 樹木や草花がきちんと手入れされていない | 11. 鳥や昆虫などの生物がいない |
| 12. 利用したいと思う施設や機能が乏しい | 13. 子どもが遊べる遊具が不足している |
| 14. 安全面で不安がある | 15. 人々が集える場所がない |
| 16. 利用者のルール・マナーが悪い | 17. 魅力的な行事・イベントがない |
| 18. その他 () | |

問 1 9. 今後どのように元茨木川緑地に関わっていきたいと考えていますか？(複数回答可)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 来訪者として利用したい | 2. 緑地の維持保全活動に関わりたい |
| 3. 施設などの計画に参加したい | 4. 行事・イベントなどの企画運営に関わりたい |
| 5. 興味がない | |
| 6. その他 () | |

VI 農地についてお聞かせ下さい

問 2 0. 茨木市北部にはまとまった規模の農地があります。この北部の農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1 つ選択）

1. 市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する
2. 市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限り農地を積極的に保全する
3. 観光農園として行楽客を呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全活用する
4. 農業を続けるにあたって田畑やあぜ道、水路などの簡易な改良を進める
5. 農地を交換・集約して、大きな区画として整備する
6. 公園等の公共施設の用地として活用する
7. 宅地として整備し土地活用していく
8. その他（ ）

問 2 1. 今後北部の農地に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

1. 本格的な農業に関わりたい
2. 田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい
3. 市民農園などで家庭菜園をしたい
4. 農業ボランティアなど農家の手伝いをしたい
5. 農地や用水路などの環境維持活動へ参加したい
6. 興味がない
7. その他（ ）

問 2 2. 茨木市には市街地にも小規模な農地が点在しています。この市街地の農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1 つ選択）

1. 市民農園や農業公園、体験農園などとして、一般市民の利用を図りながら保全活用する
2. 市の支援をもとに、市民との協働によって農業の振興を図り、可能な限り農地を積極的に保全する
3. 観光農園として行楽客を呼び込むなど、新しい農業の形を工夫しながら保全活用する
4. 農業を続けるにあたって田畑やあぜ道、水路などの簡易な改良を進める
5. 農地を交換・集約して、大きな区画として整備する
6. 公園等の公共施設の用地として活用する
7. 宅地として整備し土地活用していく
8. その他（ ）

問 2 3. 今後市街地の農地に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

1. 本格的な農業に関わりたい
2. 田植え・稲刈りなどの体験的な農作業をしたい
3. 市民農園などで家庭菜園をしたい
4. 農業ボランティアなど農家の手伝いをしたい
5. あぜ道や用水路などの環境維持活動へ参加したい
6. 農地に花を植えるなどの景観づくり活動に参加したい
7. 興味がない
8. その他（ ）

VII 山林についてお聞かせ下さい

問24. 市の北部には、山林が広がっていますが、この山林の望ましいあり方として、あなたの考えにあてはまるものは何ですか？（複数回答可）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 山並み景観の形成のためのものである | 2. 生物の生息の場を保全するためのものである |
| 3. 農林業の場である | |
| 4. スポーツやレクリエーション、保養のためのものである | |
| 5. 環境学習のためのものである | 6. 土砂流出などの災害防止のためのものである |
| 7. 二酸化炭素の吸収源である | 8. 水源涵養のためのものである |
| 9. 気候緩和のためのものである | |
| 10. その他（ | ） |

問25. 北部の山林の多くは個人が土地を所有しています。この山林の維持保全・整備のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

- | |
|--|
| 1. 所有者や森林組合の責任で維持管理していく |
| 2. 荒廃地への植林や、放置されている森林の間伐など、森林整備に関わるボランティアを育成し、市民との協働を図りながら保全していく |
| 3. 市民が森に親しむための森林公園等を整備する |
| 4. 森林を公有林化し管理、保全する |
| 5. 宅地として開発していく |
| 6. その他（ |

問26. 今後、北部にある山林に関わっていきたいと思いますか？（複数回答可）

- | |
|---|
| 1. 植林や間伐など、森林整備のボランティアとして参加したい |
| 2. 森林に親しむためのイベントに参加、もしくはその企画運営に関わりたい |
| 3. 森林について理解を深める環境教育に参加、もしくはその企画運営に関わりたい |
| 4. 興味が無い |
| 5. その他（ |

VIII 生物多様性、自然との共生についてお聞かせ下さい

問27. わたしたちの生活と自然との共生のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？（1つ選択）

- | |
|--|
| 1. 人間生活を便利にすることが最優先で、多様な生物が生息できる環境は必要ない |
| 2. 人間生活の便利さ確保のため、多様な生物が生息できる環境の損失はやむを得ない |
| 3. 人間生活が制約されない程度に、多様な生物が生息できる環境保全を進める |
| 4. 人間生活が制約されても、多様な生物が生息できる環境保全を優先する |
| 5. 人間生活を制約してでも、多様な生物が生息できる環境の保全を最優先する |

問 28. 自然と共生していくためには、どのようなことが特に重要だと考えますか。
(3つまで選択可)

問 29. 地球上には約 3,000 万種とも言われる多様な生物が存在しますが、生きものの多様さとともに、その生息環境の多様さをも表す言葉として、「生物多様性」という言葉があります。あなたは、この「生物多様性」という言葉とその意味を知っていましたか？
(1 つ選択)

1. 言葉を聞いたことがあり、意味も良く理解していた
2. 言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった
4. 言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった

問 30. 茨木市の緑について、ご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

X 最後に、あなた自身についてうかがいます

年 齢							性 別
1 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 歳以上	男 ・ 女
お住まいの町名							
居住年数	年						

①緑の保全について

緑の分類	自由意見
公園	公園を大切にしてください。
	公園等の緑化は満足しているが、ダムの開発や高速道路などで、緑がこわれていくのが不安です。
	どちらかと言うと新たな公園等を設ける事より、今迄時を経て育まれてきた緑の保持に重きを置いて頂きたいです。（私自身、くらしの中で見直すべき点多々有りますが。）
街路樹	桜通りの木陰や街路樹で暑い時でも出かけやすい。今後も植替などで守ってほしい。
	夏の水不足の時には散水してほしい。とにかくもっと植えた木を見守ってほしい。枯らさないでほしい。
庭	個人の家を建て替える時に、樹木が不要になるが、残すか、市で引取、他所に植える。
農地	田・畑が売却される事にもう少し早い関心を持って住宅等にならないように努力してほしい。
山林	所有地ゆえ・・緑の多い小高い土地が次々と平地になり宅地に変貌、悲しい事です。
	最近山の方へ行くと緑がだんだんなくなり山肌が露出しているのが悲しい。
	豊かな森が水を育み生物を肥やす。森を守るとは未来の命を守る事。目先の利益ではなく100年先、200年先の未来をイメージして街づくりに取り組んでほしいです。
	北部山林の保全。特にナラ枯れ対策を実施してほしい。
	街中は今のままでいいんじゃないか。里山山林等は無理な手を加えないこと。
	今後、茨木の山林に宅地等は必要ないと思う。
	緑はいいが山間部はコンビニやスーパーがなく不便なところが多いから、一部は切り開いて宅地やニュータウンにしてもいいと思います。
	山林、森林を良く整備。（極力緑を維持して欲しい。）
	御承知の通り、本市は近隣各市にあっては、極めて自然（山間部が多い。）に恵まれた環境に置かれておりますが、市発展の為には開発も良しとしながらも、近年の自然災害を考慮すると、防災上自然を保全する風潮に有り、複雑な思いも致します。将来の子供達の為にも、バランスのとれた都市整備が急務だと考えます。
	山がけずられて、住宅が建てられ景観が悪くなり、災害が、大変気になります。
	彩都の開発計画について見直しを行ない、開発予定地については、保全地域化するくらいの思い切った判断をしても良いのではないかと、開発地については、元々その地にあった樹林等の種子を育て、元に戻す様にする。
	緑豊かな彩都が大好きです。守っていて欲しい。これ以上山をけずって欲しくない。
	中山間地の過疎化により水源涵養機能が失われ、何床上しようが起き水害が増える。極増化に300年かかると言われます。一度手を入れた2次白は、結任を持って守って行きましよう。
	昔からある池や森を切り、住宅が建っていつている現状。緑がどんどん減っている。市としても緑を守るなら建築基準等もっと考えるべき。
	これ以上、宅地も道路も必要ありません。とにかく、これ以上森林伐採しないで下さい。
	自然保護のためなら税金が上がっても構いません。
	彩都の山はこれ以上開発しないで欲しい。
	市北部の緑を1000年先まで守るしくみを作ってほしい。
	出来るだけ北部の自然を守っていただきたい。緑が減ってます。（例えば大門寺付近）
	茨木市には北部に自然が多く残ってます。しかし人口減にもかかわらず利便性等の為にその自然が少しずつ減っています。大規模開発は不要と感じますので、自然を大切に保全して頂けたらと思います。
	北部地域の高速道路開発に伴う自然破壊を少なくして欲しい。
	新名神再都市開発で猪等が北部を荒らしている、それをどうかしてほしい。
	いずれにしても、2020年以降日本の人口が減少していく中、これ以上不必要に里山を切りくずして、宅地開発を広げる事は無意味で赤字になるばかりと思われるので、そういった人々

	の考えを改めてほしい。農林業をやってみたいと思う人達がいると思うので、そうし易い環境やサポートネットワークも必要と思う。
農地・山林	農地、山林がだんだん少なくなっている気がする、なるべく残してほしい。
河川	小川町の川は釣り人とゴミが多くて困っています。東奈良あたりからの下流の水草が生えないように管理をお願いします。生物が困っています。
	安威川を元の自然状態に戻せないものか。砂の堆積が激しい。もっとも今が自然なのかも知れませんが。
	高瀬川の工事は、本当に必要なのですか。今生きる生物は？ただの無機質なつまらない用水にしか見えません。本当に小魚の住家も草々もなくなり、残念な気持ちで見えています。やめてもらいたい。
	年々川の水が少なくなったようです。池が多くあったが少なくなった。(畑や田んぼも少なくなった。)
駅周辺・中心部の緑	市街地の緑が減り続けている。
	市街地では特に緑が減ってきている。緑地の為の免税措置などが有効ではないでしょうか。
	阪急茨木市駅の木に野鳥が住みついたりしてフン害があるので自然の保護は大切であると感じるが、どのような活動が必要か。またどのような活動が市で行われているのかわからない。
市全体の緑	茨木市に住んで 30 年以上となります。昔は、田畑も多く緑豊かでした。今は空地が増え緑が減ってきています。その上駅前のお店も閉店がありどうするのでしょうか？無駄なところでお金を使ってはいけません。
	茨木市の緑は多い方だと思っていますがこのまま環境保全したいものです。
	保全をしてほしい。
	出来るだけ緑は残して生活出来る空間を作る。
	■■渚口に比べ、緑の保護に対し、積極性が乏しい。
	街がきれいに見えるように整備して、保全していけたらいい。
	緑を増やすことによって、害虫などが発生する心配があるのですが、大丈夫なのでしょうか。気持ちよく緑と共存していければ幸いです。
	宅地化で緑が少なくなった。
	宅地開発に伴う緑の減少が近年著しいと感じます。長年茨木に住む者として、発展を喜ぶと共に、緑地の減少に危機感を覚える時期であるとも思います。
	保存すべき。
	緑をへらさないように。
	現状以下には出来ないと思います。
	ムダなものを作らず自然は残して、便利だが自然豊かな都市になってほしい。
	人口減少になる中で、やみくもな宅地造成はやめるべきである。
	緑の多い美しい街だと思います。宅地開発の為、緑がなくなることは、残念ですが、可能な限り残してほしいと思います。
	少子化社会になる茨木市の将来の為、最も効率的な緑資源保全策を考えるべき。
	現状維持にいつて欲しい。
	現状のままで十分だと思うので現状維持して頂きたい。
	減らして欲しくない。
	これからも自然を壊すことなく、共存できるような環境作りをしてほしいです。
	ダムや道路建設のため、自然環境が破壊されている。完成後、どの程度元に戻せるのか心配です。
	農業する人が居なくなったせいかマンション、住宅などがたくさん出来さみしくなります。
	茨木市は緑が多く環境が良い。今後も環境維持活動に力を入れてほしい。
	これからも緑の保全に努めてほしい。
	くれぐれも自然環境をこわさないで下さい。

	大阪、京都に近く、緑の多い街というイメージを保ってほしいです。
	緑地が現場より減ることがないことを希望します。
	もともと大阪市内に住んでおり、茨木に来てから緑が多く、空気もちがい、貴重な緑を大事にしたいと思います。
	自然をこわさないなど、大切にしてください。
	今まで以上に緑を多く維持する。
	生き物が住みやすいようこれ以上緑が減らないように願います。
	宅地と山林が広島のようにならない計画と保全。
	上穂積の農地が公園化されたが、私の住む春日丘には近くに公園と呼べそうなのは、春日丘公園くらいで、緑も少なく、憩える場となっていないように思いますが…。人口減少局面に入っていく中で、現状をどう維持するか、開発中心の行政を見直す、あらゆる面で再生可能な視点をもっていただきたい。私は新名神も反対。
	茨木市は、最近マンションなどが多くなり、人口が増加しているように思います。今よりあまり大きく規模が拡大しませんように。
その他の緑	「南部では緑が無い」と言っている程、少なすぎる。土地開発を抑制するべき。
	自宅で育てている植物で不要なもののポストがあればうれしいです。自分で処分するのはかわいそうです。あるいは、交換会があれば利用したいです。
その他	緑の整備とともにタバコのポイ捨てや自転車のマナー（駐輪）をもっと管理しなければ、せっかくの緑も保護できないと思います。
	子育て世代、若年層の積極的参加は得づらいと思うので別の方法で保全活動を検討してほしい。
	特にありませんが、鹿や猪による食害の事をもっと取りくむべきではないかと。
	緑の環境保全はお金がついてまわる。
	出来るだけ自然の方に人間が近づきたいと思います。

②緑の管理について

緑の分類	自由意見
公園	公園の雑草処理をもっと頻繁に行ってほしい。
	公園の管理があまり出来ていない。子供たちのボール遊びで木々が折られている（行政からの注意が必要）。
	地区の公園の木を切ってしまったら休息も出来ない。
	近頃の児童公園に紅葉を楽しめる木が2本あるのですが、数年前からこれから楽しめるという時に剪定に來られてとても残念です。伸び放題の常緑樹はほったらかしで、紅葉を楽しめる木はなぜ毎年紅葉前に剪定されてしまうのか？
	市中心部のみでなく、公園等の整備をしてほしいです。
	小さな公園の整備が不十分。勝手な物（灰皿など）を持ち込まれている所もある。
	水尾公園へ時々行くが桜の枝が延びすぎている所もあるので切って整えたらいいと思う。
	公園の草花の手入れが今いち不十分だと思います。もう少しきちんと水やり、花がらの始末等手入れすることが大切だと思います。
	駅の近くの公園等、最近汚いまま、清掃されてない所が有るのではと思う。
	公園などの木が折れているのをよく見かけるので、何とかしてほしい。危険なので。
	市役所周辺の公園。毎年植え替えられる。一年生の花がもったいない。
	提供された公園の管理、整備を積極的実施して下さい（定期的点検も）※住民から申告
	があって動くのではなくて…。
	公園等毎年よく管理されていると思います。
	息子が幼稚園の帰りに公園で遊んで、今日はバラ園、明日は4号、3号、2号、と毎日違う公園で飽きる事なく楽しく遊ばせてもらってますが夏場の雑草と蚊の駆除をお願いしたいと思います。
	小さい公園の美化。

	手入れされている公園とそれ以外の差がひどい。 公園などの整備に施設の利用者に手伝ってもらったり、施設やマンションなどに補助金を出すなどして、広めることはできないかと思います。 公園をきれいに整備するのではなく、自然のままにして欲しい。上穂公園のじゅず玉がなくなった事は、残念です。 公園、道路などの雑草の手入れをもっとまめにしてほしい。 桜通りや公園、グリーントウン駐車場の植樹に共通して、うっそうと葉が茂って女性が一人歩きするのがこわいです。植樹は良いけど手入れも指導して下さい。 明るい緑地があるといいです。緑があっても手入れされていない公園などは物騒でこわいです。
街路樹	東海道線、阪急線が他都市と便利につながり、北部に広大なみどりを残し幾筋かの川もあう気候も温暖な茨木は住みよい都市になり人口も増加し税収も多くなり住みたい都市になると思います。街路樹はどの都市に行っても車社会の日常にあってほっとするものですが木の剪定問題等をよく考えて頂きたい。道路の車の安全もあるでしょうが美しく紅葉する前に切られるのは何ともせつないものです。植えられた当初歩行者も楽しんだだけやき等です。何年もたつと木と木の間の根が盛り上り歩行者や車椅子の危険は多くなっています。 秋の落葉の処理もあってか街路樹の強い切り込みが見られるがヨーロッパなどは殆んど切り込まない。市民の理解が必要だが、どうだろうか？ 道路の両側にある木や花はとてもきれいに整備されていると思うので続けてほしい。 道路の街路樹について、植樹後年数が経ち、根が張って歩道がデコボコになっている所が多く、歩道が歩きにくい。また場所により電線より高くのびている。せめて電線にあたらない位にして頂きたいと思います。 道路に落葉街路樹が多く清掃が大変、コストも分かります。何か方策は？ 川端通りの街路樹の整備が必要(信号等を見えにくくしている)。 街路樹の伐採に反対、落葉清掃に力を入れて。 街路に緑があることも大事と存じますが、駅前通りのように道路の狭い歩道におきましては鉢植え等が場所を取っている現状(それも肝心の花は枯れても放置されていることが多く見苦しい事が多いです)はとても危険だと思います。高齢の人が多くなっていることもありつねに背後に気をつけなくても自転車と安心してすれ違えるよう、鉢植えを設置するためのオブジェの置き場所を変えてもらうわけにはいかないでしょうか？いい代案がなくて申し訳ないのですが。 道路わきの木が大きくなり見通しが悪いのが今一番いやな事である。 街路樹をもう少し良いものにして欲しい。 街路樹がきれいに整備されています。ありがとうございます。 交差点近くの街路樹が左折する時に見えにくいので気になっている。 街路樹の手入れも市できちんとやってほしい。桜の木が成長しすぎて、家の方まで伸びています。 街路樹が枯れたままのところがあって気になる。 街路樹をきれいに整備して下さい。 道路の街路樹の手入れなど、シルバーの方々もされているとかで・・・良い事だと思っています。
	道路ぞいの植栽が季節により丸坊主になるのは？植栽の剪定を考慮して下さい。 税務署と税務署北側の元茨木川に沿う歩道ですが、歩道の真ん中に桜の木があったり大きな凹みがあって自転車はもとより歩行にも不便さがあります。至急に改善してもらいたい。 街路樹が、申し訳程度になっている。本来街路樹は、木影を作る様に冬場の手入れをするものであるが、市は丸はだかにしてしまっている。アンケートの要求より先に行う事が必要と思う。 狭い歩道の街路樹、根っ子がガタガタで危険です。 市内の国道の植木が虫により枯れている。消毒をしてほしい。

	街路樹をこまめに剪定して欲しい。 道路の中央分離帯の緑にポイ捨てのゴミが多い。事務所への注意喚起を！！（市場のトラック） 道路の街路樹の根が大きくなった為、歩道が隆起していて、危険だと思われる個所がある。 牧田川渚道路側の低木は、伐採しても成長が早く、すぐに人の高さ迄伸びるため、見通しが悪い。交通事故の危険性を感じる。他種に変更しては。 緑地など業者まかせにせず、四季おりおりの花や紅葉が楽しめるようにして欲しい。街路樹も、これから暑くなるときに剪定しては緑陰も楽しめない。吹田市北千里の”三色彩道”のように街路樹も地元の名所になるよう計画して欲しい。近くの小川も同様。藻の花が咲いてきれいなのに、浚渫ばかりで小魚の卵やトンボのヤゴも住めない。 もう少しきれいな緑地帯にして欲しい。樹木が大きくなり、防犯用としての照明の明るさを低減している。 今ある樹木が枯れていたら支援して頂いて美しくなる。まわりは汚く出来ない。それが良い結果を生む。 安威川沿いの桜並木が好きです。川とその周辺はもう少し整備するとより水と自然の豊かな魅力ある市になるように思います。 さくらや落ち葉など、個人でそうじされてる方が多く、個人の意識高いと感心しています。
公園・街路樹	若園公園は管理がきちんとされているのでそのおかげで美しい花を楽しむことができます。街路樹の刈込もしっかりされ美しい景観が楽しめます。 街路樹及び公園の樹木を自然に近い状態に剪定して欲しい。 道路に街路樹があるといいが、枯れ葉の処理がされていない、生い茂って信号が見えない、道路に出ている枝があつて妨げになる、整備が遅くなる、ならなくてもいいと思う。公園とかに木があつて花もあればいいが、整備をきちんとして欲しい。 10年ほど前よりも緑が減ったと感じます。アンケートは時間を要します。まず自分たちで見て行動してみてもいいでしょうか？白川地区はつつじの街路樹は雑草だらけで汚い。何度も家の裏側の剪定をおねがいしても取り掛かってもらえません。毛虫や敷地内に葉や枝が入ってきて困ってます。公園の整備が不足していると思います。街路樹の木は成長を無視して根元付近から切断せれて（白川小学校周辺）います。これで緑といえますか？一方北部の開発地は、緑や花が豊富だと思います。古い街は平均年齢も上がり緑も減り暗い汚い町になっています。今後このような町で家族を作りたいくはないとおもいませんか？立命館大学移動による発展に期待します。
公園・河川	市中心部は緑公園など有りますが私が住んでいる地域では安威川、佐保川、茨木川での雑草、川中の土石が積っている所が多く見られます。子供達が遊べる遊具も少なく有っても整備不足です。
花・花壇	駅前通りの花を手入れしている人を見かけたことがあります。きれいな環境は住人に良いと思います。ただ駅から離れた道の歩道の緑が伸びっぱなしで歩道を通れなかったりすることがあるので、そこらへんも手入れして欲しいです（郡の辺り）。畑とかの横だと市は介入できないこともあると思いますが、道路わきの緑にすごい蜘蛛の巣とかがあると子供が居るので心配です。
	つつじの植え込みが他の草にどんどん変わっていくのが残念。 道や歩道にある花壇を見ると、きれいな花が咲いている時、心が豊かになります。お世話をしている人に感謝しています。 サツキなどの植木など良く見かけますが、枯れていたりするので水の散布などして欲しいです。 住宅口交差点から白川高層マンションへのバス通りのさつきの植え込み、花時はきれいですが、歩道の道幅が狭くさつきの背丈（80cm 位）が高いので日没は歩くのがこわく避けている。もう少し低くならないかなあと考えているところです。
庭	生け垣など宅地の緑が多いのはいいことなのかも知れないが、道路（おそらく市道）にまであふれている光景をよく目にする。道路所管部局としっかり連携をとって指導してほしいと思う。

	南春日丘 5 丁目 4～5 丁目 3 において道路面へはみ出している個人所有のいけ垣を切るよう、所有者に要請して下さい。交通安全のためにおねがいします。 ガーデニングのやり方が自己中すぎる。街がきれいになるのはいいが道路にはみでてまでガーデニングする必要があるのか。注意をすればレベルが低すぎる。昔はレベルが高くもっと茨木にほこりをもっていたのに今はがっかりする。住みたい街茨木だったのに・・・。
農地	農業用用水路を整備してはいかがでしょう。雨の日にあふれたり、汚い時も多いです。 太田には、田んぼも畑もあり、のどかな田舎です。それを残しつつ道路の整備をしてほしい。外灯がない所がたくさんあります。緑あり、明るい町へ。
山林	池田市(五月山公園)箕面市(箕面公園)里山公園の手入れが行き届いている。茨木市は山の手入れが遅れていて悲しいです。 里山近くにある溜池の堤の草刈りを市の行政で刈ってもらいたい。大変危険な作業です。
河川	河川敷の雑草でぼうぼうなのがすごいです。きれいに整備してほしいです。 安威川の堤防の草が夏の間にひどく伸びて堤防上を歩くのが難しくなるので秋になったら早めに刈ってほしい。 安威川の整備。 市内の道路はきれいだし河川の草も早く手入れをして下さるので有難く思います。 よくやっていると思うが安威川の中を少しきれいにしてほしい。 緑ではないかもしれないが、安威川の中に多数生えてる草を全てのけて、もっと水が流れる範囲を広げてほしい。逆に子供が陸とまちがえて事故につながる。 川周辺をきれいに清掃し、花を植えられている姿を、たびたび拝見しています。活動して頂いている方々に感謝です。 以前安威川、茨木川と洪水危険水位に達した。一番にこの整備をしてほしい。災害対策を望みます。 川の雑草がひどい。早めに手入れを！ 茨木市内を流れる川の掃除に目配りしてほしい。 彩都地区が出てからであろうか？やや強めの雨で河川(大正川、安威川)の水量が気になる。その内河川切れがあるのではと心配である。
元茨木川緑地	さくら通りを毎日のウォーキングに利用しています。四季の草花も楽しんでおります。手入れもされていてとてもいい空間だと思っています。これからもこの状態を維持して欲しいです。 桜通りにはこれ以上木を増やさないでほしい。 元茨木川の緑地の、樹木の伐採の御願い。一度見に来て下さい。 桜通りの落葉が排水溝につまり汚いので、市は見回りしてほしい。 ◎元茨木川緑地のくすの木が茂りすぎているので枝を切って景観をよくしてほしい。◎元茨木川緑地の夜の照明をふやしてほしい。くらくてこわい。 桜通りに季節ごとにガーデニングしています。花が咲きみだれ美しいです。特に夏は水やり不足、春は草々がぼうぼうでちょっと悲しいです。 桜通りの四季折々の美しさにひかれますが、冬の樹木の点灯は、傷がつかないか心配しています。 元茨木川緑地はきれいで、手入れも行き届いていると思います。ただ不快害虫(巨大なカメムシ)が多く発生していて、洗たく物などについて困っています。助けて下さい…不審者も見かけます。夜は暗く、怖いです。
駅周辺・中心部の緑	宇野辺モノレール駅周辺が整備されていない。
市全体の緑	町中に緑が多いのは良いが、雑ぜんとしている所が多々ある様に思う。計画的な緑を！ 整備されている所とそうでない所があり、緑がおい茂っている所は、防犯上あまり近づきたくない。 手入れをしないと、うっそうとして、暗い所、危ない所が街中にある。

	緑の中に、ゴミが捨ててあるのが残念。 緑を増やした後の手入れをちゃんとする。 維持管理を積極的に進めてほしい。 緑が多く整備されているが、一部のモラルのない人の為に台無しになってがっかりした事がある。(駅前の花や苗木がぬかれていたり。) 緑のある事はとてもいいことですが、各家の敷地内から、道路に出ている緑など毛虫にさされたり、車が枝でキズになったりと、せまい道路などでは、緑がめいわくも多い。 貴重な自然だが、落葉の飛散やガードレール付近への体積は見苦しく迷惑。 色々の事情が有ると思いますが、一斉清掃の6月第1日曜日は落葉シーズンからみて遅いし、12月は少し早いと思います。 道路が緑化されているのはいいことだが、その下にある雑草、犬のフンが目につくので緑化に力を入れるのもいいがその周囲にも気を配ってほしい。 道路わき等の緑にゴミが多くすてられているのが、かなしいです。市民農園を利用したいがよくわからない。 茨木の居住歴は長く、茨木は税金を緑化につぎ込んで的的な話をまわりからよく聞いた。実際に走っても緑が多いと思うが、つぎ込んでという言葉は良い意味で使われているわけではない。ふやし過ぎだというコト！！地域により片寄っているように感じるが、たとえば税務署近辺の公園は、外から中が見えにくく不審者に気付きにくい。緑化をしたなら、切ることも大事だと思うし、例えばサニータウンの山はバスで通ったら樹木が育ちすぎて、とても邪魔だし、くずれてきたら・・・と心配になる。緑を増やしても、それは何の為？共存といっても人間の手で作られたものなら、その責任の管理もきちんとしてほしい。あと干堤寺方面は、景観的に多くの人に来てほしいが、その良さを何かの形で広めてほしいし、自然の多い大切な所だと思う。住んでるあたりや通った所でしかわからず、解答は茨木市全域に該当しない面も多々有りです。
その他の緑	豊川地区は緑があっても放置されていて、住んでいて、全く心地よくない。公園も道の緑も汚い。きれいな公園や緑をすごく望みます。 私の住んでいる近くに緑が覆う緑地(沼地)？があります。何とかして欲しい。通るのに気味悪いです。 家の近所の道路が落ち葉で汚い。時間があれば清掃をするが一人でするには限度があるので活動が広がればと思います。 学校の校庭等で見かける杉、ヒノキ等花粉症の原因になる木は無くした方が良くと思う。
その他	不法投棄を取りしめるべき。 耳原から国道171号線に出る信号待ちの車から、ゴミの放置場所のように缶やペットボトル、ビニール袋の弁当の空等多く捨てられています。忠告して一度はきれいになったけど又、増えています。何とかして下さい。市民として恥ずかしいです。 緑化すると共に防犯カメラの設置とLED化の検討をしてください。

③緑の新しくつくることについて

緑の分類	自由意見
公園	ばら公園の中に四季を楽しめるような花を少しずつでも植えてほしい。 小さい公園はたくさんあるのもいいが大きめの緑豊かな魅力ある公園も必要。 公園に緑が少なくなりベンチもあまりない。 もっと緑を多く、公園を充実して欲しい。 若園公園のような公園が近くにあればと思います。(少々緑についての意見とは異なりますが！) 緑地公園の整備を積極的に進め、身近に自然とふれあえる環境を造って欲しい。 公園等がもっと多く、たくさんの緑があると、木陰になって夏などにみんなが集まりやすくなると思います！！ 北部、山間部は緑豊かであるが、南部へ行くほどまとまった緑がないイメージです。中規模の

	緑地公園がもう少しあるといいのではと思います。
	緑が少ない。芝生の公園が少ない。
	多目的な大きい公園がないと思います。
	自然豊かでレクリエーション設備の整った、大きな公園を作してほしい。
	マンションの提供公園で、小さくて形だけの物は、必要性の見直しを考えた方が良い。一戸建てをもっとバランスよくマンションの中にも配置し、多様な緑化も考えるべき。
	公園を多く作って下さい。
	市街地の緑化、公園が小さい。
	もう少し緑の多い公園が有ってもよいと思います。
	ある程度の広さのある公園を有してもらいたい。
	去年鮎川に作られた公園は、5000万もかかったとは思えない公園です。もう少し、考えて作るべし。お金は大事に使いましょうね。
	近隣の吹田市や高槻市にくらべ、自然豊かで四季を通じて楽しめる大きな公園がないので、市民が愛し自然と共存できる公園を作って欲しい。
	他の市にくらべて公園が少ないと思う。
	公園が少ない。
	小さな公園に背の低い木(実や花のなる)を植えてほしいと思います。
	緑の多い公園を増して下さい。
	子どもが遊べる(ボール遊びを含む)公園を増やす。
	公園を作るのはいいが、駐車出来るよう確保して下さい。回りがめいわくだ。
	座れる、くつろげる芝生の公園がない。
	もう少し公園内に緑を増やしてほしい。
	茨木の緑のイメージは山なので、人の手を加えた、一般の人達が気軽に使えるような公園を増やしてほしい。
	市が管理されているのであろう花壇に可愛い花が植えてあって、手入れされていることが分かり、心がなごむ。万博公園ぐらいの公園が、市内にあればいいと思う。
	公園となるとつい万博へ行く事が多いです。花もイベントもありゆっくりとのんびり出来る公園が近くにあるといいなあと思います。
公園・街路樹	公園の緑化に努めること。街路樹の整備。宅地開発等での緑化面積を増やす。
	公園によっては多すぎる所、少ない所等片寄り過ぎている。道路を整備して、街路樹(常緑樹)を増やして欲しい(企業誘致を考えて下さい)。
公園・農地	公園が多く、質も結構高いと思います。北部には豊かな自然があり、よく訪れます。茨木の緑はとても好きです。市街地に身近に楽しめる緑が増えたり、ある程度大きい規模の田畑があれば特に子どもにとっていいと思います。
街路樹	JR 茨木駅エリアの街路樹が少ない。
	花の咲く木を街路樹に。例えばアメリカ花水木、こぶし等。
	街路樹の花を現在年4回配られています、年2回でもいいのではと思っています(ポーチウラカとビオラで)。
	茨木市には街路樹が少ないと感じています。
	主要幹線道路に街路樹を増やす。(御堂筋の如く。)
	もっと増やしてほしい。並木道。竹林などバリエーションがあると楽しい。
	緑の街路樹の間に花の咲く木を植えたらどうか？
	木蓮のような花木を街路樹に植えてほしい。マサーグランデは宅地開発の緑地割り当てをはずり古墳に集約をした行政の指導で分散させ、割合を増やさない限り減る一方だと思う。松下テレビの跡地も宅地開発と聞いていますが、行政の指導で多く緑地が増えるのを希望します。植物園、昆虫館とかの箱物を作ってもらえば、市民の意識も変わるかもしれません。
	道路の街路樹や花を増やしてほしいです。
	街路樹が枯れた場合には同じ樹木か又はそれに近い樹木を設置して欲しい。

	街路樹を植える時の木の種類、花の種類をもう少し、まわりの住宅のかんきょうなどを考えて、種類を考えて欲しい。 街路樹ににのいの出るもの(ぎんなん等)は使わない方がいいかと思います。 人口密集している駅、住宅地に街路樹があると良いと思います。一年草の花壇等もいいと思いますが、長く成長を楽しめるものを。 もう少し、街路樹が多いとうれしいです(表参道のような街並み)。 市街地の緑化。街路樹のある並木道を増やす。特にドイツの例を参考にしてください。 茨木市は緑が多い方と思うが、街路樹を増やしてほしい。 街路樹なども少なく桜通り以外はいまひとつ魅力に欠けていると思う(桜通りもいまひとつですが)。又街路に植え込まれている花々ももっと素敵な花を植えて楽しく暖かく包んでくれる街にしてください。(木(けあき、花水木、紅葉等々) 安威川河川敷の中の歩道帯に樹木を植えるのはどうでしょうか。 ①銀杏並木を増やして欲しい。②花の咲く木々を植えて欲しい。 茨木市に住んで33年になります。家のまわりの緑(畑や緑地)は失われて蛙も居なくなり淋しい限りです。少しは街路樹を植えてほしい。
庭	市街地の緑が少ない。宅地内の緑が少なくなってる。(車庫が増加) 元、阪急住宅で全てが生垣でしたが、他の不動産が1区画に2軒立ち、庭が無い家が出来緑が無く環境が悪くなりました。茨木で2個1にしないよう規制があれば良いと思います。 最近新築のお家には植木なくなり、無味乾燥。うるおい欲しい。
山林	山林以外は緑が少ないのではないかと思います。
元茨木川緑地	特に今回気付きましたが、元茨木緑地の充実に期待しています。 元茨木川公園に四季折々の草花がある花だんを多く作ってほしい。 茨木川は昔は川だった。それをあのように公園にして大丈夫か。
駅周辺・中心部の緑	駅前に緑地公園や緑が少ない。 公共空間(駅前、庁舎等)に多くの緑化を。初めて茨木に訪れる人にまずイメージUPを図る(緑の街茨木)。 JR 総持寺駅、立命館大学が出来ます。沿道敷地内の緑化を十分に検討願います。 JR 駅や阪急市駅に緑を増やしてほしい。 茨木市駅付近(JR 阪急駅)の緑化。中心街の緑化を徹底し緑を大切にしている市のイメージを推進してほしい。 茨木市には民間のビルに公開緑地の規定がないのではないのでしょうか。JR 茨木駅、阪急茨木市駅に立って見ると緑を感じない。大阪の方がビル群の中に緑がある。 JR茨木駅前の西側をきれいに緑化して整備して欲しい。 阪急JRともに駅近に緑が少ないと思います。
	西茨木市駅前に緑・花が少ない様に思います。 駅周辺の緑が少なすぎる。空気も悪くて景観も悪い。 阪急駅の周辺の緑を増やしあかぬけた風景にしてほしい。どこもただ古いだけの市で魅力がない。おしゃれな街並みを願います。 茨木市駅の東出口のローソン辺りに緑が少なく、夏は、すごく暑いです。駅前は、広く、緑もありますが、少し離れた所にも、心くばり(緑)が欲しいです。アスファルトは暑すぎます。 市街地に緑が少ない。駅前通り沿いに有る花のポットはあまり美しくなく、緑を増した方が良いのではと思います。 市街地の緑がまだまだ少ないと思います。JR・阪急共に駅の周囲にもっと樹木があればよいのになあと常々思っています。また私の近くの道路ぞいには樹木がなくもっと公平に樹木を増やしてほしいと願っています。殺風景です、とても。 駅周辺、幹線道路に緑を増やして下さい。 駅周辺にも緑がもっとあると良いと思います 市街地にも緑、特に季節を感じることでできる桜の木などがもっと増えたらと思います。

	駅周辺に緑が多いとほっと安らぎを感じるので植樹を希望する。
	元茨木川緑地の様な場所が市街地に増えるとうれしいです。
	特に中心部の緑化を進めて欲しい(少しずつでも)。
	市の中心地に緑を増やしたい。
	茨木市はまだまだ緑が少ないのもっとふやしてほしい(市街地)。
	町中に緑が少ない。
	市の中心部、市役所周辺をもっと緑化すべき。樹木をもっと多く。
	市街地に緑を増やして欲しい。(公園を)
	自然環境の保全、公園機能の充実強化に努めると共に、JRと阪急の間の中心市街地の緑化推進が必要不可欠である。
市全体の緑	つぎはぎだらけの見せかけの緑ではなく、X㎡毎に緑や公園を作るべきだと思う。
	緑を増やしてほしい。
	出来るだけ多様な緑を豊かに...!
	お金のかからない緑化推進方法を検討、研究するのが必要。
	緑を多くして公害の少ない町になればいいなと思います。
	緑豊かな町をさらにもっと豊かになるようにして下さい。
	常緑樹を多くして下さい。
	神戸のようにどこに行っても青々とした木がほしい。
	家を建てるだけでなく、植木も増やしてほしい。
	もっと自然に触れ合える場所を作ってほしいです。
	緑の多い町にしてほしいです。
	茨木市は緑が多く誇りに思います。今後もさらに緑化の充実を望みます。
	大阪は緑が少ない(特に街中)ので、計画的に緑地化を希望する。
	どこへ行っても緑がある市にしてほしい。
	万博(吹田)が近いので緑には満足しており、茨木の緑に関しては、あまり意識したことがありません。魅力的な緑地ができればと思います。
	どんどん増加して下さい。
	多くの緑化、グリーンゾーンが出来たらよいが。
	景観よりも、多様な生物の保全に重き置いた緑化をお願いします。
	住宅地内に緑がほしい。美しい街並になると思う。
	もっと緑を増やしてほしい。
	緑をよりふやして、住み良い環境を作って欲しい。
	歩道がある道に、緑があるのは賛成です。中央環状線付近に緑がなく、さみしい状態だと思います。
	少なすぎる。
	より目に見える形での変化が感じられるよう緑化推進活動を望みます。
	安全で市民が楽しめる、明るい緑化に力を入れてほしい。
	市街地は、小さい児童公園はあるが、全体的にみどりが少ないと思う。西河原公園、桜通り...等の様なところが、身近に少しでもたくさんあればいいと思う。
	市内の緑地化にもっと積極的に進めてほしい。
	さくら通りのような緑を楽しめる道(道路)が増えたらうれしい。
	少なすぎると思います。緑(ex 公園)があっても、未整備が多すぎると思います。
	昨年までは摂津市に住んでいたの、茨木市の方が緑が多いように感じます。維持、増加させられたらより良いと思います。
	秋の景観を楽しめる紅葉(もみじ)を増やして欲しい。高齢化社会で緑地でのベンチを増やして欲しい。
	より緑の多い、住みやすい町にほしいと思います。
	秋のキンモクセイのように、季節を目でも鼻でも感じられるような街になると良いなと思いま

	す。
	今まで東京などで生活してきたが、茨木は自然豊かと言いつつ少ないと思う。
	緑が目立つ平和で協力的な市のイメージ。イングリッシュガーデン？緑といっても神戸元町の様なセンスの有る都会的な感じがあこがれます。
その他の緑	バラ苗の配布
	新しい市道及び府道にはもっと緑を取り入れるように。
	産業道路周辺には公園、緑が少ない。
	自治会等を通じて苗木等を(たとえば市花のバラ等)各家庭に配布し、小さな事から緑化への感心を高めるのはどうでしょう。植木市や、バラ公園で配布されているのは知っていても、なかなか参加出来ない人が多いのではないのでしょうか。
	宅地で木を植えているが、管理が難しい。アドバイスなど植木屋さんなど紹介して欲しい(まわりは管理が難しく手を抜いたりしている)。井口台が出来た事で今まで緑が多かったが、緑がなくなり住宅が見えるのはすごく残念。井口台の斜面に木などを植えて欲しい。
その他	緑をむやみに増やせば、可燃ごみが増え、又、住民クレームが増える。その対応策が必要。企業への負担を軽減する対策も必要。さも良い事をしているような気持ちにならない事。

④緑の活用について

緑の分類	自由意見
公園	緑地公園は自然を愛する公園であり青少年のスポーツ公園と共用されないよう望む。 鮎川に新しい公園ができたが、グラウンドゴルフとか、みんなで使える公園にしてほしい。 万博公園の活用を考えてほしい。 公園でボール遊び禁止と書いててもサッカーをするから使えない。 使われる事のなくなった公園の今後のあり方を考えていただきたいです。 広場でのボール遊び、騒ぐのは何とかしてほしい。やめてほしい。
農地	北部の荒廃地や田畑(無放状態)の積極的な市民開放と、イベント企画開催で茨木市らしさを発揮して頂きたいです。 お寺や神社の信仰を深めて人々の関心をもたらし事によって緑を守り、農家や畑が大変になった方々のお手伝いを教育イベントで広める事(色々な田畑をお手伝い)も良い事だと思います。(今なら御朱印集めイベントもあるかな?) 農地も経済の財産であります。保全も大事ですが、経済の活性化も考えてください。 問 22、について、自宅の前に大規模な市民農園を無断で行っているが、大迷惑している。
	る。年間を通じて、早朝から不特定多数の者が出入する。平穏な日常生活をする権利を侵害するものである。ガヤガヤと人の会話を軒下で毎日されると貴方ならどうしますか。農園経営の管理はできないのですか。野放しで自由ですか。裁判をする方法しかないですか。 竹の子狩り、芋ほりなどもっと市民が経験できる事があればと思います。 若い人でも、土や緑に関わりたいと思っている人は多いはずだけど、仕事や住環境の都合でその機会をえることができないと思うので、それを与えてもらいチャンスがあれば、緑が増えることにもつながると思う。(体験や一時農地レンタル:格安で)
農地・山林	北部の緑、市街地の小規模農地の保全・活用にてできる範囲で参加したいと思えました。
河川	安威川の川沿いの整備をして市民のいこいの場となしてほしい。草ぼうぼうで汚くなっているの、きれいにして景色をたのしみ、緑の中の散歩を楽しめるようになるといいと思う。見たたび残念に思う。川を(川べも)美しく保ってほしい。高槻では、ヒメホタルを守る会があったり、すいれん、はすの池、桜がきれい。芥川ではこいのぼりフェスタをしたり、環境づくりに力を入れている。茨木では、緑を守る活動に力を入れているとはぜんぜん感じられない(知らないだけかもしれませんが)。20 年高槻に住み、又、茨木に引越してきて 3 年たちましたが、高槻に住む前は、茨木に住んでいました。鮎川に住んでいても高槻市の方がなじみが深く、茨木の情報があまり入ってこないです。広報をパラパラ見るくらいで、すみません。アンケートを通して、今まで全然しなかったと思われもっと茨木市のことをこれから知りたいと思いました。 上野橋～幣久良橋に間の河川敷を散歩出来る用にしてほしい。

元茨木川緑地	元茨木川緑地についてですが、春からは、立命館大学の生徒さん達も、通学で、駅前通りを通られることと思います。市役所の近くを中心に、北はJRの線路まで、南は阪急の線路までの緑地区間を特に、整備し直して、茨木版「哲学の道」みたいな散歩コースができれば素敵だと思います。コース脇に気の利いたカフェでもあれば、毎日でも散歩したいです。
元茨木川緑地・市全体の緑	いろいろな立場の方が日常的に緑に触れて健康的に生活していられるように、子育て世代、身体の不自由な高齢者、病後のリハビリ中の方等多様な目的で利用できるように、交通の利便性、設備等をお願いしたい。また、元茨木川緑地等仕事帰りのサラリーマン特に女性の方がジョギング等に利用しやすいように防犯対策等してほしい。要望ばかりですみません。
駅周辺・中心部の緑	茨木市の玄関であるJR、阪急駅前後の今後の改良と緑の強調を望みたい。
市全体の緑	住んでいる場所がそうなのかもしれないが、親子で触れられる緑が少し少ないように思う。 大阪府下に茨木市の緑についてはあまり知られていない。自然が野放図にされたまま上手く生かしていない。自然を大切にしつつ、整備し緑が身近にない地域の人たちに利用観賞してもらえる場を設けるべき。 緑を通じて自然にめぐまれた環境ですこやかな心身が育まれる市でありたい。 子供が自然と触れあえるような町作り。 小さな子供でも安心して遊んだり緑に関われる場所がほしい。 目に見える緑はあっても、有用な緑ではないと思う。
その他の緑	キャンプ場の緑が豊かな割には昆虫類が少ないなと思いました。みんな採ってしまうのでしょうか。昆虫繁殖のためのイベント等行ってもよいのかもと思いました。繁殖のための進入禁止区域を作るなど。
その他	市民の雇用、生活の安定があって緑・自然について考えることができます。また地域コミュニティの育成のために緑化ととりくみを関連づけていっていただきたいです。 見山の里のような朝市などのイベントはとても良いと思います。立命館大学の緑の取り組みも楽しみです。 雇用、金を産み出す資本としての視点があることが望ましい。とりあえず山地酪農をググレ！！

その他

緑の分類	自由意見
公園	バラ園は大好きです。 東太田に住んで9年、西河原公園は美しいところで2～3年前家の前に公園もでき身近なところで朝夕散歩でき知人も感謝しています。孫がくと喜んでプールも近いし住めば都でここに住んでよかったです。 このアンケートをきっかけに、茨木市の公園について知る機会になりました。 公園等で樹木にNo.のある金物が打ちつけてあるが必要はあるのか？又、何のために必要なのか？ 茨木市は緑がいっぱいでありがたいです。特にばら園は大好きです。 公園は子どもとよく利用させて頂いてます。トイレがないところが多く困ることが多いです。公園マップなどに近くのトイレや手洗い場などのっているとありがたいです。
街路樹	茨木で生活して30年数年、街路樹も街も育っているというイメージはもてない。 街路樹に名前の札を付けて親しみやすくしてほしい。 良く歩きますがシルバーの方達が植木の世話をされています。
花、花壇	市街地は花だん等が多くて良いと思う。
農地	北部に山林を携えたとても良い環境だと思っています。田畑があると四季のことも感じられ気持ちもちが和みます。
山林	北部に広がる山の景観が好きです。 茨木のほど良い自然が好きです。山があって川があって、近くにあるのが住む理由の1つです。

	外に出れば山の緑が目に入る。ずっとここに住みたいと思う理由のひとつです。
	山間部の土地を売買しやすいようにしてほしい。
元茨木川緑地	元茨木川緑地が近くにあることで季節を感じ憩い癒されています。
	元茨木川緑地近くに住んでいるので満足しています。
	40年前家の周りにあった田畑、春のヒバリ、夏の蛙の鳴声になつかしい。元茨木川が緑地に改造されたことについては市に感謝しています。
山林、元茨木川緑地	茨木川緑地や山間部の自然や農地に、市民の生活が支えられていると思います。
市全体の緑	茨木市は人口が多いせいか、全体的に工場や店は少なく緑があちこちにあり、四季が楽しめ、よい町だと思っている。
	結婚を機に茨木に越してきました。以前はもっと田舎に住んでおり緑の方が宅地より多い地域でしたが、茨木では工夫の上に緑が存在しているのだと感じました。
	大阪の他市と比較すると、恵まれていると思いました。
	緑は心がいやされますことを考えて街づくりをしてほしい。
	もう少し景観が美しくなるといいなと思います。
	良い街並みが少ない。歩道が狭く緑を感じて歩けない。
	今のままでよいです。それよりも交通渋滞解消などに予算を使って下さい。
	周辺に緑が多く、住むのに快適。
	環境の良い町。
	素適な町(緑が多い)と思います。
	全体的に細かい配慮が行き届いていると思います。
	狭い道が多い。緑も多く住みやすいと思います。
	住んでいて安らげる市を希望します。
	茨木市全体を考えると山の方は年寄りにはちょっと不便ですが、近くに万博公園も有るし河川のまわりをウォーキング出来、緑を楽しんでいます。
	1年草ではなく多年草を。
	葉が家に入ってくるとの苦情も有りむづかしいです。
その他	自然は人間らしく生きていくため、心豊かに育つために必要だと思っています。
	緑について考えたことがなかった。周辺は畑ばかりで、いつでも緑があるから。
	もっと積極的に取り組んでほしい。
	茨木市でやっているかどうかは不明ですが、クリスマス等のイベントで「イルミネーション」という名で電気の無駄使いをしている人たちにはエコロジーを語る権利はないと思う。
	地域行政としては著しく遅れている。と言うより不作為行政の結果なのか。都市、道路計画が不在。安全、健康的な地域環境とはいえない。潤いと安らぎがない！！
	緑化も大切な事業ですが歩道の整備もお考え頂きたい。
	緑、自然環境保全と人間の健康生活との関連についての啓もう指導。
	限られた予算、人員とは思いますが、市民のためにアイデアを出して(ついつい)がんばってください。
	市は増税や予算化しないと緑化できないと努力しない。
	こういった意図でこの様なアンケートをされるのか意味がわからない。茨木市でも場所によって自然の形態が違います。私の地域は豊富なので(緑が)活動もしていないし、むしろ企業の撤退が相次いでいる市の取り組みを知りたい。一般市民の方が危機感を抱いているのでは。
	子供の行きやすいトイレがあれば…。とくに洋式トイレ。
	あまり意識をして見たことがなく、今日をきっかけに観察してみたいと思います。
	私は年をとってきたので、体がついていかないので参加出来ない。
	もう少し積極性を増やしてほしい。
	工場流通施設邸宅の減少が目立つ。宅地開発については、緑の不在票を義務づけるべきで

	ある。
	アンケートをとっただけで、終了しないことを願います。
	地球の温暖化は、ト間のエゴの元になってしまったもの。利便性を求めすぎた結果。それが解っていても、便利な物に飛びつく人間は、幼い時からの教育が必要。
	本アンケートの統計的処理結果は必ず”いばらぎ”で報告願いたい。
	真剣に取り組んでいてほしいです。
	つけ焼酎はやめて欲しい。
	今までどおりにがんばってほしいです。
	山道を歩くのではなく、歩行者専用道路を造ってほしい！！特に学校がある地区、緑のラインではなく！！
	緑化はもちろんです、人口の減少が気になります。茨木は昭和40年代は50万人程人口がありました、今はその半分と少々となり、高槻市に比べると町の発展、市民の生活の充実さはだんだん減少しています。商店街の店もまばらで商店街ともいえない様な静かな町で、歩いていると不安になります！緑化はさる事ながら、まず町の活性化が大事だと思います。大企業がほとんど移転し、立命館大学が来るぐらいでは活性にはならないのではと思います！市の皆さんほどの様に考えておられますか？
	がんばって下さい。
	補助金を増やし、ボランティアを増やす。
	市議員に市街地緑化を何度も訴えたが全く変化なし。40年来です。
	もっと田舎の街と提携し、ヒントを得るべき。
	他県他市の取組みを調べて、良いやり方があれば、それを市民に提案しては？
	価値観を生む事が出来る様考える。
	権力に負けない強い意志のある緑に。
	このようなアンケートをして市民の意見を集め、茨木の大切な自然、緑を守っておられることに心からうれしく思います。
	市政についてのアンケートをして欲しい。緑については無駄なアンケートだと思う。
	この様なアンケートをやめてむだをはぶき、その資金を緑化に使用すればよろしいのでは。
	今住んでいる場所、いろんな面で大変よいです。
	1級造園施工管理技士・測量士・1級土木管理技士等の資格有-定年退職者です。
	当市には40年ばかり居住していますがJR駅前付近につき行動範囲はせまく、市の北部、南部などは全く存じません。せいぜい桜通り万博公園で緑を楽しむ程度です。市の全体についての知識は少なく意見を申すことは出来ません。また、緑化の推進についても費用の問題があるので、一概に広々することは出来ないのご諒承下さい。
	このアンケートたった2枚なのにホッチキス不要、紙も上質過ぎ(月1の『いばらぎ』も同様白黒わら半紙でOK)、もったいない。そのお金を緑化にまわすべき
	私は茨木市は住み良いい街だと思っております。